

官報

號外 昭和九年十二月三日

○第六十六回衆議院議事速記第五號

帝國議會

昭和九年十二月二日(日曜日)

午後一時十八分開議

議事日程 第四號

昭和九年十二月二日

午後一時開議

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑

(前會ノ續)

第一 風水害ニ因ル被害者ニ對スル租

稅ノ減免猶豫等ニ關スル法律案(政

府提出) 第一讀會

第二 都市計畫法中改正法律案(政府

提出) 第一讀會

第三 凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ

臨時交付ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第四 昭和九年法律第五號中改正法律

案(昭和九年度一般會計歲出ノ財源

ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政

府提出) 第一讀會

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲
茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

氣象觀測及通報改善ニ關スル建議案

提出者 松山常次郎君

官報號外 昭和九年十二月三日

衆議院議事速記第五號

議長ノ報告

國務大臣ノ演說ニ對スル質疑(前會ノ續)

八三

冷害豫報調査機關設置ニ關スル建議案

提出者

工藤 鐵男君 山田 助作君

猪股謙二郎君 手代木隆吉君

松村 謙三君 内ヶ崎作三郎君

坂東幸太郎君 比佐 昌平君

林 平馬君 清水徳太郎君

(以上十二月一日提出)

一昨一日岡田内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令

アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏書記官 石渡莊太郎

第六十六回帝國議會大藏省所管事務政府

委員被仰付

內務書記官 松村 光磨

第六十六回帝國議會內務省所管事務政府

委員被仰付

一昨一日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議

長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

二四〇 金井 正夫君

三五一 尾崎 天風君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ繼續致

シマス——杉山元治郎君

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑

(前會ノ續)

(杉山元治郎君登壇)

○杉山元次郎君 私ハ前ニ此處ニ立タレマ

シタ方々ト違ツカ方面カラ、質疑ヲ試ミタイ
ト存ジマス、私ハ先ヅ概括的ナ問題ヲ總理
大臣ニ、又ソレ々所管ニ關シマスル問題
ニ付テハ、ソレ々所管ノ各大臣ニ御伺致
シタイト存ジマス、私ハ日本ノ農村ノ大多
數ノ働ク農民ヲ代表致シマシテ、此質問ヲ
致スノデアリマスルガ故ニ、ドウゾ丁寧、ニ
又ハッキリ御答ヲ戴キタイト云フコトヲ
前以テ申上ゲテ置キマス

第一ニ岡田總理大臣ニ對シマシテ御伺致

シタイ問題ノ一ツハ、昨日カラ一昨日ニ互

リマシテ色々此處デ、凶作地ニ對シマスル

農村救済ノ對策ガ論議サレマシテ、サウシ

テ多クノ方々カラ農村救済ノ根本對策ノ樹

立ガ爲サレナケレバナラナイ、斯ウ云フコ

トガ叫バレ、尙ホ民政黨ノ富田サンノ御質

問ニ對シテ總理ハ、私モ農村ノ救済ニ對ス

ル根本對策ノ樹立ガ必要デアルト云フコト

ニ對シテ御同感デアル、斯ウ云フ御答辯ヲ

爲サレマシタガ、一體農村救済ノ根本對策

ト云フモノハ、ソレハ何ヲ指シテ其根本對

策ト言ウテ居ルノデアルカ、斯ウ云フ問題

ガハッキリサレテ居ラナイノデアリマス、私

ハ先般モ旱害地、或ハ大阪ヲ中心ト致シマ

シタ風水害地、東北六縣ノ凶作地ヲ親シク

視察致シマシタ、其實情カラ私ノ見マスル

所ニ依ルト、是ハ直接的原因ハ天災ニ因

ルコトハ勿論明カデアリマスケレドモ、此

直接原因ノ後ロニ大ナル原因ノ存シテ居ル

コトヲ發見スルノデアリマス、即チ最モ著

シイ例證ト致シマシテ、東北六縣ノ凶作ヲ

取ツテ見マスルナラバ、其東北六縣ノ中デモ鐵

道沿線ノ村々ハ、其被害程度ハ比較的ニ少

イノデアリマス、又青森デアルトカ、或ハ

弘前デアルトカ、或ハ盛岡デアルトカ云

フヤウニ、都市ヲ取卷イテ居ル所ノ町村ガ
比較的ニ被害ガ少イ、斯ウ云フ問題ハ一體
何ヲ示シテ居ルノデアルカ、又岩手、青森
ニ致シマシテモ、舊南部領ガ最モ其被害ガ
甚シクアリマシテ、サウシテ津輕、伊達藩
ノ領地ガ比較的ニ被害ガ少イ、同ジ岩手デ
アリ、青森デアリナガラ、鐵道沿線ガ被害
ガ少ク、都會地附近ガ少ク、又舊藩ノ關係
ニ依ツテ被害ノ程度ニ相違ノアルト云フコ

トヲ發見致シマスルコトハ、要スルニ此天

災ノ後ロニモウ一ツノ原因、即チ經濟的ナ

關係、先日カラ申サレテ居リマシタヤウニ、

現在ノ經濟機構ガ斯ウ云ウ結果ヲ招來シテ

居ルト云フコトヲ、發見セザルヲ得ナイノ

デアリマス、若シ然リト致シマシタナラバ、

天災ニ對シマスル所ノ色々ノ施設ト云フ問

題モ、勿論必要デアリマス、サウシタ根本

的ナ問題ニ對スル對策ヲ樹テルコトモ必要

デゴザイマスルケレドモ、少クトモ是ト相

對シテ、其後ロニ重大ナル原因ヲ爲シテ居

リマスル所ノ、此經濟的ナ根本的原因ヲ除

去スルニ非ズンバ、到底農村ノ救済對策樹

立ト云フモノガ、困難デアルト云フコトヲ

發見スルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ意味

合ニ於テ、現在ノ資本主義經濟機構ト云フ

モノガ、弱イ、抵抗力ノ脆ナル農村ヲ壓迫

シテ居ル、特ニ東北ノヤウナ封建的ナル殘

存物ノ多イ農村ニ於テ、其被害ノ最モ大ナル

モノヲ發見致シマスル時ニ、私ハ根本的ナ

ル對策樹立ト申シマスルモノハ、此經濟的機

構ノ是正改革ヲ行ハナクテハ出來ナイト考

ヘルノデアリマスガ、一體一昨日以來カラ

總理大臣ガ農村ノ根本對策ヲ樹立スルト言

ハレテ居ルガ、ソレハ今私ノ申シテ居リマ

スヤウナ點マデモ、オヤリニナルト云フ意

思ガアルノカドウカ、斯ウ云フコトヲ御伺致シタイノガ第一點デアリマス

第二ノ點ハ、此臨時議會ヲ開クト云フコトニ對シテ、早クカラ養蠶地帯ノ人達或ハ旱害地、東北ノ冷害地ノ方面カラ頻リニ要求ガアツクデアリマスガ、政府ハ何トカ申シテ此臨時議會ヲ開クトヲ遷延致シテ居リマシタ、私ノ先ヅ伺ヒテ見タイト思ヒマスコトハ、此大阪ヲ中心トシテ起ツタ所ノ九月二十一日ノ風水害ガ若シナカッタラバ、政府ハ臨時議會ヲ開ク意思ハナカッタノデハナイカ、ドウカ若シ開ク意思ガナカッタ致シマスルナラバ、開ク開カヌニ拘リマセズ、今日ノヤウナ東北ノ窮乏ト云フモノガ皆サンノ御承知ノ通りデアリ、新聞ノ傳ヘテ居ル通りデアツテ、若シ此臨時議會ヲ開クトガ出來ナカッタラバ、或ハ開イテモ私ハ尙ホ其足ラザラ思フ點ガアルノデアリマス、開イテモ尙ホ足ラナイガ、若シ開カナカッタラバ、東北一帶ニ於キマス所ノ凶作地ノ農民、或ハ養蠶地帯ニ於キマス所ノ窮乏農民ト云フモノガ、一體本當ニ能ク此冬ヲ通シテ行クコトガ出來マスデアラウヤ否ヤ、斯ウ云フコトニ付テ私共ハ寒心セザラ得ナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ、モウ實ニ差迫ツタ問題ニハ今日ニ於テ分ルバカリデハナイ、一昨日カラ色々御話ガゴザイマシタヤウニ、早クカラ是ハ分ツテ居ラナケレバナラヌ問題デアアル、然ルニ拘ラズ、要求ガアルニ拘ラズ開カナカッタ、九月二十一日ノ風水害ガ起ツテカラ、急ニ臨時議會ヲ開クト云フヤウナコトニナツタコトヲ見ルト云フト、關西ノ問題ガナケレバ一體開ク意思ハナカッタノカドウカ、斯ウ云フ問題ヲ先ヅハッキリ伺ヒテ置カナケレバ、

一體政府ハ東北ノ農民、養蠶地ノ窮乏農民、旱害地ノ農民達ガ自力更生ガ出來ルト考ヘテオ出デニナツタカドウカ、サウ云フ問題ガ明ニナツテ來ルト思ヒマスガ故ニ、敢テ此質問ヲ致シマス譯デアリマス

モウ一ツノ問題ハ、内務省並ニ農林省ニ關係致シマスル所ノ旱害、風水害、冷害、サウシタ所ノ災害調査ノ正確ナル發表ガ、今日マデ餘リナサレテ居ラナイノデアリマス、一體斯ウ云フコトハ何ヲ意味スルノデアアルカ、私ハ若シ發表致シマスルナラバ、臨時議會ノ要求ヲ尙ホ一層拍車ヲ掛ケルデアラウ、サウシタナラバ政府ハドウモ迷惑デアアル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方カラシテ之ヲ發表セナカッタノカ、乃至ハサウ云フ發表ガマダ調査未了デアツテ、出來ナカッタト云フノデアアルカ、若シサウシタ所ノ、急ニ救済ヲ要スベキ所ノ問題ニ對シテ、正確ナル調査ガ出來テ居ラヌト云フナラバ、是ハ之ニ對スル對策ガ立チマスル筈ガナイ、又非常ナ怠慢デアルト言ハナケレバナリマセヌガ、ドウシテ是ガ發表セラレナカッタカト云フ、其理由ヲ伺ヒタイト云フコトガ總理大臣ニ對シマス所ノ問題デアリマス

次ハ大藏大臣ニ對シテ御伺シタイノデアリマスガ、昨日カラ色々農村ノ問題ニ付テ御話ガゴザイシタ、又堀切サンガ高橋大藏大臣ガ爲サレタ農村政策ノ一ツト致シマシテ、負債整理ヲオヤリニナツタ、是ハ大變ナ功績デアルト云フヤウナ御褒メモゴザイマシタガ、私ハ此農村負債問題ニ付テ、高橋藏相ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、農村ノ負債ハ既ニ六十億、或ハ七十億ト稱セラレテ居ル、此利子ハ平均致シマシテ一割一分デアルト云ハレテ居リマスルガ、若

シ一割ト致シマシテモ七億圓ノ利子ヲ支拂ハナケレバナラナイ、今日農村ノ生産物ガ下落致シテ居リマスル關係カラ致シマシテ、其農産物ト比較致シマシテ、負債ノ利子ガ約三分ノ一或ハ四分ノ一ニ該當スルコトヲ發見スルノデアリマス、若シ一軒ノ家ニ致シマシテモ、負債ノ利子ガ全生産ノ四分ノ一、三分ノ一ヲ支拂ハナケリヤナラヌト致シマシタナラバ、其家ハ立行カナイト云フコトハ、是ハ明ナ事實デアリマス、私ハ先般東北視察ノ途上、宮城縣ノ本吉郡御嶽ト云フ村ニモ一寸立寄ッタノデアリマスルガ、此村ハ經濟更生ノ指定村ニナツテ居ル、ダガ其處ノ役場ノ人達ノ話ニ依ツテモ、如何ニ更生ヲシヨウト考ヘテモ、此負債ガ本當ニ整理ノ出來ルト云フ見透シガ付カナイ限リニ於テハ、遺憾ナガラ村ノ更生ハ困難デアアル、此御嶽村ノ話ヲ聞キマスルト云フト、五十八萬圓ノ負債ヲ有ツテ居リマス、利子ヲ六萬一千圓バカリ拂ツテ居リマス、僅カ村ノ歳入ガ三萬五千圓出デナイ所ノ村デアツテ、而モ負債利子ヲ六萬圓餘リ拂ツテ居ルト云フ狀態カラ考ヘテ見マシタナラバ、ドウシテモ此村ガ立行カナイト云フコトガ明ニ分ルノデアリマス、私ハ斯ウシタ農村ノ事情ト云フモノハ、是ハ單ニ御嶽村ノ場合バカリデナク、總テノ農村ニ是ハ共通スル所ノ問題デアルト考ヘテ居リマス、ソコデ斯ウ云フヤウニ澤山アル所ノ此借金ヲ、如何ニシテ整理スルカ、負債整理組合ガ出來マシタケレドモ、ソレガ政府ノ考ヘマスル通りニ中々進マナイ、遅々トシテ進歩セナイト云フコトハ、何ヲ物語ルカト申シマスルト云フト、負債整理ヲシヨウニモ、シヨウノナイ程ニ村ガ借金ヲ脊負

ウテ居ルト云フコトデアリマス、私ハ秋田縣ノ大曲ノ邊ニ於テモ、一ツノ斯ウシタ實例ヲ見テ來タノデアアル、農家ガ色々ノ負債ヲ有ツテ居ル、終ヒニハ高利貸ニ迄手ヲ出シテ借りテ居ル、ソコデ秋ニナツテ漸ク收穫ヲシテ依ニ詰メルト云フト、高利貸ハ傍デ待ツテ居ッテ、直グニソレヲ持ッテ行ク、斯ウ云フヤウナ實情デアツテ、農家ガ働イタ所ノ一年ノ努力ト云フモノガ、直グ様負債ノ利子トシテ持ッテ行カレル、或ハ直グ様差押ヘラレルト云フ狀態カラ致シマシテ、其附近ノ農家ノ話ニ依ルト云フト、是デハ私共ガ生産ニ從事スルト云フ所ノ氣力ガ缺ケテ参リマス、自暴自棄ニ陥ラザラ得ナイト云フヤウナ言葉モ聞イタノデアリマスルガ斯ウ云フ實情カラ致シマシテ、私ハ單ナル負債整理組合ト云フヤウナ方法ダケデハ、到底今日ノ農村ノ負債ト云フモノガ、是ハ整理スルコトガ出來ナイノデハナイカ、寧ろ今日ノヤウナ事情カラ致シマスルト云フト、私ハ前ニ金融恐慌ノ場合ニ、銀行家ヲ救済スル爲ノ支拂猶豫ノ令ヲ布イタ、私ハ少クトモ今日ノヤウナ場合ニ於テ農村ヲ救済スルノニハ、コ、數箇年ノ間支拂ヲ猶豫シテヤルト云フヤウナ、餘裕ヲ附ケテ、サウシテ財力的ニモ餘裕ガ出來、サウ云フヤウナ力ガ出來テ、初メテ支拂ヲシ得ルト云フヤウナ方法ヲ講ジテヤラナイ限リニ於テ、私ハ農村ハ到底立行クモノデハナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、高橋藏相ハ銀行家ニオヤリニナツタ此制度ヲ、此行詰ツテ居ル窮乏農村ノ爲ニ、支拂猶豫ノ令ヲ布クダケノ勇氣ヲ御持合セニナツテ居ルカドウカ、此點ヲ御伺致シタイノデアリマス

尙ホ此際高橋大藏大臣ニ御同致シテ置キ
タイ問題ハ、災害土木費國庫補助ノ問題デ
アリマシテ、是ハ昨日中島サシモ大變少イ、
又中野サシモ大變少イト、斯ウ云フヤウナ
御話ガアリマシタガ、ソレハ總テノ者ガ斯
ク考ヘテ居ル點デアリマスガ、特ニ私ノ郷
里デアリマス所ノ大阪府ニ於キマシテハ、
此九月二十一日ノ大風水害ノ爲ニ非常ナ損
害ヲ蒙ツタ、此損害ハ關東震災ノヤウニ實
ニ派手デハナイ、燒ケテ無クナツテシマツタ
ト云フヤウナ、派手デハナイケレドモ、實
ニ陰氣ナ、家ハ殘ツテ居ル、ケレドモ之ヲ修
繕スルノニハ非常ニ——建テル程ノ費用ガ
掛ル、色々非常ナ苦痛ヲ嘗メテ居ル、斯ウ
云フ意味合カラ致シマシテ、大阪ノ府市ノ
人達ガ、此復興ノ爲ニハ是非關東震災ノ時
ト同様ナル取扱ヲ受ケテ、サウシテ國庫補
助ノ額ヲモット殖ヤシテ欲シイト云フコト
ヲ要求致シテ居ルノデアリマスルガ、震災
ト同様ニ、大阪ノ風水害ト云フモノニ對シ
テ認メナイトスルナラバ、ドウ云フ理由ヲ
以テ認メナイノデアルカ、横濱東京ト同
ニ取扱ハレナイト致シマスルナラバ、如何
ナル理由ヲ以テスルノデアルカ、其點ヲハッ
キリ伺ツテ置キマスルコトハ、私共ガ大阪
府ニ於キマスル所ノ市民農民ニ對シマシテ、
ハッキリ政府ノ意ノ在ル所ヲ知ラスコトガ
出來ルカラデアリマス

次ニ農林大臣ニ對シテ御同致シタイ點
ハ、曩ニ農村施設ノ問題ニ對シテ恒久的ナ
施設ガ必要デアル、又ソレニ對シテ色々御
ヤリニナツテ居ルト云フヤウナ話モ伺ヒマ
シタ、併シ恒久的ナ根本對策ト唱ヘルベキ
モノハ、私ガ今申上ゲマシタヤウニ、今日
ノ經濟制度ノ機構ニ據ツテ來テ居ル點ガア

ルガ故ニ、此點ノ改革是正ヲ爲サナケレバ
ナラナイ、併シ之ヲ一時ニスルト云フコト
ハ困難デアルト仰セニナルデアラウ、私ハ
サウ云フ意味合カラ致シマシテ、若シ社會
政策の、或ハ漸進的の、之ヲ實行シテ行
クト云フ立場ヲ御執リニナルト致シマシテ
モ、少クテモ私ハ農村ノ根本對策ノ一ツト
致シマシテ、小作法ノ制定ハ當然爲サレナ
ケレバナラナイト考ヘテ居リマス、此前ノ
議會ノ場合ニ、農村ノ政策ヲ何故以テヤッ
テ吳レナイカト云フコトヲ、今ノ內務大臣
デアリマス所ノ後藤農林大臣ニ申シマシタ
時ニ、金ガナイカラ出來ナイ、斯ウ云フ御
話デゴザイマシタガ、小作法ノ制定ハ、金
ガナクテモ出來ルノデアリマス、法律ヲ制
定スルコトニ依ツテ出來ルノデアッテ、其費
用ハ僅デ出來ルト考ヘテ居リマス、又朝鮮
ハ既ニ小作令ノ施行ヲ致シテ居リマス、斯
ウ云フヤウナコトカラ考ヘテ見マシテ、
特ニ小作問題ノ非常ニ頻發スル其根本原因
ハ、土地ノ問題ガ中心ニナツテ居ルト云フ
コトハ、農相自身ハ既ニ御承知ノ通りデア
リマス、私ハ斯ウ云フ意味合カラ致シマシ
テ、ドウシテ見テモ農村ノ根本的對策、恒
久的施設ノ一ツト致シマシテ、小作法ノ制
定位ハ爲サレナケレバナラスト思フノデア
ルガ、農林大臣ハ、此小作法ノ制定ヲ直グ
ニ御ヤリニナル意思ガアルカドウカ、此點
ヲ質シテ置キタイノデアリマス

次ハ昨日問題ニナリマシタ飯米ノ問題デア
リマスガ、飯米ヲ與ヘル、斯ウ云フコトハ凶作
地、即チ東北一帶ヲ初メト致シマシテ、養蠶
地方、或ハ旱害地一圓ヲ通ジテノ是ハ要求ノ
聲デアリマス、飯米ヲ與ヘルコトハ、昨日モ
中野サシモ御話ガアツタヤウニ乞食根性ヲ繼

成スル、斯ウ云フヤウナコトガアルガ爲ニ、
勞働サシテ勞働賃銀ニ依ツテ其飯米ヲ與ヘ
ル、私共ハ勿論理論トシテ其方法ガ宜イト
云フコトヲ信ズルノデアリマスルガ、併シ
今日勞働ヲサシテ、サウシテ飯米ヲ與ヘル
ト云フコトガ出來ルカドウカト云フコト
ハ、例ヘバ東北ノ實例ヲ見マシテモ困難デ
アリマス、私ハ此處ニ青森ノ一ツノ村ノ要
求書ヲ持ツテ居リマスガ、土木事業ヲヤッテ、
ソレニ働カシテ貰フダケデハ、村ノ者ハ生
活ガ出來ナイカラ、是非一ツ政府ノ施米ヲ
シテ貰ヒタイト云フ要求、請願ノ手紙ヲ此處
ニ持ツテ居ルノデアリマス、私共唯敢テ米
ヲ欲シイ、飯ヲ食ハセイト云フコトダケヲ
言フノデハナイ、出來ルナラバ働イテ食ヒ
タイノデアリマスルケレドモ、働イテ食ヒ
得ナイ狀態ニアルガ故ニ、飯米ヲ與ヘテ吳
レ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマ
ス、決シテ乞食根性デハナイ、若シ是ガ乞
食根性デアルト云フナラバ、ソレハ本當
ニ農民ノ心理ヲ知ラナイ人ノ言葉デアル、
私ハ斯ウ云フコトヲ一例申上ゲテ置キマセ
ウ、氣仙沼カラ一ノ關ニ參リマスル途上、
或ル百姓ノ人ガ私ニ斯ウ云フコトヲ申シテ
吳レマシタ、アナタノ村デ缺食兒童ハ何シ
ボアルカト云フコトヲ聞イタ時ニ、私ノ村デ
ハ今一人モゴザイマセヌ、本當ニ無イノカ、
斯ウ言ウテ押シテ尋ネタ時ニ、其人ノ言フ
ノニハ、イヤ銘々ノ家デハ實ハ飯米ノナイ
モノガ多イ、私ノ家デ雇ワタ雇人ガ、煙草
ノ葉ヲ仲スノニドウシテモ仲スコトガ出來
ナイカラ、何故サウ云フヤウニオ前ノ手ガ
動カナイノダト聞イタ時ニ、今日デ三日御
飯ヲ食ツテ居ラヌノダト云フ告白ヲシタ、ソ
レデモ村ニハ缺食兒童ヲ出シテ居ラナイト

云フコトハ、斯ウ云フ理由ガアルノデア
ル、村ニ御住ヒノ方ハ能ク御分リデアリマセウ
ガ、村ハ町ノヤウニ轉々トシテ住居ヲ變ヘ
ル譯ニハ行カナイ、孫子ニ至ルマデ住居ヲ
致シテ居ル關係デ、昭和九年ニ於テ彼處ノ
家ハ政府米ヲ貰ツタ、役場ノ救助米ヲ貰ツタ、
而シテ數年經テ數十年經ツタ後ニ、其家ガ相
當生活ガ出來テ來タ時ニ、オ前ノ家ハ會テハ
救助米ヲ貰ウタデハナイカト云フ一言ヲ浴セ
掛ケラレタ時ニ、村ノ者ハ非常ニ屈辱ヲ感
ズル、村ノ人ハ、オ前ノ家ハ會テ救助米ヲ
貰ウタデハナイカト云フテ、後ニ一本立ニ
ナツテ言ヘレコトニ心配ヲ致シテ居リマ
スルガ故ニ、缺食兒童ガアツテモ出來ルダケ
出サナイデ居リマス云フ農民ノ言葉ヲ、
私ハハッキリ政府ノ諸君ニ聽イテ戴キタイ
ノデアル、決シテ吾々ハ乞食根性ヲ以テ米
ヲ吳レイト言ウテ居ルノデハナイ、已ムヲ
得ズシテ米ヲ與ヘヨト言フノデ、今申シマ
シタヤウナ、子供ノ將來ヲ考ヘデ、米ヲ食
ハシタイコトモ我慢シテ居ル、是ハ農民心
理デアルト云フコトヲハッキリ知ツテ戴キタ
イノデアル、石黒知事ガ、政府ハ何ト言ハ
ウトモ、或ハ縣ガ何ト言ハウトモ、自分ハ
陛下ノ赤子一人ヲ殺シテハナラナイト云
フコトカラシテ、私ハ斷然施米ヲスル、斯ウ
云フコトヲ申サレテ居リマシタ、私ハ然リ
ト思フ、一體農林大臣モ凶作地方ヲ御視察
ニナツテ能ク分ツテ居ルト思フガ、岩手ノ村
ノ中ニ入ッテ參リマスナラバ、最早ヤ今
日——マダ收穫シテ間モナイ今日ニ於キマ
シテ、稗三分、稗ヲ搗イタ所ノ糠七分ヲ入レ
テ、サウシテ鹽デ捏ネテ漸ク食ベテ居ル農
民ノ澤山アルコトヲ御發見ニナツタコト、
思フ、モット甚シイモノハ藥ヲ刻ミ込メ

食ッテ居ル農民共モアル、私共ハ斯ウ云フヤウナ實情ヲ見マス時ニ、ドウシテ見テモ、是ハ施米ヲセザルヲ得ナイ、私ハ嘗テ新聞デ見タノデアリマスガ、政府ハ政府所有米ノ二十八萬石デアリマシタカ、神戸港カラ十二圓デ南洋方面ニ賣ツタ云フヤウナ記事ヲ發見シタノデアアル、十二圓デ海外ニ「ダシペン」ヲスルダケノ米ガアルナラバ、此餓エテ居ル所ノ——是ハ決シテ食糧性デナイ、モウ捨テ、置ケバ餓エル所ノ農民ニ對シテ、私ハ政府ノ所有米ヲ無償デ交付スルト云フコトハ、決シテ惡イコトデハナイ、併シ政府モ茲ニ見ル所ガアツテ、五十萬石ノ無償給付ヲスルト云フコトデアリマスガ、政府ハ此五十萬石デ、果シテ今餓エテ居ル所ノ——東北バカリデハナイ、養蠶地帶、或ハ旱害地帶ニ於ケル所ノ農民ヲ救ヒ得ルト云フ自信ヲ有ツテ居ルノデアアルカ、若シ一人デモ餓エル者ガアツタナラバ如何ニスルカ、政府所有米無償配給ノ中ニハ、五割以上ノ減收ノ地ト書イテアリマスガ、養蠶地帶ノ配給ノ算定ヲ何處ニ持ツテ行クノデアアルカ、斯ウ云フ點ヲモ伺ヒタイノデアリマスガ、特ニ政府ガ大阪ノ風水害ニ依ツテ、濡米ガ七十萬俵出來タ、之ヲ兎モ角モ此凶作地帶ニ拂下スル、其拂下ハ結構デアリマスガ、併シ遺憾ナコトニハ、此配給米ガ甚ダ遅々トシテ直グニ行届カナカッタ、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ、青森縣ノ如キハ此濡米ヲ受取ツテ、之ヲ御五分配シヨウトシテ見タ時ニ、大部分ハ腐敗シテ食フコトガ出來ナカッタ云フヤウナ話ヲ聞イテ來タノデアリマス、一體サウ云フヤウナ事實ガアルノカドウカ、若シサウ云フヤウニ配給ガ遅レタ爲ニ、途中デ腐敗ス

ルト云フヤウナ手續イコトガ、今後五十萬石ノ無償配給ノ場合ニ於テモ、是ハアリ得テハ大變デアアル、無論濡米ノ當時ハ、マダ生命ニハ關係ガナイカモ知レナイケレドモ、若シ政府ノ無償配給ノ五十萬石ガ遅レルト云フヤウナコトニナリマス、生命ノ點ニ關係致シマスガ故ニ、私ハ特ニ注意セラレタイト思フノデアリマスガ、此點モ伺ツテ置キタイ、特ニ此際ニ飯米問題ニ關シテ、是ハ農林省バカリデハナイ、司法省ノ關係ニモナルノデアリマスガ、此議會デ昨年通過致シマシタ——今年デアリマシタカ、飯米一箇年差押禁止ノ民事訴訟法ノ改正法律ノ問題デアリマスガ、此法律、少クトモ飯米ノ問題ハ、是ハ生活權擁護ノ立場カラ必要ナ問題デアリマスガ故ニ、此問題ヲ司法省ト協力シテ、本年モ御出シニナル積リデアリマセウカドウカ、是ハドチラカラデモ御伺致シタイノデアリマス

アル、之ヲ寧ロ收益率ニ直シテ、其關係町村ニ交付スル意思ガアルカドウカ、此點ヲモ伺ツテ置キタイ
次ニ米穀政策ノ問題デアリマスガ、此米穀政策ハ、農村問題デモ重要問題ダト昨日モ西村サンガ仰セニナリマシタガ、今日迄ノ米穀政策ヲ熟見テ居リマス、是ハ表面ハ米價維持——正確ナル米價ヲ維持スルト云フヤウナ政策ニハ見エテ居リマスルケレドモ、大隈内閣以來ノ米穀政策ヲ通觀致シマスルト、一貫シテ居ル所ノ問題ハ、米ヲ吊上ゲル所ノ政策——米價吊上策デアアルト云フコトヲ私共ハ發見セザルヲ得ナイノデアアル、ソコデ私ノ伺ヒタイ點ハ、米價高、即チ米ヲ吊上ゲルト云フコトハ、世間一般ニ唯傳ヘラレテ居ルヤウニ、是ハ農民ヲ救フト御考ニナツテ居ルカドウカ、私共ノ考方カラ致シマスルナラバ、農村デ本當ニ働イテ居ル所ノ七割ノ農民ハ、遺憾ナガラ米價高、單ナル米價高ダケデハ私ハ救ハレルト思ハス、是ハ寧ロ地主的ノ政策デアツテ、小作農民ノ政策デハナイト考ヘル、恐ラク米價高ダケヲ御話ニナツテ居ルナラバ、農民ノ中カラ此米價ヲ下ゲテ呉レト云フ運動ガ起ルカモ知レナイト云フコトヲ申上ゲテ置ク(ノ一)〇七

家ニ振當テルト致シマシテモ、一戸當リ六圓五十錢ニ當ラナイ、斯ウシタ六圓五十錢ヤ、一圓五十錢ノヤウナ少額ノ補助金、助成金ヲ以テシテ、此今日ノ行詰ツテ居ル養蠶村ガ救ハレルト御考ニナリマスルカ、私ハ斯ウ云フヤウナコトハ唯燒石ニ水デハナイカ、セナイヨリハ優シデアリマスルケレドモ、是デハ決シテ養蠶農民ハ救ハレルトデハナイト考ヘテ居ル、ドウシテモ徹底シタ所ノ農村對策ヲ樹テナケレバナラナイ、私ハ養蠶ノ徹底シタ對策ノ一ツトシテ、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、政府ノ之ニ對スル御意見モ伺ヒタイ爲ニ、私ノ意見モ申上ゲテ置イテ見タイ、先ヅ徹底シタ所ノ養蠶對策ノ一ツト致シマシテ、全國的ナ養蠶業組合ト云フモノヲ結成スル、今日モ養蠶業組合ハアルニハアリマス、ケレドモ昨日モ御話ノアリマシタヤウニ、横ノ統制ト云フモノガマダ名バカリデアツテ、出來テ居ラナイ、之ヲ名實共ニ伴フ所ノ横ノ結成ヲスル、而シテ今アリマス所ノ製絲業者——或ハ製絲業者ハ反對スルカモ分リマセヌガ、現在ノ製絲業者ハ其經濟的ノ内容ヲ考ヘマスルナラバ、平常ノ場合ニ於テモ中々經營困難デアアル、ダカラ或ル場合ニハ養蠶家ニ、或ル場合ニハ製絲女工ニ、非常ナ迷惑ヲ掛ケテ居ル、ソコデ私ハ此日本ノ製絲業者ト云フモノヲ全部賃引業者ト致シマシテ、サウシテ其養蠶業組合ノ全部ノ蠶ヲ賃引サスト云フコトニ致シマスナラバ、ソレデモ今日ノ製絲業者ノ利益率、歩合ト云フモノニハ、私ハ差支ハナイト考ヘテ居ル、斯ウシタ大キナ結成ノ下ニ、政府ト組合トガ合一シテ、サウシテ生絲ヲ海外ニ輸出スルヤウナ大々的ナ一ツノ——何

次ハ國有林開放ノ問題デアリマス、是モ明ニ分ツテ居ル問題デアリマスガ故ニ、極ク簡單ナ要求ノ問題、御伺シタイ「ポイント」ダケヲ申シマスルガ、今東北ノ山村、或ハ日本ノ多クノ山村ニ於テ困ツテ居ル一ツノ問題ハ、國有林ガ多クテ、鼻先カラ國有林デ、草刈ルコトモ、薪ヲ取ルコトモ出來ナイ、斯ウ云フ實情ニアリマスルコトデアツテ、私ハ此國有林ヲ今少シ——全部開放ト云フコトハ是ハ困難デアリマセウケレドモ、少クトモ山村ノ人達ガ生活シ得ルニ足ルヤウナ程度ニ於テ、之ヲ開放スル所ノ意思ガアルカドウカ、今國有林ノ交付金ノ制度ガゴザイマスルケレドモ、此制度ハ地租附加稅ノ率ニ依ツテ交付ヲ致シテ居リマスル關係カラ致シマシテ、是ハ非常ニ少額デ

次ニ蠶絲對策ノ問題デアリマスガ、政府ハ蠶絲對策ニ對シテモ、相當ノコトハシテ居ルト一昨日カラ御答辯ニナツテ居ル、併シ本年ノ夏秋蠶對策ヲ見マシテモ、僅カ三百萬圓ノ金ヲ御出シニナツテ、二百二十萬戶ノ養蠶農家ニ割當テ、見マスナラバ、一戸一圓五十錢ニ足リナイ金デアアル、又今後三箇年計畫ヲ以テ爲サントスル所ノ蠶絲對策ニ致シマシテモ、若シ之ヲ全額養蠶農

家ニ振當テルト致シマシテモ、一戸當リ六圓五十錢ニ當ラナイ、斯ウシタ六圓五十錢ヤ、一圓五十錢ノヤウナ少額ノ補助金、助成金ヲ以テシテ、此今日ノ行詰ツテ居ル養蠶村ガ救ハレルト御考ニナリマスルカ、私ハ斯ウ云フヤウナコトハ唯燒石ニ水デハナイカ、セナイヨリハ優シデアリマスルケレドモ、是デハ決シテ養蠶農民ハ救ハレルトデハナイト考ヘテ居ル、ドウシテモ徹底シタ所ノ農村對策ヲ樹テナケレバナラナイ、私ハ養蠶ノ徹底シタ對策ノ一ツトシテ、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、政府ノ之ニ對スル御意見モ伺ヒタイ爲ニ、私ノ意見モ申上ゲテ置イテ見タイ、先ヅ徹底シタ所ノ養蠶對策ノ一ツト致シマシテ、全國的ナ養蠶業組合ト云フモノヲ結成スル、今日モ養蠶業組合ハアルニハアリマス、ケレドモ昨日モ御話ノアリマシタヤウニ、横ノ統制ト云フモノガマダ名バカリデアツテ、出來テ居ラナイ、之ヲ名實共ニ伴フ所ノ横ノ結成ヲスル、而シテ今アリマス所ノ製絲業者——或ハ製絲業者ハ反對スルカモ分リマセヌガ、現在ノ製絲業者ハ其經濟的ノ内容ヲ考ヘマスルナラバ、平常ノ場合ニ於テモ中々經營困難デアアル、ダカラ或ル場合ニハ養蠶家ニ、或ル場合ニハ製絲女工ニ、非常ナ迷惑ヲ掛ケテ居ル、ソコデ私ハ此日本ノ製絲業者ト云フモノヲ全部賃引業者ト致シマシテ、サウシテ其養蠶業組合ノ全部ノ蠶ヲ賃引サスト云フコトニ致シマスナラバ、ソレデモ今日ノ製絲業者ノ利益率、歩合ト云フモノニハ、私ハ差支ハナイト考ヘテ居ル、斯ウシタ大キナ結成ノ下ニ、政府ト組合トガ合一シテ、サウシテ生絲ヲ海外ニ輸出スルヤウナ大々的ナ一ツノ——何

何

ト申シマスルカ、輸出會社デモ宜イ、サウシ
タモノガ出來ルニ非ズンバ、養蠶家、養蠶業
ノ對策ハ樹タヌノデハナイカ、尙ホ養蠶業並
ニ蠶絲業ニ對シテ、一體將來ドウナルト云
フ所ノ見透シヲハッキリ御付ケニナツテ居ル
カドウカ、私ハ養蠶業者ハドウシテモ養蠶
業ニ囚ハレル、斯ウ云フ立場カラ考ヘマシ
テ、政府ハハッキリシテ見透シヲ付ケテ、
人造絹絲ガ段々進歩發展シテ來テ、天然絹
絲ノ領域ヲ侵シテ參リマスル時ニ、之ニ對
シテ是レ／＼ダケハ完全ニ守レル、是レ／＼
ダケハ必ズヤッテ行ケルト云フ所ノ、ハッキ
リトシタ認識ヲ有ッテ行カナカッタナラバ、
私ハ養蠶對策ナント云フモノハ樹ツモノデ
ハナイと思フ、ソコデ唯單ニ當面ノ對策ダ
ケ樹テ、居ッテハ、進モ是ハヤッテ行ケルモ
ノデハナイ、斯ウシタ將來ニ對シマスル所
ノ、ハッキリトシタ認識ヲ以テ對策ヲ樹テ、
戴キタイト思フノデアリマスルガ故ニ、此
見透シ如何、此問題ヲ御伺致シタイノデア
リマス

次ノ問題ハ生産資金ノ融通ノ問題デアリ
マスルガ、旱害地或ハ養蠶地、特ニ東北ノ
方面ノ狀態ヲ見マス時ニ、是ハ天災デアリ
マスト共ニ、先刻カラ申上ゲマスルヤウニ、
經濟的ナ飢饉デアルト云フコトモ申上ゲル
コトガ出來ルノデアリマス、私ハ新潟縣ノ
山村ヲ巡ッテ居リマシタ時ニ、斯ウ云フ實例
モアリマスガ故ニ、篤ト御考置キテ戴キタ
イノデアリマス、即チ經濟的ナ力ガ無い爲
ニ、或者ハ自分ノ土地ニ働ク勞力ヲ飯米稼
ギノ爲ニ他ニ働キニ行ク、必然ニ勞力ハ不
足スル、勞力ヲ十分ニ入レルコトノ出來ナ
イ位ノ農家デアリマスルガ故ニ、肥料ヲ購
入シテ十分ニ入レルト云フコトハ出來ナイ、

斯ウシタ關係ガ收穫ヲ非常ニ減少シテ居ル
ト云フ問題デアリマス、是ハ東北、特ニ青
森、岩手ニ於テ、日本ノ平均收穫量ヨリモ
非常ニ低イ收穫量ヲ示シテ居ルト云フコト
モ、其一面ヲ物語ルノデアリマシテ、著シ
イ例ハ今申上ゲマシタヤウニ、新潟縣ノ刈羽
郡ノ上小國村ト云フ村ニ參リマスルト、小
サナ村デアリマスルニモ拘ラズ、約七十町歩
ノ耕地ガ荒廢サレテ居ルノデアリマス、此
荒廢ハ、是ハ土地ヲ作リタクナクテ荒廢シ
タノカ、決シテサウデハナイ、今申上ゲマシ
タヤウニ、飯米稼ギ、肥料不足、勞力不足ト
云フ事ノ爲ニ段々荒廢シテ參リマシテ、收
穫ハ少クナリ、愈々其率ガ高マツタ、是ガ
七十町歩ノ耕地ヲ荒廢シタト云フ事實デア
リマス、斯ウ云フ實例カラ考ヘマス時ニ、
私ハ明年度ノ農村ノ狀態、明年度ノ生産ノ
狀態ヲ考ヘマスル時ニ、政府ハドウシテ見
テモ斯ウシタ生産資金ト云フモノニ對シテ、
大藏省ト協力シテ、無擔保デモト簡單ニ融
資ノ出來ルヤウニシテ戴カナケレバナラス、
特ニ私ハ大阪ノ郡部ニ於テ果樹園ガ荒サレ
テ、是ガ復舊ノ爲ニ非常ニ困ッテ居ル農家
ノアルコトモ認メテ居ルノデアリマスガ、
斯ウシタ農家ノ復舊ノ爲ニ、或ハ本當ノ生
産ヲ高メテ行キマスルト云フ意味合カラ致
シマシテ、今日生産資金ト云フモノ、補
給ノ必要デアルト云フコトヲ、私ハ痛切ニ
考ヘテ居リマスガ故ニ、農林大臣ハ此點ハ
如何ニ御考ニナツテ居ルカ、大藏大臣トモ御
協力シテ御答ヲ戴キタイト思フ

次ニ内務大臣ニ對シテ御伺致シタイ事ガ
二ツバカリアリマス、其一ツハ同救土木事
業デアリマスガ、私ハ此費用ノ少イト云フ
點ニ付テハ繰返シテ申上ゲマセス、唯他ノ

方々ト違ッタ點ニ付テ申上ゲタイ點ハ、今日
マデ爲サレマシタ所ノ匡救土木事業ノ、其
背後ニ多クノ疑獄ガ起ッテ居ルト云フコト
ヲ御存ジデアアルカドウカ、土木事業ト疑獄、
是ハ附キ物デアアルト云フ迄ニ言ハレテ居ル
ノデアアル、今度又災害土木事業ヲ行フ時ニ、
斯ウ云フ事ヲ繰返シテハナラナイ、ソレバ
カリデハナイ、サウ云フ事ノ爲ニ本當ニ働
クベキ農民ガ壓迫サレテ居ル、二ツノ例ヲ申
上ゲマスナラバ、福岡縣ノ或ル村デハ一万
一千圓ノ土木工事ガ、既ニ請負業者ガ談合
ノ爲ニ六千圓ヲ取ツタ、斯ウ云フ事實スラモ
アルノデス、是ハ極端ナ例デアリマセウケレ
ドモ、本當ニ工事ノ表面ニ現ハレタル金額
ト、實際ニ施行致シマスル所ノ金額トハ非
常ニ違ッテ參ルノデアアル、ダカラ政府ハ約六
割ノ費用ヲ勞働賃銀ニ充テル、斯ウ云フヤ
ウニ御話ニナツデモ、實際現場ニ於テハ遺憾
ナガラ其金額ハ減ラサレテ、五割或ハ四割、
或ハ四割以下ニナツテ、非常ナ少額ノ賃銀ガ
農民ニ與ヘラレテ居ルト云フコトニナルノ
デアリマスガ、政府ハ此六割ナラ六割ノ賃
銀ヲ、確實ニ拂ハシメルト云フ事ノ爲ニ如
何ニナサルカ、疑獄ノナイヤウニ如何ニ監
督サレカト云フヤウナ問題ニ付テモ伺ヒ
タイ、特ニ今度ノ工事ノ建前カラ見マシテ、
賃銀ハ約七十錢ニ當ルト云フコトデアリ
マスガ、私共ハ昔カラ百姓ノ建前カラ申シ
マスルト云フト、米三升デ向フデ食ハシテ
貰フト云フコトガ、是ガ百姓ノ一般通用ノ
賃銀デアリマス、此三升向フ扶持ガ百姓ノ
昔カラノ勞働賃銀ダト致シマスルナラバ、
土木工事ニ使フ所ノ農民ノ勞銀ガ六十錢
見當トハ大分差ガアルノデアリマス、去年
ノヤウナ米ノ安イ時ヨリモ、今年ノ高イ時

ノ方ガ低クナツテ居ルト云フヤウニ見受ケ
ルノデアリマスガ、本年ノ斯ウシタ勞働賃
銀ノ割出シノ根據ガ何處ニアルカ、農民ノ
生活根據ヲ考ヘテ御出シニナツタノデア
カドウカ、斯ウ云フ點モ御伺シタイ、特ニ
私ハ内務大臣ニ伺ッテ置カナケレバナラナ
イ點ハ、農民ノ中デハ斯ウ云フ聲ガアルノ
デアアル、私ハ土木事業ハ惡イト云フノヂヤ
ナイガ、救農土木事業、匡救土木事業ハ時
ニ依ルト云フト、救農土木事業デアルト云
フ聲ヲ聞イテ居ルノデアアル、是ハ何ヲ物語
ルカト申シマスルト云フト、即チ例ヘバ道路
ナラ道路ト云フモノヲ附ケテ參リマス、其
敷地ノ爲ニ土地ガ當ル、所ガ地主ニ對シテ
ハ相當ノ地代ヲ賠償シマスルガ、其土地ヲ
作ッテ居ッタ小作人ニ對シテハ無斷ガ附ケル
場合ガ往々アル、ソレデ小作人ガ何等ノ補
償ナシニ取ラレテ居ルト云フ事實ガ其處此
處ニ多數アルノデアアル、若シ斯ウ云フヤウ
ナコトヲ致スナラバ、今申シマスルヤウニ、
救農土木事業ト云フ名稱ヲ附ケテ置キナガ
ラ、實際ニ働ク所ノ小農ガ殺サレシマウ、
殺農デアアル、斯ウ云フヤウニ申シマスルコ
トハ、是ハ當然デアラウト思フノデアリマ
スルガ、若シナイト仰シヤルナラバ、私ハ
内務省ノ直轄事業ノ中ニ於テモ其實例ガア
ルト云フコトヲ一ツ申上ゲマス、是ハ私共
ガ此議會デ御願致シマシテ施工致シマシタ
アノ大阪府ノ大和川ノ改修ニ於キマシテ、
大和川ノ中ニアリマス所ノ流作地ノ買収ニ
當リマシテ、内務省ハ此土地ノ地代ヲ地主
ニ拂ツタケレドモ、小作人ニハ一厘ノ金ヲモ
支拂ハナイデ、ドン／＼此工事ヲヤッテ來タ、
斯ウ云フ實例ヲ私共ハ見受ケテ居ルソコデ
大事ノ場所ニ於テ、サウ云フヤウニ土地ヲ取ラ

レテシマッテハ、小作人ハ失業スルバカリデア
ル、而モ此農民ノ中ニハ在郷軍人モ居ル、漸ク
之ニ依ツテ生活シテ居ル所ノ農民モ居ル、然
ルニ一文モ補償ヲシテヤラナイデ之ヲ追拂
フト云フコトニナツタナラバ、農民ガ失業ス
ルバカリデア、斯ウ云フ無茶ナ方法ハナ
イカラト言ウテ、私ハ言葉ヲ極メテ内務省ノ
土木出張所ニ數度デナイ、十數度足ヲ運シ
テ御願シタノデアリマスケレドモ、遂ニ一
厘ノ補償ヲ與ヘナイデ之ヲ取ラウト致シテ
居ル、而シテ私共ハ餘リニ亂暴デアリマス
ガ故ニ、小作人ハマダ土地ヲ明渡セト云フ
通知ヲ受ケテ居ラナイカラ、今日ノ民法カ
ラ致シマシテモ、一箇年ノ占有權ハアル筈
デア、斯ウ言ウテ占有權確保ノ訴ヲ大阪
ノ裁判所ニ訴ヘタ次第デア、ソレガ昨日
裁判デア、斯ウ云フ通知ヲ受ケテ居リマ
スルガ、若シ内務省ガ斯ウ云フヤウニ直接
ニヤラレル所ノ土木事業乃至ハ多クノ救農
土木事業ノ中ニ於テ、百姓ノ爲ニ、小作人
ノ爲ニ一厘モ補償スルコトガ出來ナイ爲
ニ、是デ失業スル、此爲ニ一家路頭ニ迷フ
フト云フヤウナコトヲ一人デモシテハナラ
ナイト思フノデアリマスルガ、一體政府ハ
之ニ對シテドウ云フ御考ヲ御持チニナッテ
居ルカドウカ、大和川ノ問題ニ致シマシテ
モ、若シ此問題ガ紛糾致シマシテ、サウシ
テ刑事問題ガ起リ、又多クノ色々ナ問題ガ
起ツタ時ニ、一體内務省ハ之ニ對シテドウ云
フ責任ヲ執ル積リデア、私ハ斯ウ云フ
問題ニ付テモ能ク伺ツテ置キタイノデアリ
マス

事カラ致シマシテ、ドウシテ見テモ其負擔
ガ出來ナイト云フコトデ、事業ハヤリタイ
ガ、農民ニハ勞銀ヲ與ヘタイガ、村ノ負擔
ガ出來ナイト云フコトノ爲ニ、此事業ヲヤ
リ兼ネテ居ル村ハ澤山アルト思フ、斯フ云
フ場合ニ於テ、政府ハ如何ナル處置ヲ御執
リニナルノデア、斯フ云フコトヲモ御
同致シタイ、特ニ内務大臣ニ御一考ヲ煩シ
タイ點ハ、此頃農村ニ於キマス所ノ醫療問
題ガヤカマシク言ハレテ居ル、サウシテ内
務省ハ一村一醫ヲ置クト云フヤウナ事ヲモ
申サレテ居リマスケレドモ、併シ是ハ何時
行ハレルカ、程遠イコトデアラウト思ヒマ
スルガ、私ハ凶作地ヲ巡廻シテ參ッテ、殊ニ
自分ノ心ヲ惹イタ所ノ一ツノ問題ハ、營養
不良デア、爲ニ非常ナ流行病ニ冒サレ時
ニ、抵抗力ガ弱クテドシ、ト死ンデ行ク、
特ニ乳幼児ガ非常ニ冒サレテ行クト云フ問
題ヲ見テ來タノデア、其一ツノ例ハ八戸
ノ町ヲ中心ト致シマシテ、農村ノ方々ガ「デ
フテリア」ニ罹ッテ居ル、所ガ「デフテリア」
ノ血清ハ高クテ之ヲ使用スルコトハ出來ナ
イ、兎ヤ角シテ居ル中ニ子供ハ死ンデ行ク
ト云フヤウナ實情モ見セ付ケラレテ來タノ
デア、私ハ斯フ云フ意味合ニ於テ、醫療
ノ普及及徹底ト云フコトハ勿論爲サナケレバ
ナラヌガ、先ヅ此災害地ノ當面ノ問題ト致
シマシテ、セメテハ乳幼児ノ死亡率ヲ減少ス
ルト云フ意味合カラ致シマシテモ、此「デ
フテリア」血清ノ如キヲ政府ハ無償デ醫師
ニ配給シテ置イテ、罹災民、サウシタ貧窮
ノ農民ノ兒童ガ「デフテリア」ニ罹ッテ參リ
マシタ時ニ、無償デ醫者ガ喜ンデ應ズルト
云フヤウナ制度ヲ設ケテハ如何デア、カド
ウカ、内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フ

ノデアリマス
次ニ文部大臣ニ一ツ御願ヲシ、御伺ヒシ
タイ點ハ、小學校ハ勿論國民教育デアッテ、
サウシテ此小學校ノ費用ニ對シテ、モウ多
クノ方々モ申サレテ居リマスルヤウニ、教
育費ノ國庫補助全額負擔、是ハ勿論當然デ
アルト思フ、私ハ教育費バカリデハナイ、
尙ホ進ンデハ建物ノ如キモ、國民教育デア
ルト云フ建前カラ申シテ、是ハ國家ガ爲ス
ベキデア、アルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
併シ今日ノヤウナ財政デ若シ出來ナイト申
シマスルナラバ、尙ホ私共ハ此問題ニ對シ
テ十分ノ考慮ヲ拂ッテ戴キタイト同時ニ、特
ニ九月ノ二十一日ノ風水害ニ於テ、大阪、
京都、是等ハ中心地デゴザイマシタガ故ニ、
文部大臣ガ親シク御觀察ニナツタヤウニ、多
クノ小學校ガ倒レテ居ル、大阪府下ダケデ
モ約百四十三ノ小學校ガ倒壊シテ居ルノデ
アリマス、浸水シタモノデモ六十校浸水致
シテ居リマス、此倒壊小學校ニ對シマシテ
大阪府ノ町村農會、町村長會ハ、此復舊ニ
對シテ是非國庫全額負擔ヲシテ呉レト云フ
要求ヲ致シテ居リマスガ、今申シマスルヤウニ、
是ハ此要求ノ全部ニ應ズルコトガ出來ナイ
ト致シマスルナラバ、セメテハ關東震災當
時ニ於キマス所ノ、此東京横濱ニ採ツタ同様
ナ補助額ヲ交付シテ呉レトハ出來ルカ
ドウカ、斯ウ云フ要求ニ付テ伺ヒタイノデ
アリマス、先ヅ大阪方面ノ最低ノ要求、御
願トシテ居リマスル點ハ、今申シマスルヤ
ウニ、國庫補助金ノ交付ヲ出來ルダケ多ク
シテ戴キタイコト、資金ノ融通ニ對シテハ
三十箇年ヲ期間トシテ、利子ヲ無利子、或
ハ利子ガアルナラバ國家ガ之ヲ補給シテ欲
シ、斯ウ云フ要求ヲ大阪方面ノ關係町村

ノ人達ガ申サレテ居リマスルガ、斯ウ云フ
問題ニ對シテ文部大臣ニ伺ヒタイ
最後ニ私ハ軍部ノ大臣ニ御伺ヒ致シタイ
點ハ、昨日カラモ色々御話ガゴザイマシタ
ガ、財政ト國防ト云フモノガ勿論兩立シナ
ケレバナナイト云フコトハ明ナ事實デア
ル、又國民生活ノ安定ト國防ノ點ハ重大ナ
ル關係ガアルト云フコトモ、是ハ當然デア
ル、斯ウ云フ立場カラ致シマシテ、昨日中
島氏モ質問サレマシタガ、今日ノ一般財政
十年度ノ豫算ト云フモノヲ見マスル時ニ、
國防豫算ト云フモノト一般豫算ト云フモノ
トガ、非常ニ不均衡ノヤウデア、之ヲ
軍部大臣ハ均衡ガ取レテ居ルト御考ヘニナ
ルカドウカ、若シ不均衡デアルト致シマス
ルナラバ、平生御主張ニナツテ居リマス所ノ、
財政ト國防トノ兩立ガ必要デアルト斯ウ申
サレテ居リマスコトガ、是ハ事實ト矛盾シ
テ參リハシナイカドウカ、又農林、内務ノ
豫算ガ一億圓モ削減セラレルト云フ場合
ニ、軍部ノ豫算ガ四割七分ヲ占メルト云フ
ヤウナ龐大ニナリマスル時ニ、平生農村ノ
爲ニ吾々ハ最大ノ努力ヲ拂フ、斯ウ云フヤ
ウナ話ガ新聞ニ出テモ居レバ、又大臣カラ
モ直接聽イテ居ルガ、此財政豫算編成ノ
場合ニ於テ、先ヅ農林豫算、内務豫算ト云
フモノガ斯クモ削減セラレルヤウナ場合
ニ、モウ少シ何トカ之ヲ與ヘルコトハ出來
ナイカ、自分ノ豫算ハ先ヅ別ト致シマシテ
モ、少クトモ之ニ對シテ何等カノ口添ナリ、
努力ガ拂ハレタノデア、カドウカ、私ハ斯
ウ云フ點ヲ是非伺ツテ置キタイ、ソレデナ
カッタナラバ昨日カラ問題ニナツテ居リマス
所ノ「パンフレット」問題モ唯是ハ宣傳、
唯是ハ空念佛ニ終ツテシマヒハシナイカ、斯

ウ云フ意味合ニ於テ御伺致シタイ

次ハ軍縮豫備會議ノ問題デアリマス、先般廣田外相ガ此處デ御演説ニナツタ所ノ、所謂軍縮ノ方針ニ對シマシテハ、是ハ誰モ反對スル者ガナイ、ソコデ昨日モ色々御話モゴザイマシタガ、無條約ノ場合ニナツタ時ニ建艦競争ニナリハシナイカト、斯ウ云フ質問ノゴザイマシタ時ニ、大角海軍大臣ハ尙ホ二箇年ノ日子ガアルカラ、其中ニハ何トカナルデアラウ、斯ウ云フヤウナ御話ガアッタヤウニ思ヒマス、何トカナルデアラウ、併シ萬一ノ場合ハ斷乎タル覺悟ガアル、斯ウ云フ御言葉デアリマシタガ、斷乎タル覺悟ト云フ意味カラ致シマスルト云フト、ドウシテ見テモ是ハ相當ニ充實シテ置カナケリヤナラス、斯ウ云フコトガ裏書サレテ居ルノデハナイカ、詰リ若シ無條約ニナツタ場合ニ、即チ向フハ五デアルカラ、吾々ハ其五ニ迄上ツテ行カナケレバナライ、斯ウ云フヤウナ建艦競争、即チ海軍力ヲ高メテ行クト云フヤウナ問題ニナリハシナイカ、所謂此廣田外相ガ示シテ居ル點ト、詰リ背馳ラシテ來ルデハナイカ、私ハ斯ウ云フ意味合ニ於テ一ツ伺ヒタイト同時ニ、財力ト人トノ關係——私ハ此際ノ豫算委員會ノ場合ニモ、大角海軍大臣ニ申シタノデアリマスガ、詰リ武器ノ充實モ必要デアルケレドモ、人ノ和ハ尙ホ一層ニ必要デアル、斯ウ云フ意味合カラ致シマシテ、ドウシテ見テモ今日ノヤウナ窮乏シテ居ル時ニ、少シ位ノ軍事豫算ハ削減シテモ、之ヲ農村ニ振向ケテヤルト云フコトノ方ガ、將來ニ對シテ力ヲ養フ所以デナイカ、私ハ東北ノ、實ニ棄テラレタ實情ヲ見マスル時ニ、若シ僅カナ費用デモ之ヲ割イテ與ヘテヤルコトガ出來ルナラバ、東北一帯ハ大ニ救ハレルデアラウト云フヤウナコトモ見テ來タノデアリマスガ、一番眞先ニ引出サレル所ノ東北ノ百姓達ニ對シテ、サウ云フコトガ出來ルナラバ、私ハ一層ノ忠誠ガ爲サレルノデハナイカ、斯ウ云フ意味合ニ於テ私ガ大角海軍大臣ニ伺ヒタイ所ノ一ツハ、唯條約廢棄ノ後ハ國防自主權ト云フモノヲ確立スルダケデアツテ、其結果建艦競争ニナリハシナイカドウカ、斯ウ云フ點デアリマス、尙ホ色々御伺シタイ點モ澤山アリマスケレドモ、私ハ此外ノ事ハ委員會ニ讓ルト致シマシテ、大體ノ質問ヲ是デ終ルコトニ致シマス（拍手）

（國務大臣岡田啓介君登壇）

○國務大臣（岡田啓介君） 農村ニ對シマシテ根本對策ヲ樹テルト云フコトハ、私ハ必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、農村ノ經濟ヲ改善スルコトモ、亦此度起リマシタ各地ノ災害ニ付キマシテモ、尙ホ其間ニ人事ノ爲スベキコトガ相當ニアルト思フノデアリマス、此具體的原因ヲ明カニシテ、根本的匡救ノ對策ヲ樹テルトハ必要ト考ヘテ居リマス

ソレカラ此度ノ臨時議會ヘ、各地ニ起リマシタ災害ヲ救済スル爲ニ開カレタ臨時議會デアリマス

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 私ニ對スル御質問ハ、大分多岐ニ亙ツテ居リマスカラ、簡單ニ要點ダケヲ御答致シタイト思ヒマス、第一ハ小作法制定ノ問題デアリマスガ、小作制度ハ私モ極メテ其重要性ヲ認メテ居ル者デアリマス、併ナガラ之ニ關シマシテハ尙ホ考究致シタイ點モ多アリマスノデ、

直チニ皆様ノ御審議ヲ煩ス運ビニハ至リ兼ねテ居ルノデアリマス

第二ハ飯米問題ノコトデアリマスガ、東北其他ノ地方ニ對シテ、果シテ飯米ノ供給ガ行届イテ居ルカ、斯ウ云フコトガ一點デアッタヤウデアリマスガ、養蠶地方ノ窮乏、水害地方ノ困窮、旱害地方及冷害地方ニ對シマシテ、政府ハ現在ノ法規ノ許ス範圍ニ於テ、出來得ル限りノ便宜ノ處置ヲ講ジマシテ、是等各地方ニ對シテ、既ニ八十餘萬石ノ米ヲ配給致シテ居ルノデアリマス、尤モ其中一部ハ代金延納ヲ認メ、他ハ成ベク政府所有ノ古米ヲ拂下ヲ致シタ譯デアリマス、今回ノ特別立法デアアル五十萬石デ、救済シ得ルカト云フ御質問デアッタヤウデアリマスガ、此五十萬石ノ計算ノ基礎ハ、追テ法律案御審議ノ際ニ讓リタイト思ヒマス、尙ホ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、私トシマシテハ、此特別立法ノ外ニ、尙ホ政府所有ノ米ヲ災害地方ニ供給スル上ニ付テノ便法ヲ、別ニ考慮シタイト考ヘテ居リマシテ——是ハ簡單ニ申上ゲマスレバ、今回ノ匡救事業等ニ依ツテ、支拂フベキ勞銀ノ一部ニ米ヲ以テ充當スル方法ヲ執ツタナラバ如何デアラウカ、斯ウ云フ腹案モ持ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ無論無償デ米ヲ出スト云フ意味デハアリマセヌ、豫算ノ範圍ニ於テ、地方廳ガ政府所有ノ米ヲ買取ラレテ、サウシテソレヲ勞銀ノ一部トシテ支拂フト云フヤウナ方法ヲ執ツタナラバ、多少農村ノ人々ニモ便宜デアリ、又全國的ニ米ノ配給ノ上ニ於テモ、相當ノ利便ガアルノデハアルマイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ濡米ノ拂下ニ付テ、配給ガ遅延致シタト云フ御話デアリマスガ、是ハ當時

大阪ニ於ケルアノ風害ノ關係ト致シマシテ、倉庫ヨリ船積其他ノコトガ非常ニ困難デアリマシタ、又鐵道モ貨物輻湊ノ結果、中々輸送上ノ困難ガアッタノデアリマス、有體ニ申セバ、濡米ヲ取ツタラドウカト云フコトハ、私ガ東北六縣ノ知事ニ、此方カラ實ハ相談ヲ持掛ケテ、知事モ最初ハ濡米デハドウデアラウカト云フヤウナ懸念モシテ居ラレマシタ方モアリマシタケレドモ、斯様ナ際ニハサウ云フヤウナコトヲ心配スルヨリモ、兎モ角モ持ッテ行カレタラドウカ、斯ウ云フコトヲ勸メマシテ、出來得ル限りノ便法ヲ講ジテ配給ヲ致シタ譯デアリマス多少ノ遅延ハアリマシテモ、是ハ何ノ場合ニムラ得ナイコトデアルト思ヒマス、地方ニ於テモ、其事ハ十分諒トシテ居ラレルコトヲ私ハ確信致シマス、ソレカラ差押禁止——即チ民事訴訟法改正ノ問題デアリマスルガ、是ハ只今司法省ニ於テ十分研究ヲシテ居ラレルヤウデアリマス、ソレカラ國有林開放ノ點デアリマスルガ、國有林開放ハ、出來得ル限リ其利用ヲ開放シタイト考ヘテ、諸般ノ施設ヲ講ジテ居ルノデアリマス、交付金制度ニ付テハ、是亦只今種々考究致シテ居ル點デアリマス、次ハ米穀政策ノコトデアリマスガ、米穀政策ニ付テハ一昨日來數回私ハ此席ニ於テ、只今政府ノ持ッテ居リマスル計畫ヲ申上ゲタ積リデアリマス、唯、只今ノ御問ノ中ニ、從來ノ米穀政策ハ徒ニ米價ヲ釣上ゲル政策デハナイカ、ソレハ却テ農民ヲ困ラシテ居ル結果ト相成ッテ居ラスカト云フヤウナ意味ガアッタヤウデアリマス、御承知ノ通り從來ノ米穀政策ハ、生産者ト消費者ト兩面ノ利益ヲ適正ニ調節スル趣意デアルノデアリマス、徒ニ米價ヲ釣上ゲル

コトヲ目的トシタモノデナイコトハ御承知
デアラウト思ヒマス、尙又米價が相當ノ程
度ヲ維持スルコトハ、私共ハ農村全體ノ爲
ニ必要デアルト思フノデアリマシテ、其點
ニ於テハ只今ノ御質問トハ、私共ハ少シク
變テ考テ居ルデアリマス(拍手)

蠶絲對策デアリマスルガ、是モ大キナ問
題デアリマシテ、此席ニ於テ只今私ノ考ヘ
テ居リマスル全體ヲ申上グル時間ハゴザイ
マセス、私ハ總テ行政ノコトハ唯徒ニ理想
ノミニ走ル譯ニハ參ラナイ、又唯一人ノ考
ヲ以テ全國ニ互ル問題ヲ、飽クマデ我意ヲ
貫イテ行クベキモノデハナイ、有ル方面
ノ意見ヲ採入レテ、適正ノ所ヘ運ブト云フコ
トガ、是ガ政治及行政ノ要諦デアルト考ヘテ
居ルノデアリマス、此意味合ヲ以チマシテ、
蠶絲對策ニ付テハ或ハ不徹底デアリ、或ハ
不十分ト云フ御意見モ起リ得ルカトモ思ヒ
マスルケレドモ、先ヅ私共ハ今日ノ場合實
行シ得ル程度ニ於テ、相當ノ案デアラウト
信ジテ居ルモノガアルノデアリマシテ、此
點ハ何レモ通常議會ニ於テ、十分ノ御審議
ヲ煩シタイト希望シテ居リマス

ソレカラ生産資金ノ問題デアリマスルガ、
之ニ付キマシテハ或ハ肥料資金、養蠶資金、
購繭資金、米穀資金、是等ニ關シマシテハ
大藏省預金部ニ於テモ、相當ノ用意ガ既ニ
整テ居ルノデアリマス、尙ホ御尋ノ大阪方
面ニ於ケル果樹園ノコトハ、是ハ關係地方
ニ於ケル熱心ナル希望モ、私ハ十分諒知致
シテ居リマシテ、之ニ對シマシテモ大藏省
預金部ト協議ヲ致シマシテ、相當ノ手配ヲ
講ズルコト、相成テ居リマス、大體私ニ對
スル御問ハ此程度デアツカト思ヒマス(拍
手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 私ニ對シテノ御
尋ハ、第一ガ此際農村負債ノ救済ノ爲ニ「モ
ラトリウム」ヲ布クヤウナ考ハナイカト云
フ御尋デアリマシタ、私ハ今左様ナ考ハ持ッ
テ居ラスト御答テ致シマス、第二ノ御尋ハ
農林省、内務省、文部省等、ソレノ土木
費ノ國庫補助ニ關スル問題デアリマスルカ
ラシテ、其所管大臣ニ御質問ニナツタ方ガ
適當ダラウト考ヘマス

(國務大臣後藤文夫君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 救農土木事業ノ
施行ニ付テ、是マデ或ハ不正ナコトガ行ハ
レタリ、又賃銀ノ六割ガ勞働スル者ニ行ク
筈ノガ、請負ノ爲ニサウ云フ風ニ行カナイ
ヤウナコトニナツタト云フコトニ付テノ御
注意モアリマシタガ、是ハ先年來匡救事業
ヲ行フニ當リマシテ、十分ニ注意ヲ致シテ
參ツタ所デアリマス、昨年一昨年等ニ
於キマシテモ、内務省カラモ屢、監督ノ
者ヲ地方ニ班リ別ケテ出シタリ、又府縣
廳ニ於キマシテモ、町村ノ仕事ノ實施方
ニ付テ、ソレノ注意ヲ致シテ參ツタノ
デアリマス、又成ベク町村デ行フ救農土
木事業ナルモノハ直營トシテ、請負ニセズ
ニ參ルコトヲ原則トシテヤラセマシタモノ
デアリマス、併シ物ノ性質ニ依ツテハ、左様
ニ參ラナカッタコトモアルヤウニ思ハレマ
ス、是等ノコトニ付キマシテハ、今後モ出
來ル限り注意ヲ致シマシテ、此趣旨ノ達成
スルヤウニ、努力ヲ致シタイト考ヘテ居リ
マス

ソレカラ救農土木事業ヲ行フ際ニ、地主
ニ補償ハアツテモ、小作人ニ補償ハナイト云
フコトニ付テ、獨リ救農土木事業ノミナラ
ズ、是マデノ土木事業ニ付テノ關係ノ御話
ガゴザイマシタガ、是ハ地方ニ於ケル大體
慣習ニ從テ是マデ實施ヲ致シテ居リマス
ノデ、ソレノ實地ノ場合ニ就テ考ヘテ參
ルコトデアリマス、又極ク小サナ地方ノ救
農土木事業ト云フヤウナモノニ付テハ、サ
ウ云フ心配ノ起ラナイヤウニ、避ケテ仕事
ヲ選ブト云フコトモ適切ナ注意カトモ思ヒ
マス、ソレカラ救農土木事業ヲ行フト、村
ノ方ニ負擔ガ參ルデアラウガ、村ハ隨分負
擔ニ苦ムデアラウ、サウ云フコトニ付キマ
シテモ十分ニ考慮ヲ致シテ參ツテ居リマス、
四分ノ三ノ補助デ村ノ土木事業ヲヤラセル
コトニナツテ居リマスガ、是ハ全額補助ト云
フコトデハ、行フ範圍ノ大小モアリマス
シ、又仕事ノ種類ノ選ビ方ニ依リマシテ、
村ト村トデ色々相違ガアリマスノデ、ヤハ
リ村ガ何程カ負擔ヲスルト云フ形ヲ採ラナ
ケレバナラヌト思フノデアリマスガ、併シ
此負擔ノ力ノ無イ所ヲ補フ爲ニハ、ソレニ
要スル起債ニ對シテ低利資金ノ供給ヲス
ル、又更ニソレノ利子ノ補給等ヲスルト云
フヤウナコトモ、是マデ致シテ參ツテ居リ
マスガ、今後ヤリマスルモノニ付キマシテ
モ、窮乏シタ地方ニ對シマシテハ、低利資
金ノ供給ハ勿論ノコト、其上ニ利子補給等
ノコトモ考ヘテ居ルノデゴザイマス

ソレカラ農村ノ醫療施設ニ付テノ御尋ガ
アリマシタ、是ハ吾々モ御同感デアリマシ
テ、農村ノ醫療ノ施設ハ、今日ノ儘デハイカ
ナイト思ツテ居リマス、先年來農村匡救ニ關
シテ致シテ居リマス醫療施設ノコトモ、今後更
ニ明年度ニ於テモ、相當ナ範圍デ繼續ヲ致ス
積リデアリマス、又九年度ノ追加豫算ニ於
キマシテモ、主トシテ是ハ冷害地方其他ニ

付テ考ヘテ居リマスガ、或ル程度ノ金額ヲ
取リマシテ、此地方ニ施設ヲ致ス考ニシテ
居ルノデアリマス、ソレカラ災害土木費ノ
府縣ニ對スル補助ノコトニ付キマシテ、大
藏大臣ニ御尋ガアリマシタ、是ハ私カラ御
答スルコトガ、大體便利ダラウカト思ヒマ
ス、災害土木費ノ補助ニ付キマシテハ、昨
日中島君カラ御尋ノ際ニモ一ト通り考ヲ申
シテ置キマシタガ、是ハ震災ノコトニ付テ
ハ、關東震災以來ノ特別ナル例ガアリマ
ス、併ナガラ今日ノ災害ノ激甚ナノニ鑑
ミマシテ、災害ノ金額ノ大キイ所、復舊事
業費ノ巨額ニ上ル所、地方ノ財政ノ困難ナ
所、ソレ等ヲ考慮シマシテ、特ニ元金並ニ
利子ノ補給ヲ致スト云フヤウナコトニ致シ
タ所モアリマス、又其他ノ地方ニ於ケル地
方ノ災害ノ狀況、財政ノ狀況等ヲ見マシ
テ、更ニ利子ノ補給ノコトモ考ヘテ居ルノ
デアリマス、又大阪ニ付キマシテハ、御承
知ノ通り大阪ノ最モ大キナ復舊並ニ復興事
業デアリマス、築港ノ補助ニ付テモ、特ニ
是ハ考慮致シテアルヤウナ譯デゴザイマス

(國務大臣松田源治君登壇)

○國務大臣(松田源治君) 御答致シマス、
小學校ノ建築費ニ付キマシテハ、元利八分
ノ一ノ補助ヲ致スコトニ致シテ居リマス、
關東震災ノ時ハ、東京市橫濱市ノ學校ノ復
舊ニ付テ、四分ノ一補助ヲ致シテ居リマシ
タケレドモ、今回ハ大都市ノミナラズ、地
方農村ニ於キマシテモ、一樣ニ八分ノ一ノ

元利補給ヲ致シタノデアリマス、其率ノ少
イノハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、今日
ノ財政上ニ鑑ミテ已ムヲ得ナイコト、考ヘ
テ居リマス

（國務大臣林銑十郎君登壇）

○國務大臣（林銑十郎君） 杉山君ノ私ニ對
シマス御質問ニ御答致シマス、御質問ノ要
旨ハ財政上國防、或ハ國民生活ト國防ハ、
共ニ調和ヲ取ルベキモノデハナイカ、今回
ノ豫算ニ於テ國防豫算ト其他ノ豫算ガ均衡
ヲ得テ居ルト思フカ、農村其他ノ豫算ニ付
テ、軍部大臣ノ平素ノ主張トシテ、ソレニ
對シテ努力ヲシタカドウカ、大體斯ウ云フ
御質問ト考ヘマス、先ヅ國防ト財政、國民
生活ト國防ガ均衡ヲ得ナケレバナラヌト云
フコトハ、洵ニ御尤ノコトデアリマシテ、
私共モ其考ハ平素カラ十分ニ持ッテ居リマ
ス、唯今日ハ四邊ノ國際情勢其他ガ、國防
ノ非常ナル完備ヲ特ニ要シテ居ル時機デア
リマシテ、平素ノ——平常ノ考デ歲入ノ全
體カラ之ヲ適當ニ割振ッテ、凡ソ國防ニ是ダ
ケ充テルト云フヤウナ程度デ我慢シテ居ル
コトガ出來ナイ、此國防ノ爲ニ計畫シマス
ノニハ、相當ニ苦心ヲ致シマシテ、節減シ
得ルモノハ十分ニ節減ラシ、是ヨリ我慢ノ
出來ナイ、是ヨリ我慢ヲシタナラバ所謂國
防ニ缺陷ヲ生ズル、ソレデハ相濟マヌト云
フ所マデ十分ニ研究ヲ致シマシタ、サウ云
フ程度ノモノデゴザイマスカラ、此農村方
面ノ豫算ニハ十分ノ力ヲ加フルコトヲ希望
ハ致シテ居リマスケレドモ、併シソレガ爲
ニ國防ニミス——缺陷ノ出來ルコトヲ見テ
居リナガラ、國防費ヲ其方ニ割クト云フコ
トハ、國防當局ト致シマシテハ洵ニ困難デ
アリマス、隨テ其他ノ方法ニ於テ出來ルダ

ケ農村方面ノ匡救ニナルヤウニ種々努力ハ
致シマシタ、現ニ災害豫算ニ付キマシテハ、
陸軍ニ於テ必要ナリト計上セラレタ所ノ諸
種ノ災害復舊費ニ對シマシテモ、其豫算ヲ
成タケ減少致シマシテ、之ヲ他ノ方面ニ向
ケルヤウニ努メマシタ、又陸軍ニ與ヘラレ
テ居ル所ノ廣大ナル豫算ノ消化ニ於キマシ
テ、努メテ此農村方面ノ窮厄ヲ救フベク研
究モ致シ、努メマシテ、併ナガラ大體ニ於
テ今日ノ情勢上國防ノ費用ヲ是レ以下ニ減
ズルト云フコトハ到底忍ビナイ、出來ナイ
ト云フ考カラ主張致シタ次第デアリマシ
テ、是ハ特別ナル今日ノ情勢上已ムヲ得ナ
イモノト考ヘテ居リマス、之ヲ以テ御答ト
致シマス

（國務大臣大角孝生君登壇）

○國務大臣（大角孝生君） 御答ヲ致シマ
ス、窮乏セル農村ノ救済ニ付キマシテハ、
只今杉山君カラ續々御述ニナリマシタ通
リ、洵ニ急務デアルト存ジマス、之ニ付キ
マシテハ關係各省ガ最善ノ努力ヲ拂ヒツ、
アルコト、信ジテ居ルノデアリマス、ソレ
ニモ拘ラズ、ソレデハ不足デアルカラ軍部
ノ豫算カラ割イテ、其方ニ廻ス餘裕ハナイ
カト云フヤウナ御尋デアリマス、之ニ關シ
マシテハ、只今同僚ノ陸軍大臣ヨリ答辯致
シマシタト同様ノ意見デアリマス

次ニ軍縮會議不成立ノ場合、造艦競争ガ
起キルデハナイカ、斯ウ云フ御質問デアリ
マス、帝國政府ノ軍縮提案タル軍縮方針ノ
公正妥當ナルコトハ、只今杉山君モ御認メ
ニナツタ通りデアリマス、此公正妥當ナル軍
縮方針ヲ貫徹致シマスルノニハ國民ノ總
意、一般輿論ノ支持ヲ得マシテ、熱心ニ此
主張ヲ繼續スルヨリ外致方ナイノデアリマ

ス、不幸ニシテ我が主張ガ破レタ場合、何
人カ造艦競争ガ絕對ニ起ラスト云フコトヲ
斷言シ得ルデアリマセウカ、或ハサウ云フ
場合ガナイトモ限ラスト思ヒマス、併シ吾
吾ハサウ云フ風ノ傾向ニ持ッテ行ッテハナラ
ヌト云フ考ヲ以チマシテ、帝國海軍自ラ軍
擴ノ尖端ヲ切ルト云フヤウナ考ハ毫モナイ
ノデアリマス、假令條約不成立ニ終リマシ
テモ、先ヅ列強ノ爲ス所ヲ靜ニ觀テ居ッテ、
サウシテ帝國國防ノ最モ必要トシ、又我が
國情ニ適スルト思フヤウナモノヲ先ヅ整備
ヲシ、サウシテ列國ノ爲ス所ノ狀況ヲ靜ニ
觀テ居ルト云フコトガ、先ヅ第一ノ必要事
デアラウト思フノデアリマス、昨日モ申上
ゲマシタ如ク、日本ノ提案ナルモノハ眞ノ
軍縮案デアリマシテ、是ガ成立致シマスレ

バ國防ノ安全感ハ完全ニナリ、又國民ノ負
擔ハ輕減セラレルノデアリマス、此公正ナ
ル案ヲ故意ニ蹴破リマシテ、サウシテ自ラ
進ンデ軍擴ヲスルト云フ國ガアリマシタナ
ラバ、其處ハ吾々トシテ考ヘナケレバナラ
ス、場合ニ依ッテハ粥ヲ啜ッテモ國防ノ重責
ヲ盡サナケレバナラヌト云フヤウナ意味ノ
コトヲ昨日申上ゲタノデアリマシテ、初カ
ラ軍擴ヲ豫想シテ、サウシテ斷乎タル決心
ヲ以テ其軍擴ノ標準ヲシナケレバナラヌト
云フヤウナ意味ヲ申上ゲタノデハナイノデ
アリマス、吾々ハ飽迄公正妥當ナル軍縮ノ
成立センコトヲ希望スル次第デアリマス

（拍手）

○杉山元治郎君 簡單デアリマスカラ、自
席カラ……

○議長（秋田清君） 宜シウゴザイマス

○杉山元治郎君 只今ノ點ニ付テ尙ホ具體
的ニ伺ヒタイ點ガアリマスガ、ソレハ又ソ

レゾレノ委員會ニ譲リマシテ、唯岡田總理
大臣ハ、根本對策ハ必要ダト思フ、斯ウ云
フ御答デアリマシタガ、私ノ申上ゲタ根本
對策ニ御同意デアルト承知シテ宜イカドウ
カ、ソレカラ後藤內務大臣ガ土木ノ補償ハ
地方ノ慣習ニ依ル、斯ウ云フヤウニ御答ニ
ナリマシタガ、例ヘバ私ノ申上ゲマシタ大
阪府ノ如キハ殆ド其慣習ニナルノデアリ
マス、ダカラ之ヲ大阪府ニ於テ慣習ニ認
メテ宜イカドウカ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ
宜シウゴザイマスカ

（國務大臣岡田啓介君登壇）

○國務大臣（岡田啓介君） 農村ノ健全ナル
發達ハ、最モ必要デアルト考ヘマスノデ、
根本對策ヲ樹ツルコトハ全然同意デアリマ
ス

（國務大臣後藤文夫君登壇）

○國務大臣（後藤文夫君） 大阪府下ノ工事
ニ付テノ今ノ御尋ハ、是ハ實際ヲ能ク調査
シタル上デ適當ニ計ヒタイト考ヘテ居リマ
ス

○議長（秋田清君） 國務大臣ノ演說ニ對ス
ル質疑ハ之ヲ以テ終局致シマシタ——是ヨ
リ日程ニ入リマス、日程第一、風水害ニ因
ル被害者ニ對スル租稅ノ減免猶豫等ニ關ス
ル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——大藏大
臣高橋是清君

第一 風水害ニ因ル被害者ニ對スル租
稅ノ減免猶豫等ニ關スル法律案（政
府提出） 第一讀會
風水害ニ因ル被害者ニ對スル租稅ノ減
免猶豫等ニ關スル法律案
第一條 政府ハ風水害（昭和九年七月十
一日及九月二十一日ノ風水害以下同

ジニ因ル被害者ノ納付スベキ昭和九年分ノ第三種所得税及個人ノ營業收益税ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得

第二條 政府ハ風水害ニ因ル被害者ノ納付スベキ昭和九年分ノ第三種所得税又ハ個人ノ營業收益税ニ付所得税法第六十五條又ハ營業收益税法第二十條ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ課税標準ノ更訂ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三條 政府ハ風水害ニ因ル被害者ノ納付スベキ昭和十年分ノ第三種所得税及個人ノ營業收益税ニ限リ課税標準ノ決定ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四條 政府ハ第一條ノ規定ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租税ニ付其ノ處分ノ確定スルニ至ル迄税金ノ徴收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條 第一條ノ規定ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租税ハ法令上ノ納税資格要件ニ關シテハ輕減又ハ免除セラレザルモノト看做ス

前項ノ規定ハ府縣稅ニシテ風水害ニ因リ輕減又ハ免除セラルルモノニ付之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 茲ニ議題トナリ

マシタ風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案ノ説明ヲ致シマス、過般ノ北陸地方及關西地方等ニ於ケル風水害ハ近年稀ニ見ル災害デアリマシ

テ、被害區域モ廣イ範圍ニ互リマシテ、且ツ被害ノ程度モ甚大ナルモノガアッタノデアリマスガ、是等罹災地方ニ於ケル被害者ニ對シテハ洵ニ同情ニ堪ヘナイ次第デアリマス、右風水害ノ被害者中ニハ、住宅家財其他營業用ノ家屋、機械器具商品等ヲ流失又ハ破壊セラレテ、著シク擔稅力ヲ減殺セラレタルモノガ少クナイノデアリマス、是等被害者ニ對シマスル租税ノ徴收ニ付キマシテハ、現行法ノ運用ノ許ス範圍ニ於テ出來得ル限リノ處置ヲ講ジ、遺憾ナキヲ期シテ居ルノデアリマスガ、現行法規ヲ適用スルノミデハ未ダ十分ニ救済ノ方モアリマスノデ、茲ニ先例ニ則リマシテ別途ニ租税ノ減免、徴收ノ猶豫等ノ途ヲ開クノ必要アリト認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ニ對スル質疑ヲ許シマス——岩本武助君

(岩本武助君登壇)

○岩本武助君 昨ハ只今議題トナリマシタ風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案ニ付キマシテ、質疑ヲ試ミタイト思フモノデアリマス、風水害ニ因リマスル被害者ニ租税ヲ輕クシタリ、或ハ全然之ヲ免除スル、或ハ納付ヲ猶豫スルト云フヤウナコトニ關スル此法律案ニ對シマシテハ、大體ニ於テ私ハ贊成ヲ致スノデアリマスガ、申スマデモナク此法案ハ第一一條カラ第五條ノ頗ル簡單ナモノデアリマシテ、而モ此眼目ハ今回ノ風水害ニ因ル罹災者ノ營業收益税ト第三種所得税ヲ免除ス

ル、斯ウ云フコトデアアルノデアリマス、斯様ナ風ニ頗ル簡單明瞭ナ法案デアアル筈デアアルニモ拘リマセズ、其内容ヲ點檢致シテ見マスルト、此際是非大藏大臣ニ質シテ置カナケレバナラスコトガアルノデアリマス

先ヅ第一ニ此法案ハ、單ニ風害ト水害ニ因ツテ生ジタル被害者ニ恩典ヲ蒙ラシメルト云フ法案デアリマスルガ、茲デ私ハ御尋シナケレバナラス、然ラバ何故風害及水害ノ外ノ所謂冷害、旱害ト云フヤウナモノニ對シテ之ヲ適用シナイカ、最近ニ至ツテハ藤井前大藏大臣ガ最モ不用意ナル増税ノ發表ニ依ツテ、我が諸界ノ大慘落ヲ來シテ、莫大ノ損害ヲ加ヘタト云フ所謂舌害サヘアル、併シ私ハモウ此去ツテシマツタ大藏大臣ノ舌害ハ追窮致シマセス、併ナガラ冷害旱害ニ付テハ政府ハドウ御考ニナツテ居ラレルカ、先ヅ之ヲ承リタイ

第二ノ問題ハ、第三種所得税デアアルノデアリマス、御承知ノ如ク第三種所得税ハ所得税法ノ第十四條ニ明記致シテアリマスル通り、營業ニ非サル貸金ノ利子並ニ第二種ノ所得ニ屬セサル公債及預金ノ利子ハ前年度ノ收入金額、山林所得、法人ヨリ受クル利益又ハ利息ノ配當、俸給、給料、歳費、年金、恩給、退職料及賞與、斯様ナモノガ第三種所得税ニナツテ居ルノデアリマス、一見致シマスルナラバ、全部第三種所得ガ今回ノ此法案ニ該當スルヤウニ見エルノデアリマスルガ、本法ノ第二條ヲ讀ンデ見マスルト、此中ノ山林所得ダケハ除外サレテ居ルコトヲ發見スルノデアリマス、私ハ今回ノ如キ大天災ニ罹ツテ居リマスル被害者ニ對シテハ、此救済ハ最モ全般的デナケレバナラス、又最モ公平デナケレバナラスト思ッ

テ居ルノデアリマス(拍手「ヒヤ」)私ハ此法案ヲ探究致シマシテ、此申上ゲマシタ意味ニ於キマシテ、政府ノ不親切、無責任、其場通レニ汲々トシテ居ルコトヲ悲ム者デゴザイマス(拍手)申上ゲルマデモナク今回ノ大風水害ニ見舞ハレマシタ山林ハ、其區域ハ非常ニ廣大ニ互ツテ居ルノデアリマス、之ヲ府縣ニ就テ申上ゲテ見マスルナラバ、和歌山縣、三重縣、奈良縣、高知縣、德島縣、兵庫縣、滋賀縣、京都府ノ一府七縣ニ互リ、就中奈良縣、和歌山縣、三重縣ノ如キハ我國ノ代表的森林ヲ包容致シテ居ルノデアリマス、而シテ此山林ノ被害ト申シマスルモノハ、眞ニ一朝一夕ニハ調査ヲ致シテ其損害額ヲ正確ニ計上致スト云フコトハ、ムツカシイモノデアリマスケレドモ、今回ノ如ク唯目前ノ例ヘバ折レタリ或ハ倒レタリシタ此木材ニ對スル損害ダケデモ、相當ニ莫大デアリマシタコト(當局モ御認メノコト、思フノデアリマス(拍手)而シテ今回ノ議會ハ特ニ各地ヲ見舞ツタ大天災ノ後始末ノ臨時議會デアリマスルカラシテ、各方面ノ罹災地ノ國民ハ、此議會ノ政府ハ勿論議員ノ一言半句モ聽キ漏ラサバコトニ、或ハ「ラヂオ」ヲ利用シ、或ハ新聞ヲ利用シテ努力致シテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ政府ハ私ノ質問ニ對シテ、何故ニ山林所得ノ減免ヲ除外シタルカ、ハッキリ御答辯下サイマシテ、此議場ヲ通ジテ國民ニ知ラシメタイト思フノデアリマス(拍手)私ノ承知致シテ居リマス所ニ依リマスレバ、大藏大臣、農林大臣ハ過般全國聯合山林會ノ會頭デアリマスル小畑男爵カラ、斯ノ如キ建議ヲ受取ツテ居ラレル筈デアリマス、即チ「農山漁村特ニ山村ノ疲弊ニ徹セルハ朝野ノ等シク認ムル所ニ

テ、被害區域モ廣イ範圍ニ互リマシテ、且ツ被害ノ程度モ甚大ナルモノガアッタノデアリマスガ、是等罹災地方ニ於ケル被害者ニ對シテハ洵ニ同情ニ堪ヘナイ次第デアリマス、右風水害ノ被害者中ニハ、住宅家財其他營業用ノ家屋、機械器具商品等ヲ流失又ハ破壊セラレテ、著シク擔稅力ヲ減殺セラレタルモノガ少クナイノデアリマス、是等被害者ニ對シマスル租税ノ徴收ニ付キマシテハ、現行法ノ運用ノ許ス範圍ニ於テ出來得ル限リノ處置ヲ講ジ、遺憾ナキヲ期シテ居ルノデアリマスガ、現行法規ヲ適用スルノミデハ未ダ十分ニ救済ノ方モアリマスノデ、茲ニ先例ニ則リマシテ別途ニ租税ノ減免、徴收ノ猶豫等ノ途ヲ開クノ必要アリト認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

シテ政府ハ農林省ニ經濟更生部ヲ特設シテ之等ノ經濟更生ニ銳意努ムルモ山村唯一ノ産業タル林業ニ於テハ十數年ノ永キニ互立木價格ノ慘落ノ影響ヲ蒙リ爲メニ之レガ更生ノ曙光ダニ認メ得ザル現狀ニアリ然ルニ今次未曾有ノ颶風ノ襲來ニ依リ長年保護撫育セル森林モ林木ノ轉倒根倒挫折或ハ全林分ノ破壊等ノ爲メ其ノ森林ノ價值ヲ減殺シ甚シキハ之レガ利用價值ヲ失ヒタルモノスラ渺カラザル現狀ナリ之等ノ災害ヲ蒙レル林地ハ普通山林ノ伐採ニ比シ殘地林木ノ價值ヲ著減スルノミナラズ同一面積ニ對スル材積ハ著シク減少スルハ勿論其ノ收入ハ普通山林ニ比シテ多大ノ減少ヲ來シ二分ノ一乃至三分ノ一ニ達セザルモノ多シ仍テ今次ノ災害ニ因ル山林ノ伐採所得ノ稅ノ査定ニ際シテハ其實情ヲ參酌シ山林所得ニ對スル控除率ハ普通山林伐採ノ場合ニ於ケル控除率ヨリ著シク増大セラル、ハ勿論其ノ被害ノ程度甚シキモノニ對シテハ農耕地ニ於ケル地租免除、附加稅ノ還付等ノ例ニ準シ所得ナキモノトシテ山林所得ヲ免除セラレムコトヲ望ム」斯様ナ建議ヲ兩大臣ガ受取テ居ル筈デアリマス、デアリマスルカラ、私ハ此際農林當局ニ御伺致シタイ(農林大臣ハ居ラヌ)「待テタタ」ト呼フ者アリ私ハ農林大臣ノ出席ヲ求メテ居リマスガ、今ニ出席致シマセヌ、丁度政務次官ガ見エテ居リマスカラ質問ヲ進メマス、今回ノ此法律案ハ當然閣議決定致シタモノデアリマス、故ニ此閣議決定ノ際ハ農林大臣ハ此案ニ署名シタニ違ヒハナイ、デアリマスルカラ今回ノ此案ノ中カラ山林所得ガ除外サレテ居ルト云フコトハ、當然承知シテ居ラレナケレバナラス、サウ論ジマスルナラ

バ、何故農林大臣ハ斯様ナ偏頗ナ取扱ノ法律案ニ同意ヲナスツカ、或ハ他ニ何カ此山林被害ニ對シテハ救済ノ御考ガアルノデアリマセウカ、農林大臣デアアル以上ハ農業大臣デハナイ、矢張り林業ノコトモ考ヘナケレバナラス、私ハ此意味ニ於テ農林大臣ノ責任ヲ問ヒタイト思フノデアリマス、何卒大藏大臣同様ハツキリトシテ御答辯ヲ承リタイノデアリマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 御答ヲ致シマス、只今ノ御質疑ハ、無論山林ノ所得納稅者ト雖モ、風水害ノ爲ニ住宅や家財ヲ喪ツタ者ハ、矢張り相當只今提出シタ法律ニ依ツテ救ハレル譯デアリマスガ、御質疑ノ要旨ハ、山林ノ立木ガ風水害ニ因ツテ損害ヲ蒙ツタ、其點ニ付テノ御尋ダツト考ヘマス、此山林ノ所得稅ハ、本年ノハ昨年ノ調ニ依ツテ課稅サレ、デ今回此風水害ノ爲ニ損失ヲ被リマシタ其損害ニ付キマシテハ、將來山林所得ノ算定スル上ニ於テ、其損害額ハ控除サル、コトニナルノデアリマス、ソレニ本案所得稅ヲ減免スルコト云フ必要ハ先ヅナイ、尙ホ被害山林ヨリ生ズル所得ニ對シテ所得稅ヲ賦課スル場合ニ於キマシテハ、能ク其實情ヲ調査致シマシテ、成ベク出來ルダケ無理ノナイヤウニ取扱ヲ致ス見込デアリマス、尙ホ詳細ノコトハ委員會ニ於テ盡ササル所ガデアリマシタラ御答致シタイト考ヘマス

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 私チヨット席ヲ外シテ居リマシテ甚ダ御無禮デゴザイマシタ、岩本君ノ御質問ノ件ヲ只今傳ヘ聞キマシタ、若シ間違デアリマシタナラバ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、丁度此法律ノ

第一條ト第三條ニ、第一條ニハ「命令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマス、第三條ニ「命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得」ト、命令ニ委任スル規定ガゴザイマスノデ、命令ヲ定メマスル場合ニ、山林所得ノコトニ付テハ十分考慮ヲ致スヤウニ、只今農林省ト大藏省ト事務當局ノ間デ協議ヲ進メテ居ル譯デアリマス、多分御希望ニ副ヒ得ルカト考ヘテ居リマス

○岩本武助君 簡單デアリマスカラ此席カラ……

○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○岩本武助君 只今兩大臣ノ御答辯ハ、私ノ質問ニ對シテハ十分ノ一ヲモ盡シテ居リマセヌ、併シ是以上ハ委員會ニ於テ質サウト思ヒマス

○議長(秋田清君) 畑桃作君

(畑桃作君登壇)

○畑桃作君 私ハ此租稅ノ減免猶豫ノ法律案トカ、其他今議會ニ提出セラレマシタル豫算案及各種法律案ヲ見マスルノニ、窮乏養蠶地ナルモノガ洵ニ冷遇ヲサレテ居ルト云フコトヲ見マシテ、遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス(ヒヤノ)「元々此臨時議會ハ開會ノ動機ト致シマシテハ、我黨ノ鈴木總裁ヨリ、絲價ノ低落ニ因ツテ殆ド全滅ノ悲境ニアル五百萬養蠶家ヲ救済スルコト、又之ニ關聯セル農村ヲ中心ト致シマシタル米穀ノ調節ヲ圖ルコト、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテ、至急ニ臨時議會ヲ開クベシト云フコトヲ、我黨總裁カラ政府ニ要求サレタノデアリマス、所ガ偶、不幸ナル關西ノ水害ガアリマシテ、之ニ拍車ヲ掛ケラレテ決定シタヤウナ譯デアリマスガ、出來タ所ノ此豫算及法律案ヲ見マス、一番

大事ノ動機ノ根本デアリマス所ノ窮乏養蠶地ノ救済ト云フコトガ殆ドナイノデアリマス、斯ウ云フ風ニ大事ナ點ヲ脫落シテ居ルト云フコトハ、私ハ遺憾デアリマスカラシテ、之ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲテ、政府ノ所信ヲ御尋シタイノデアリマス、即チ窮乏養蠶地トシテ、災害土木費及國庫補助ヲ初メト致シマシテ、洵ニ冷遇ヲサレテ居リマス所ノモノ、即チ災害地ト認メラレザル所ノ地方、此地方ハ群馬縣ヲ初メト致シマシテ、愛知、茨城、栃木、千葉、埼玉其他數縣アルノデアリマス、所ガ政府ノ頭ハドウ云フモノカ、此窮乏養蠶地トシテ同ジ情況ニアリマスル長野縣、山梨縣ハ災害地ト認メタノデアリマス、洵ニ是ハ結構ナコトデアリマス、此結構ナ仲間ヘ何故ニ群馬縣外數縣ヲ入レナイノデアリマスカ(ヒヤヒヤ)「拍手」橋梁ハ落ち、小學校ガ潰レナケレバ政府ハ災害地ト認メナイノデアリマスカ、此點ヲ御聽キシタイ、即チ一例ヲ群馬縣ニ取ツテ見マシテモ、此養蠶地帯ニ於テハ先年來ノ絲價低落ニ因リテ殆ド養蠶家ハ全滅ノ狀態デアル、所ヘ持つテ來テ、去ル風水害ハ小學校ハ潰サナイケレドモ、非常ニ桑園ヲ揉ンダノデアリマス、ソレガ爲ニ桑葉ノ收穫量ガ殆ド半減シテシマツタ、サウシテ其氣候ガ不順ノ爲ニ養蠶ガ外レタノデアリマス、ソレデ群馬縣ニ於キマシテモ今年度ノ養蠶ノ減收ト云フモノハ、例年ニ較ベテ六割減ツテ居ル、金ニシテ二千萬圓デアリマス、二千萬圓減ツテ居ル、又米ハドウデアラカト申シマスルナラバ、特ニ東北地方ノヤウニ、國論ガ沸騰シテ同情ヲ寄セテ居リマセヌケレドモ、最近群馬縣下ニ於キマシテモ——私ハ例ヲ群馬縣ニ取リマスカラ、

其點ヲ御諒解願ヒタイト思ヒマスガ、最近刈入レテ致シマシテ、之ヲ收穫シテ見マシタ所ガ、群馬縣ノ米作ハ平年ニ比シテ二割五分減シテ居リマス、サウナルト是ハ大問題デアアル、即チ秋田縣ガ今凶作地トシテ天下ノ同情ヲ呼ンデ居リマスアレドモ、此秋田縣ハ二割六分ノ減收デアリマス、新潟ハ二割三分ダラウト言ハレテ居リマス、ダガ群馬縣ハ二割五分減シテ居ル、斯ウ云フ風ナ情況デアッテ、而モ群馬縣ノ如キハ年々五十万石ノ米ヲ縣外カラ買ハナケレバ食ッテ行ケナイ、養蠶ノ收入ハ無クナリ、米ハ五分作デアリ、而モ此高イ米ヲ買ハナケレバナラヌガ金ハナイ、即チ窮乏養蠶地ノ農民、特ニ山間部ノ農民ト云フモノハ、殆ド此幕ヲ越ス爲ニ、如何ニシテ飯米ヲ手ニ入レルカト云フコトニ付テ、日夜焦慮ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス、斯ノ如キ狀態ハ實ニ災害地ヨリ優ルトモ劣ラナイノデアリマス、ソレニモ拘ラズ此租税ノ減免猶豫ノ法律案ニ致シマシテモ、政府所有米ノ臨時交付ノ法律案ニ致シマシテモ、亦災害救農土木事業ニ致シマシテモ、此窮乏養蠶地ヲ度外視シテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ政府ノ認識ノ足ラザル所ト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ困窮シテ居リマス此窮乏養蠶地デハ、今ヤ租税ヲ納メル必要ニ迫ラレマシテモ、金ガアリマセヌ、米ヲ買フ金モナイ、勿論小作金ヤ借金ノ利息ヲ拂フト云フコトハ出来マセヌ、而モ前途ハドウデアアルカト云ヘバ、政府ノ根本對策ハ樹タナイト云フコトニナリマス、全ク前途ハ暗黒デアリマス(拍手)

若シ斯ウ云フ風ナ狀態ヲ、大藏大臣ガ金融資本家ノ番犬ノヤウナ財政策ヲ持續シテ、斯ウ云フ風ニ農民ガ拾テラレテ居ル狀

態ガ持續スルナラバ、又農林大臣ガ腰ガ弱クテ、所謂金融資本家本位ノ健全財政ニ引摺ラレマシテ、此農民大衆ヲ救済スル所ノ對策ガ出来ナカタナラバ、他日政府頼ルニ足ラズト致シマシテ、不幸ニシテ第二第三ノ國定忠治ガ出マシタラドウシマスカ(拍手)實ニ私ハ之ヲ憂フルカラ申上ゲル、既ニ我ガ群馬縣カラハ第一陣トシテ井上日召君ガ出テ居ル(第二陣ハ畑桃作君)ト呼フ者アリ)斯ウ云フ風ニ人民ガ直接行動ニ出ルト云フコトハ、政治ノ失敗デアリマス(「ヒヤ／＼」)戰爭ハ外交ノ破産デアリ、直接行動ハ政治ノ失敗デアルト謂フ(拍手)此言ヲ吾々ハ今更考ヘナケレバナリマセヌ、サウ致シマス、農林大臣ハ桑園改良費、混作獎勵費ヲ群馬縣ノ方ヘ廻サヤウニナツテ居ル、ソレハ養蠶地方ノ縣ヘ廻サヤウニナツテ居ルト申シマスアレドモ、之ヲ群馬縣一例ニ取ツテ見マスナラバ、幾ラ來ルカ、即チ今年度ノ割當ノ豫想サレテ居ル所ノモノハ、桑園改良費ガ二十五萬圓、混作獎勵費ガ三萬五千圓、三十萬足ラズデアリマス、是デハ九牛ノ一毛ニ足ラナイ、三十萬戸ノ農民ニ對シテ是程大膽ギヲシテ、政府ガ養蠶地其他ノ對策ト云フノデ數百萬圓計上シテ居リマスアレドモ、其割分ガ三十萬ノ養蠶戸數ニ對シマシテ三十萬圓、一戸當リ一圓ト云フ所ノオ情ケ金デアル(拍手)是デドウシテ立ッテ行ケマセウカ、而モ此蠶ダケデ、本年ノ損害ハ二千萬圓ヲ超エテ居ル、之ヲハッキリト農林大臣ハ頭ニ入レテ貰ヒタイノデアリマス

此間ノ風水害ハ、群馬縣ヲ初メ數縣ハ世間カラ認メラレナイ、認メラレナイカラ、先ヅ災害地トシテ政府モ認メラレナカッタノデアラウケレドモ、ソレハ從來是等ノ關東人ト云フモノハ、貧窮ニ對シテハ頑張りガ強イノデ、中々弱音ヲ吐カヌカラシテ、政府ノ連中ニハ分ラナイ、實ニ此風害冷害旱害ノ爲ニ米作ガ五分作ト云フヤウナコトガ、今日ノ實際デアアルコトヲ見マシテ、私ハ餘程政府ガ頭ヲ變ヘテ、是カラ此議會ヲ通過シタ所ノ豫算ヲ割當テルニ致シマシテモ、成ベク遺漏ツテ、ソチヲ方ニ廻ハサヤウニシナケレバナラヌシ、又足リナケレバ追加豫算ヲ出シテ、之ヲ決済スルト云フ所ノ建前ノ下ニ、適當ナル何等カノ方法ヲ政府ハ實行シナケレバナラナイト思フノデアリマス、之ニ對スル所見ヲ御聽キシタイ

更ニ、大藏大臣ガ逃ゲマシタケレドモ、私ハ此帝國議會ニ訴ヘテ、政府ノ反省考慮ヲ促サントスル所ノモノガアルノデアリマス、ソレハ即チ負債整理ノ問題デアル、此窮乏養蠶地ノ農民ノ負債ト云フモノハ、大正八九年當時ノ好景氣時代ノ負債ヲ、借替ヘ借替ヘ、其度毎ニ利息ガ溜リマシテ今日ニ及ンデ居ル、ソレデ世ノ中ニハ低金利低金利ト云フ、低金利ト云フ空氣バカリガ吹イテ居ル、サウシテ此窮乏養蠶地ノ人民ト云フモノハ、安イ金ハ借リラレナイ、ソレヲ借リルニハ擔保ガ要ル、擔保ヲ提供スル爲ニハ、好況時代ノ元利——元金利息ガドン／＼重ツテ來テ居リマスカラシテ足りナイ、ソコデ低金利ト云フ此時代ニ、安イ金ガ借リラレナイノデアリマス、コンナ低金利時代ガ何處ニアル、農民大衆ニ關係ノナイ低金利ガ何ノ役ニ立ツカ、ソレデ此負債ヲ整理スル爲ニ、先ヅ農林大臣ハ事農村ニ關スルノダカラ、極力獻策ヲシテ、此頑迷ナル大藏大臣ノ頭ヲ改革スベク努メテ貰

ヒタイト思フ(拍手)ソレデ此高橋大藏大臣ニシテモ、藤井前藏相ニシテモ、健全財政、健全財政ト云フコトヲ言ッテ居ル、所ガ彼等ノ謂フ所ノ健全財政ト云フモノハ何デアアルカト云ヘバ、詰リ金貸ヲ本位トシタ所ノ健全財政デアル、一般消費者ヤ生産者ト云フモノニハ、寧ロ隱忍ト多大ノ犧牲ヲ拂ハセラル所ノ財政ナノデアリマス、詰リ金融資本家ノ番犬デアル、彼等ハソレデケチ／＼ヤツテ居リマシテ(笑聲)此躍進途上ニ在ル膨脹日本ノ此活動力トカ、生産力ト云フモノヲ殆ド無視シテ居ル、コンナ金融資本家本位ノ健全財政ト云フヤウナ建前デハ、此膨脹日本ニハモウ當嵌ライノデアリマス、コンナコトヲシテ居ッテハ、非常時デ是カラ幾ラ金ガ掛ルカ分ラヌ、サウ云フ場合ニ賄ヘルモノデハナイ、是ガ高橋大藏大臣ニ此間銀行屋ノ番頭ト云フ尊號ヲ與ヘタ所以デアリマス(笑聲)斯ウ云フ者ヲ財界ノ救世主ノ如ク一部ノ者ガ崇メ奉ッテ居ル、其頭ガドウカシテ居ル、恐ラクサウ云フ連中ハ、金融資本家ノ狗カ、ソレトモソレト脈絡ノアル「インテリ」連中デアルト思フ、此中階級以下ノ大衆ハ、仕事ヲシタクモ資金ガナクテ困ッテ居ル、借金ニハ苦メラレテ居ル、銀行ノ請求ハ激シイ、而モ自分等ノ生産シテ賣ルモノハ安イ、掛リハスル、斯ウ云フヤウナ此窮乏ノ大衆ト云フモノハ、通貨ノ十分ナ流通ヲ要望シテ居ルノデアリマス、殊ニ此負債ノ整理ト關係ノアルコトハ、詰リ此通貨ノ流通ヲ十分滑カニ致シマシテ、貨幣價值ノ下落ヲ圖ル所ノ政策ヲ執ルナラバ、此農村ノ六十五億ノ借金ト云フモノハ、貨幣價值ガ下落致シマスカラ輕クナル、サウ云フ風ニシテ重荷ヲ輕クシテ、之ヲ決済

セシメルト云フヤウナ方法ニ落著カセルノモ、私ハ一ツノ方法ト思フ、出來ルコトナラバ「モラトリアム」ガ一番宜イ、サウ云フ風ニ考ヘマスト云フト、ドウシテモ此高橋財政トカ、或ハ健全藤井財政ト云フヤウナ美名ノ下ニ、世ノ中ヲ胡麻化シテ居ルトシカ考ヘラレナイ、ソレデ世人ガ知ラズ識ラズソレニ釣ラレテ居ル、サウシテ遂ニ金融資本家ノ走狗ニ知ラズ識ラズナッテ居ルト云フコトハ、私ハ洵ニ殘念デアルト思フ、デアリマスカラ農林大臣ハ能ク此事ヲ御考ヘニナリマシテ、此建前ノ下ニ農村ノ借金ヲ整理スル所ノ根本策ヲ、一ツ樹テ、貰ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ此窮乏養蠶地ノ、殊ニ山間部ガ飯米不足ノ爲ニ窮乏シテ居ルト云フコトハ、是非非常ナモノデアリマシテ、此暮ヲ越セルカドウカ、此儘デハ迎モ私ハ越セナイト思ヒマスカラ、此方面ニモ一ツ本法律案ニ示サレテ居ル所ノモノヲ適用致シマシテ、無償デ至急ニ交付スルト云フ御考ガアルカナイカ、之ヲ聽キタイ、以上質問致シマシテ終リマス(拍手)

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 畑君ノ御問ノ第一點ハ、實ハ大藏省カラ御答申上ゲルベキ筋合ト思ヒマスケレドモ、便宜私カラ御答申上ゲマス、畑君ノ御質問ノ御趣意ハ一應御尤ニ考ヘマス、唯々大藏省ニ於テ、今回ノ法律案ヲ起案致シマシ場合ニ、色々意見ハアリマシタガ、何分ニモ風水害ニ因ル災害地方ハ、唯收益ヲ失ッタル云フバカリデナシ、生産要件マデ破壊サレタ、随テ特別ノ計ヒヲセネバナルマイ、收益ノ減少ニ因ル損害ハ、是ハ豫算其他ニ依ル匡救

事業ニ依ッテ救済ヲスル外アルマイ、斯ウ云フコトカラ只今提案ニナクヤウナ法律ノ建前ト相成ッテ譯デアリマスカラ、趣意ダケヲ一應申上ゲテ置キマス

ソレカラ群馬縣ニ對スル配當ノ御話ガアリマシタガ、此配當ノコトハ内務、農林ガ十分ノ連絡ヲ執リマシテ、サウシテ全國各縣ニ互ッテ成ベク不公平ノ生ジナイヨウニ、慎重ニ取調ヲ致シテ決定ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、何分ニモ豫算編成其他ニ、殆ド夜ニ日ヲ繼イデヤッテ居ルヤウナコトデアリマスケレドモ、中々涉々シク參リマセヌデ、マダ各府縣ノ配當額ヲ決定スル迄ニ至ッテ居ラスノデアリマスノデ、或ハ畑君ノ群馬縣ニ幾ラトカ云フ御話ハ、何カノ御間達デヤナイカト思ヒマス、假リニ私が頭ノ中デ目ノ子デ考ヘマシテモ、ソナナコトハナイト考ヘマス

ソレカラ第三ノ負債整理ノコトデアリマスガ、此點ハ畑君ノ御意見ノ通り、農村ニ取リマシテハ、洵ニ重大ナ根本ニ觸レタ制度デアリマス、此法律案ノ成立致シマシタ當時カラノコトハ、畑君御承知ノ通りデアリマシテ、私共モ是ハ何トカ一ツ物ニシタイト、實ハ最初カラサウ考ヘテ居ッタル譯デアリマシテ、大藏省トモ十分協議ヲ致シテ居リマスガ、何分ニモ昨年初メテアノ制度ガ出來マシテ、マダ地方デ、十分此制度ノ運用其他ガ習熟サレテ居ラス關係モアリマセウガ、今日マデノ成績ハ露骨ニ申セバ涉々シク行ッテ居リマセヌ、折角制度ガ出來タコトデアリマスシ、農村ニ取ッテハ大事ノコトデアリマスカラ、私共モ此爲ニハ何トカ一ツ盡力シタイト考ヘテ居ル譯デアリマスソレカラ最後ニ山間地方ニ付テ、米ノ問

題ノ御話ガアリマシタガ、アノ法律案ガ上程サレタ場合デ或ハ宜イカモ知レマセヌケレドモ、山間地方デモ、アノ法律案ノ要件ニ叶ヒマス所ハ、當然法律ノ適用ヲ受ケル譯デアリマスシ、假リニアノ要件ニ適合シナイ地方ニ對シマシテモ、先刻杉山君ノ御質問ニ御答致シマシタヤウニ、私共ノ方デハ米ノ配給ニ付テハ、法律規則ノ許ス範圍ニ於テ出來ルダケ便宜ノ手段ヲ講ジテ居ル譯デアリマス、群馬縣等ニ對シマシテモ、相當ノ手配ハ致シタコト、信ジテ居リマス、尙ホ御希望ハ能ク伺ッテ置キマス

○畑桃作君 簡單デスカラ此席カラ——今ノ大臣ノ答辯ハ拔ケテ居リマス、詰リ例ヲ群馬縣ニ取ッテノデスガ、此臨時議會デ、災害地ト認メナイ群馬縣外數縣ノヤウナ縣ニ對シテ、租税ノ減免猶豫ノ法律ヲ適用スルカドウカ、之ヲ一ツ聽キタイ、ソレカラ負債整理ノ問題デアリマスガ、ソレハ千圓以下ラドウスルト云フヤウナ小サナ問題デハナイ、政友會ガ低金利ヲ叫ンダト云フコトハ、低金利ニ依ッテ公債ノ低利借替ヲ行ッテ、國民ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトハ、ソレカラ高イ利息デ好景氣時代カラノ借金ニ苦ンデ居ル此農民ニ低利借替ヲサセル、安イ利息デ借替サセテ負擔ヲ輕クシテヤルト云フヤウナ——少ナクモ政友會ノ黨員デアリマス私ハ、ソレヲ期待シテ低金利ヲ叫ンダノデアリマスルカラシテ、其點ニ對シテ一ツ極力農林大臣トシテモ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ飯米ノ交付ノ問題デアリマスガ、今ノ農林大臣ノ答辯ニ依リマス、サウ云フヤウナ縣ニ適用スルト云フガ、ソレデハ災害地トシテ群馬縣外數縣ノ山間部ノ、飯米不足ノ地

方ヲ認メテ適用シテ戴ケルノデアリマスカ、ソレトモ災害地トシテ認メナクテモ本法ヲ適用シテ、飯米ヲ交付スル御意思デアリマスカ

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 只今上程サレテ居リマス法律案ニ於テ、風水害地方ダケヲ租税ノ減免ヲ行フ、斯ウナッタノヘドウ云フ理由デアアルカト云フト、先刻申上ゲマシタヤウニ、他ノ災難ヲ受ケタ地方ト違ヒマシテ、風水害ニ因ル災害地ハ、唯收益ヲ取ラレタバカリデナク、更ニ生産ノ要件マデモ破壊サレタノデアアルカラ、是ハ他ノ地方ヨリモ或ル意味ニ於テハ損害ガ一段酷イ、ソコデ租税ノ減免ハ、風水害ノ地方ニ限ラウト云フノガ此法律ノ精神デアリマス、其當否ニ付テノ御議論ハ、是ハ別デアリマスカ、サウ云フヤウナ趣旨カラ、只今上程サレタ法律案ガ出來上ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、ソレカラ次ニ日程ニ載ッテ居リマスル政府所有米穀ノ交付ニ關スル法律案ノ適用範圍ハ、是ハ別ニ地域ハ限ッテ居リマセヌ、併ナガラ一ツノ條件ガアリマシテ、冬ノ間ニ匡救土木事業ノ施行ノ困難ナヤウナ所デ、サウシテ大體米作ガ半作以下位ノ收入シカナイ、斯ウ云フヤウナ所ニ限ッタルデアリマスノデ、ドノ縣ハ入レルトカ、ドノ縣ハ入レナイトカ云フヤウナ、サウ云フヤウナコトデ判斷ハ付キ兼ネルノデアリマス、アノ法律案ノ條件ニ適ヘバ、必ズシモ東北六縣ノミニ限定スル意味デハナイ譯デアリマス、ソレカラ負債整理ニ關聯シテ、畑君ノ御意見ノ在ル所ハ、十分拜聽致シテ置キマス

○議長(秋田清君) 栗原彦三郎君

〔栗原彦三郎君登壇〕

○栗原彦三郎君 諸君、私ハ只今日程ニ上ツテ居リマスル日程第一、風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案ニ付テ、簡單ニ大藏當局ニ御伺ヲ致シタ
イト存ジタノデアリマスルガ、大藏大臣ハ豫算委員會ニ御出席ニナツテ、大藏次官ガ御出デニナルト云フコトデアリマスルガ、此農村ノ窮乏者ニ對スルコト云フヤウナ、斯ウ云ツタ所謂無產階級以下ニ對スル本當ノ親切同情ヲ有タナケレバナライ、此問題ニ付テ、失禮ナガラ特權階級ニ御生レニナツテ、溫室デ御育チニナツタ方カラノ御答辯デハ、或ハ「ピント」ガ合ハナイカト存ジマスルガ故ニ、本案ハ農村ニ關スル事極メテ重大ナモノガアリマスルカラ、國務大臣トシテ、農林大臣ニ御答辯ヲ願フコトニ致シタ
イト存ジマス、政府ガ今回臨時議會ニ御提出ニナリマシタ災害對策ヲ檢討致シテ見マスト、災害追加豫算ニ關スルモノ、低利資金ノ融通ニヨルモノト、租税ノ減免ニ依ルモノ、米穀ノ交付及ビ貸與ニ依ル、此四點ニ過ギナイノデアリマスガ、災害追加豫算竝ニ低利資金ニ依ルモノハ、大體ニ於テ道路橋梁、其他地方ノ土木費トナルモノデアリマシテ、個人ノ收入減ニ對スル救済對策トシテハ、本案ト米穀五十万石ヲ交付若クハ貸與スルト云フ二ツノ案ニ過ギナイノデアリマス、洵ニ不徹底貧弱極マルモノデアリマシテ、纔ニヤライナイヨリハ少シマシダト、コンナ程度ノモノニ過ギナイノデアリマスガ、其不徹底貧弱極マル此四ツノ對策ガ、其内容ヲ檢討スルト、所謂官僚主義ノ御義理一通リノヤリ方デ作成セラレタモノデアリマシテ、少モシ其間ニ親切同情ト

云フモノヲ發見スルコトノ出來ナイノハ、甚ダ遺憾トスルノデアリマス（拍手）ソコデ私ハ御尋致スノデアリマス、本案ノ減免租ノ地域的範圍ヲ關西ノ風害地ト、北陸ノ水害地ニノミ限ツタノハ一體ドウ云フ譯ダト云フ、只今同僚若本君カラノ御尋ガアツタニ對シマシテ、大藏大臣ハ殆ド答辯ラシイ答辯ヲシナカッタ、是ハ重大ナ事柄デアリマシテ、關西ニ於ケル風水害竝ニ北陸ニ於ケル水害モ、洵ニ被害ノ甚大ナルモノガアリマシテ、殊ニ關西地方ノ如キハ、日本ノ經濟上ノ心臟トモ稱スベキ地域デアリマスルガ故ニ、其復舊ノ速カラシコトヲ念願スル上ニ於テ、吾々モ切ニ之ヲ願フノデアリマスルガ、此地方ハ比較的困ラナイ方ノ多イ地方デアリマス、九州ノ旱害地方、或ハ東北ノ冷害地方ト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、其生活ノ程度ガ低イノミナラズ、今年ノ被害ニ因ツテ、生活ノ困難ニ陥ツテ居ル者ノ數ガ非常ニ多イノデアリマスルガ故ニ、比較的富裕階級ノ多イ地方ニノミ、斯ウ云フ法案ヲ出シテ同情シナイデ、ソレヨリモ困ル者ノ多イ所ノ九州ノ旱害地方竝ニ冷害地方ニコソ、力ヲ入レナケレバナライノデアアルノニ拘ラズ、政府ガ此處ヲ慮ラザリシ所以ノモノハ、抑、何處ニ在ルノデアアルカ、此點ニ付テハ日本全國ノ無產階級ガ、成程ト思フダケノ御答辯ヲ願ハナケレバ、承知出來ナイノデアリマス、是ガ一點デアリマス

更ニ御尋申上ゲマスガ、現行ノ地租法ニ依ル免租ノ程度ハ、收穫ガ七割以上減ツタ場合ノミ免租スルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、此法規ノ制定サレマシタノハ、實ニ三十餘年ノ前デアツテ、社會正義ノ通念ガ、今日ヨリズット低イ時代ニ作ラレタモノデアツテ、今日ニ於テハ收穫ガ五割以上減ジタ場合ニ於テハ、當然免租スベキモノデアルト云フ通念ハ、日本國民全體ノ間ニ固ク認メラレテ居ル所デアリマス（拍手）然ルニ政府ハ本案ヲ提出シテ、收益税デアルトカ、或ハ第三種所得税デアルトカ云フヤウナ、納税者ガ中産階級以上ノ者ニ對シテ、斯ノ如キ親切同情ヲ持チナガラ、何故ニ一般農民ニ對シテ、此地租法ヲ改正シテ、之ヲ救済スル所ノ法ヲ講ジナカッタノデアアルカ（拍手）何故ニ政府ノ親切同情ガ、比較的富裕ナル階級ノミニ止ツテ、本當ニ困難シツ、アル所ノ農民農村ニ及バナカッタノハ如何ナル理由デアアルカト云フコトニ付テ、全國ノ農民ガ納得出來ルダケノ御答辯ガアツテ然ルベシト存ズルノデアリマス、是ガ御伺ノ第二點デアリマス

次ニモウ一點御尋申上ゲマスノハ、一體地方農民ノ負擔ハ、國稅ヨリモ寧ロ地方稅、町村稅ト云フヤウナモノガ苛重デアリマシテ、之ニ苦シデ居ルト云フコトハ蔽フベカラザル事實デアリマシテ、大藏大臣ヨリモ寧ロ農林當局ガ此位ノコトハ、ハッキリ御分リニナツテ居ラナケレバナラスト思ヒマスガ、本案ノ如キ法案ヲ提出シテ居リナガラ、地方ノ農民ガ最も困難致シテ居リマス所ノ地方稅、村稅等ニ對シテ何等御考慮ガナカッタト云フコトハ、餘リニ富裕階級ニ親切ニシテ、中産階級以下ニ不親切デアルト云フコトヲ、此法案其モノガ雄辯ニ語ツテ居ルデハナイカト存ズルノデアリマス（拍手）政府ハ或ハ地方交付金ノ方法其他ノ方法ニ依ツテ、冷害地、九州ノ旱害地、若クハ風水害地等ニ對シテ村稅、地方稅等ヲ減免シ、之ヲ救済スルト云フヤウナ御親切、御同情ハ御有リニナライノデアアルカ、ドウカ、是ガ最後ニ御尋申ス一點デアリマス
尙ホ内務當局ニ對シテモ御伺申シタイ點ガアリマシテ、通告ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、内務大臣モ居リマセヌカラ、此質疑ハ委員會ニ於テ御尋スルコトニ致シマシテ、最後ニ關聯事項トシテ農林大臣ニ御尋申シテ置キマスルガ、一體東北ノ冷害地ノ如キハ、今年初メテ東北地方ガ寒冷ニ依ツテ被害ヲ蒙ルコトガアルト云フコトガ御分リニナツタノデハナイ、苟モ日本ノ歴史ヲ知ル程度ノ者デアアルナラバ、東北地方ガ凡ソ何年目々々々位ニハ冷害ニ因ツテ非常ナル被害ヲ蒙ルト云フ位ノコトハ分ツテ居ラナケレバナライ、農林省ニハ之ニ關スル立派ナ統計等モ作ツテアルト御聞キ申シテ居ルノデアリマスルガ、果シテ然ラバノ程度ノ被害ニ對シマシテハ、若シ農林省ガ自分ノ所ニ作ツテアル所ノ、アノ農業保險法、アレヲ更ニ擴大致シマシテ、完全ノ農業國家保險法ヲ作ツテ置キサヘ致シマスルナラバ、之ニ依ツテ今回ノ此冷害位ノ程度ニ於キマシテハ、敢テ臨時議會ヲ開カナクトモ、ソレニ依ツテ十分ニ救済シ得ルコトガ出來ルト私ハ信ズルノデアリマスルガ、何故ニ政府ハ明治以來今日ニ至ル迄、此親切ト同情トラ東北民ニ持タレナカッタノデアアルカ、且又將來ニ於テ農業保險ニ關シマシテ、何等御計畫ハナイノデアアルカト云フコト御聽ヲ申シテ置キタイノデアリマス（拍手）

以上ノ點、御尋申スノハ簡單デアリマスルガ、吾々ハ全國ノ被害地方民ニ對スル熱誠ト誠意ニ於テ非常ナルモノガアルノデア

リマスルガ故ニ、御答辯ノ親切丁寧ナラン
コトヲ希望致シマス（拍手）

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 御質問ノ第一
點ハ、先刻畑君ニ私ガ御答ヲ申上デマシタ
コトニ依ッテ、大體ハ御諒解ヲ願ヒ得ルカト
思ヒマスガ、即チ此法律ノ適用ヲ風水害地
方ニ限ツタ理由ハ、先刻モ申上デマシタヤ
ウニ、風水害ニ因ル損害ハ、單ニ收益ノ損
失ノミニ止マラズ、生産ノ手段マデモ破壊
サレテ居ルト云フ點ニ特異性ガアル譯デア
リマスノデ、左様ナ意味カラ此法律ノ提案
ヲ見ルニ至ッテ譯デアリマス、ドウゾ左様御
諒知ヲ願ヒマス

ソレカラ第二ノ地租免租ノ問題デゴザイ
マスルガ、是ハ御承知ノ通り現行法ニ依リ
マシテハ、收穫皆無地ニ免租ノ特典ヲ與ヘ
ルヤウニナッテ居リマスケレドモ、其收穫皆
無地トハ、ドウ云フ程度ノモノヲ見ルカト
云フコトハ、行政ノ手心ニ依ッテ、大藏當局
ハ或ル程度マデ寛大ニ扱ッテ居ラル、コト
ハ御承知ノ通りデアリマス、更ニ今回ノ各
地方ノ災害ニ鑑ミマシテ、此點ニ關スル從
來ノ取扱方ヲ更ニ一層寛大ニシタイ、斯ウ
云フコトデ關係各省ノ間ニ協議ヲ致シテ居
リマスノデ、或ハ栗原君ノ御主張ノヤウナ
所ニ近付クノデハアルマイカト考ヘテ居リ
マスケレドモ、マダ此處デ私ガ何割マデト
云フヤウナ言明ヲ致シマスコトハ、差控ヘ
タイト考ヘマスガ、ドウゾ宜シク願ヒマス

第三ニ地方交付金ノ問題ハ、是ハ御趣意
ハ要スルニ地方ノ財政調整ト申シマスカ、
或ハ都市ト農村トノ負擔ノ均衡ト云フ點カ
ラノ御主張ト御察シヲ致シマス、御意見ハ
洵ニ御尤ダト存ジマス譯デアリマスガ、此

點ニ付テハ内務當局ニ於テモ色々苦心ヲ
拂ッテ居ラレル事實ハアルノデアリマス、是
モ願クバ委員會等ニ於テ直接内務大臣等カ
ラ御聽キヲ願ヒマス方ガ宜シクハナイカト
思ヒマシテ、私ハ差控ヘルコトニ致シマス
ソレカラ第四ニ、東北冷害ノ關係カラ、

此保險制度ノコトニ付テノ御話デアリマシ
タガ、東北各地方ガ數年ニ殆ド周期的ニ天
災ヲ被リマスルコトハ御説ノ通りデアリマ
ス、デ之ヲ一面ニ於テハ何トカ一ツ周期的
ニ來ル災害ト云フモノヲ、之ヲ必然的ノ運
命トシテ其儘諦メテ行クカドウカ、是ハサ
ウ早く諦メヌ方ガ宜クハアルマイカ、矢張
周期的ニ來ル此天災ニ對シテ、折角發達
シテ居ル科學ノ力ニ依ッテ、或ル程度マ
デ防禦シ得ル見込ガアルナラバ、矢張
一ツ出來ルダケノコトハヤッテ見ル必要ガ
アルマイカト云フコトデ、此間申上デタ
ヤウナコトヲ試ミテ見ヨウト思ッテ居リ
マスノト、是カラ御審議ヲ願ヒマスル
斯ウ云フヤウナ地方ニ於テ、將來ノ災害ノ
場合ニ對スル備荒貯蓄ノ制度ヲ、今日ニ於
テ或ル程度マデ整備ヲ致シテ置クコト云フコ
トハ、是ガマア恒久的ノ策トシテハ、ソレ
バカリデモ無論行クモノデアリマセヌケレ
ドモ、相當役立ツコトデハアルマイカ、ソ
レカラ關聯シマシテ、若シ農林省ガ從來調
ベテ居ッタ農業保險制度ガ布カレテ居ッタナ
ラバ、東北ノ冷害ナドモ助カッタデヤナイ
カト云フヤウナ御意見デゴザイマスルガ、
實ハアノ案デハサウハ參ラスノデアリマス、
此問題ニ付テハ、色々マダ私ハ研究ヲスベ
キ餘地ガアルト實ハ考ヘテ居リマスノデ、殊
ニ今年ノ災害ノ狀況等カラ考ヘマシテ、從
來ノ案其儘デハ、ドウモドウカト云フ實ハ

疑ヲ、私ハ是ハ個人トシテアリマスガ、疑ヲ
有ッテ居ルヤウナコトデアリマシテ、左様ナ
コトデ此問題ハ此通會議ニ於テ解決ヲス
ルト云フヤウナ簡單ナ運ビニハ至リ兼ねル
譯デアリマスカラ、其邊ハドウカ惡シカラ
ズ御承知ヲ願ッテ置キマス

（栗原彦三郎君登壇）

○栗原彦三郎君 大體農林大臣カラ御答辯
ガアリマシタ、十分ニ満足スルコトハ出來
マセヌ、何レ委員會ニ於テ御尋致スコトニ
致シマスガ、只今最後ニ私ガ農業保險ニ關
シテ御尋ヲ申シマシタノハ、當期議會ニ提
出セヨトカ、或ハ來ル通常議會ニ提出セヨ
トカト云フヤウナ注文デハナイノデアリマ
シテ、農業保險ニ付テモト根本的ナ建直
シヤル、サウシテ農業保險ノモット擴大セ
ラレタモノヲ御提出スル考ガナイカドウカ
ト云フ、農業保險ニ關スル農林省ノ根本信
念ヲ御尋致シマシタノデスカラ、左様御承
知ヲ願ヒタウゴザイマス

今内務大臣ガ御出デニナリマシタカラ、
關聯事項デハアリマスガ、極ク簡單ニ一點
御尋申シテ置キタイノデアリマス、内務大
臣ニ御尋申上デマスガ、日本ノ各地方ニハ
古來、今年ノ關西地方ニ於ケル風水害、或
ハ九州ニ於ケル旱害、若クハ東北地方ニ於
ケル冷害ト云フヤウナモノニ對應スル爲ニ、
地方ノ部落有財産ト云フモノガアッタノデ
アリマシテ、或ル程度迄ノ災害デアリマス
ナラバ、或ハ水害、或ハ旱害、更ニ又はレ
以上ニ非常ナル疫病ガ流行シテ、其部落民
ガ悉ク病氣ニ罹ッタト云フヤウナ場合ニ於
キマシテモ、其部落有財産ヲ以テ之ヲ救済
シテ行クコトガ出來タノデアリマス、然ル
ニ政府ハ明治三十年頃デアッタカト存ジマ

スガ、此部落有財産ヲ町村ニ統一セシメ、
村有トセシメルト云フヤウナ事ヲ言出シテ
之ヲ強行シ、既ニ部落有財産ト云フモノヲ
無クシテシマッタ地方モアリマス、現ニ本年
此部落有財産ガ無クナッタカラ、此災害ニ對
シテドウスルコトモ出來ナイノダト、現實
ニ岩手縣ノ稗貫郡内川目村、外川目村等ニ
於テハ言ハレテ居ルノデアリマス、ソレハ
何故カト申シマスレバ、單ニ此町村バカリ
デハナイ、千葉縣ニ於テ、靜岡縣ニ於テ、其
他全國各地方ニ於テ、同一ナル適例ガアル
ノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯カト申
シマス、同ジ一ツノ村ニ於テモ、或ル部
落ハ海面ニ接シテ居ッテ漁業ニ依ッテ生活ス
ル所、或ル部落ハ平地デ農業ニ依ッテ生活
スル所、或ル部落ハ山間ノ僻地デ林業ニ依ッ
テ生活スル所ト、斯ウ云フ風ニ農民生活ノ
形式ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマスガ、無
智驢昧ナル官僚ハ、一緒クニ考ヘテ、何
デモ彼デモ之ヲ村有財産ニシテシマッタ方ガ
都合ガ好イト云フヤウナコトデ、之ヲヤタラ
村有ニシテシマッタノデアアル、其結果ガ本年
ニ於テハ觀面ニ現レテ來テ、斯ウ云フヤウ
ナ山間ノ僻村ガ災害ニ因ッテ多ク非常ノ損
害ヲ受ケタノデアリマスガ、若シ部落有財
產ト云フモノガ其儘ニシテアッタナラバ、
今年ノヤウナ場合ニ於テハ、之ニ依ッテ
自己救済ガ、出來タノデアアルガ、村有ニサ
レテシマッタ、村有ニサレテシマッタ結
果、其財産カラ生レタ收益ト云フモノ
ハ、之ヲ學校ノ建築費ニ使ッテシマッタリ、
其平地ノ農業部落ノ道路ノ改築ニ使ッテシ
マッタ、或ハ水害ノ復舊ニ使ッテシマッタト
云フヤウナコトデ、總一文モ今日ハ無クナッ
テ居ルノデアアル、日本ガ或ハ千年トカ、千

五百年トカノ長イ經驗ニ依ッテ、部落々々ノ生活狀態ガ異ッテ居ルカラ、之ヲ自己保險ノ意味ニ於テ部落有財産ト云フモノガ必要デアル、其爲ニ現實ニ使ッテ居ッタモノヲ、唯譯モ分ライ官僚ガ之ヲ村有ニシテ、村ニ保管セルガ宜イダラウト云フ位ナコトガ、實情ニ暗イ者ガヤッ付ケテシマツタカラ、全國各地ニ、ア、部落有財産ガアリサヘスレバ、オ上ノ厄介ニナラナイデ済ムモノヲト云フ怨嗟ノ聲ガアルノデアリマスルガ、アナタハ部落有財産ト云フモノヲ認メ、之ヲ獎勵致シマシテ、部落民ノ努力ニ依ッテ、或ル程度マデノ災害ナドガアツタ場合ニ於テハ、自己保險、自己救済ガ出來ルヤウニスル御考ハナイカドウカ、今デモ各縣廳ノ役人ナドガ官僚ノ御機嫌伺ノ意味ニ於テ、部落有財産ヲ村有ニ統一セシムルト云フコトデ、農民ヲ脅迫シテ居ルノデアリマスルガ、アナタモ同ジヤウナ考ヲ以テ、部落有財産ト云フモノニ對シテ臨マントスルノデアアルカドウカ、アナタハ部落有財産ト云フモノハ、矢張日本ニ於ケル千年、千五百年ノ長イ經驗ニ依ッテ、相當知識アル者ノ考ヘタ事ダカラ、之ヲヤラセタイト御考ニナッテ居ルカドウカ、此點ヲ關聯事項デハアリマスルガ、ハッキリ御伺申シテ置キタイト存ズルノデアリマス(拍手)

(國務大臣後藤文夫君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 只今ノ栗原君カラノ御尋ハ、之ヲ難カシク論ジマスルト、地方自治體ノ根本ノ問題ニ觸レテ居ルト思

ヒマス、明治時代カラ大正、昭和ノ時代ニ掛ケテ發達シテ參リマシタ我國ノ地方自治體ノ今日ノ形ガ、果シテ地方自治體トシテ其儘適スルヤ否ヤト云フ問題ニ觸レテ居ルノダト思ヒマス、併ナガラ私ハ今ソナナ大キナ議論ヲ此處デ致サウト思ヒマセヌ、偶、部落有財産ト云フモノヲ捉ヘテノ御話デアリマスガ、是ハ部落有財産ダケノコトヲ捉ヘテ申シマスレバ、部落有財産ヲ町村ニ統一シタカラト申シマシテ、ソレヲ矢鱈ニ學校ニ使ツタリ、道ヲ造ルニ使ツタリシタ、ソレガ惡カッタノデアアル、是ハ矢張元ノヤウニ部落民全體ノ共同ノ生活保險ニ使用スルモノトシテ、村ガ之ヲ管理シテサヘ居レバ差支ナカッタノデアリマスガ、實ハサウ云フ指導ガ行ハレナカッタト云フナラバ、指導者モ惡カッタデアリマセウ、併ナガラ何ダカ今官僚ト云フコトヲ仰シヤツタケレドモ(笑聲)マアソレハ一寸止シテ置キマスガ、モウ隨分長イ間ノコトデ、誰ノ攻撃ヲナサツタノカ分ラヌヤウニ私ハ思ヒマスガ、ソレガ長イ間行ハレテ來タノデス、ソレガ良クナカッタト云フナラバ、ソレハ一ツノ御批評デアルト思ヒマス、今後ハ自治體ニ於テノ部落ト云フモノヲ相當ニ考ヘテ行カナケレバナラス、モウ一遍考ヘ直サナケレバナラス時期ニ又ナッテ來タト思フノデアリマス、部落有財産ヲ唯統一ラスレバ宜シイト云フヤウナコトハ、今後ハ考ヘテハイカナイト私ハ思ヒマス、唯不幸ナ事ニハ部落有財産ハモウ殆ド統一サレテシマツテ居リマス、今後ハ

或ハ物ニ依ッテハ、例ヘバ郷倉ノ如キ、或ハ共同作業所ノ如キモノハ、部落ノ施設トシテ今後發達サシテ行カナケレバナラスノデハナイカト考ヘテ居リマス

○栗原三郎君 宜シウゴザイマス
○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ——本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二、都市計畫法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——内務大臣後藤文夫君

第二 都市計畫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
都市計畫法中改正法律案
都市計畫法中左ノ通改正ス
第十三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ災害其ノ他特別ノ事情ニ因リ特ニ急施ヲ要スル場合ニ於テハ認可後一年
内ト雖モ之ヲ施行セシムルコトヲ得
(國務大臣後藤文夫君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 都市計畫法中改正法律案提出ノ理由ヲ概略御説明申上ゲマス
先般關西地方ヲ襲ヒマシタ颱風ニ因ッテ、

海岸ニ接近シテ居リマス市街地ノ中ニハ、高イ波ノ爲ニ破壊セラレマシテ、是ガ復興ヲ要スルモノガアリマス、斯ノ如キ災害ヲ被リマシタ場合ニハ普通組合ヲ設立シマシテ、關係者ガ土地區劃ノ整理ヲ施行スルノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ災害ノ場合ニハサウ云フヤリ方ヲ致シマスヨリモ、地元公共團體ヲシテ之ヲ爲サシムルノガ、最も機宜ヲ得タ處置デアルト考ヘラレマス、然ルニ現行法ニ依リマスルト、都市計畫トシテ土地區劃整理ヲ決定致シマシテモ、公共團體トシテハ、内閣ノ認可ヲ經マシテカラ後一年經チマセヌト、是ガ施行ヲ爲スコトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、今回ノ如キ緊急施行ヲ必要トスルヤウナ場合ニ應ジ得ナイ憾ガアルノデアリマスル、故ニ法律ヲ改正致シマシテ、一年ノ期間ヲ待タズ、公共團體ヲシテ都市計畫事業トシテ土地區劃整理ヲ施行セシメ得ルノ途ヲ拓カントスル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラントラ希望致シマス

○議長(秋田清君) 質疑ヲ許シマス——蔭山君

(蔭山貞吉君登壇)

○蔭山貞吉君 私ハ只今上程セラレマシタル都市計畫法中改正法律案竝ニ此法律案ニ關聯致シマシタル事項ニ付キマシテ、内務大臣、農林大臣及大藏省ノ政府委員ニ對シマシテ二三質疑ヲ試ミタイト思フノデアリマス、政府ハ最近都市計畫法ニ付テ非常ニ認識サレツ、アルコトハ、私共ハ非常ニ宜

イコト、存ズルノデアリマス、併ナガラ此都市計畫法ノ改正ハ、實ハ遲々ト致シテ居リマシテ、去ル第六十五議會ニ於キマシテハ二箇條即チ第一條ト第二條、又只今ハ一箇條ノ第十三條ニ追加ヲサレタウニ、政府デハ何時デモ小出シニ御ヤリニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ問題ハ既ニ數年前ヨリ必要ガ起キテ居ツタ、然ルニ此點ニ付テ政府ノ研究ガ足ラナカッタト云フコトヲ私ハ此處ニ申上ゲルノデアリマス、モット思ヒ切ツテ此都市計畫法ヲ改正スルト云フ意思ガオアリデアルカナイカ、又此法律ハ都市計畫中央委員會ノ諮問ヲ經テヤツテ居ラル、コト、思ヒマスガ、併シ此頃都市計畫ノ中央委員會ガ非常ニ微力ニナツテ、今回モ何カ豫算ノ關係ニ於テハ削ラレタト云フヤウナ話ヲ聞イテ居リマスガ、此點ニ付テハ内務大臣ノ御考慮ハ如何デアリマスカ、又都市計畫法中ニハ、土地區劃整理ト云フモノヲヤレ、都市計畫ヲ實施スルノニハ土地區劃整理組合デヤレ、斯様ニナツテ居リマスルガ、而モ此區劃整理ト云フ名前ダケアルケレドモ、土地區劃整理法ト云フ法律ガナイ、何ニ依ツテヤツテ居ルカト云フト、農林省ノ御厄介ニナツテ、農林省ガ指導セラレテ居ル耕地整理法ヲ準用シテ居ル、目的ノ違フモノヲ以テ目的ノ違フ處ニ適用シテ居ル、斯様ナコトデ如何ニシテ實施者ハヤツテ行ケルノデアリマスカ、大體此頃ハ都市計畫ノ區域ガ擴大サレマシテ、從來ニ比シテ本法ヲ適用セラルル市町村ノ數ガ増

加シタ、又非常ニ複雑ニナツタ、殊ニ最近ニ於テハ小サナル町村ニマデ之ヲ及ボシタ大都會ノ周圍部ハ勿論、小サキ町村ニマデ之ヲ及ボシマシタ、而シテ是等ノ小サイ町村ハドウシテ居ルカト申シマスルト、大都市ニハ土地區劃整理ト云フモノニ關係アル吏員ガ置イテアル、技師ガ置イテアル、故ニ目的ノ異ナル耕地整理法ヲ準用シツ、難儀ヲシテヤツテ居リマスガ、併ナガラ貧弱ナル市町村ニ於テハ、サウ云フモノヲ置イテ居ラナイカラ非常ニ困ツテ居ル、即チドウシテヤツタ宜イカト思ツテ耕地整理法ヲ見ルト農林省ノ方デ叱ラレル、ソレデ内務省ニ行カナケレバナラス、或ハ府廳ニ行カナケレバナラス、縣廳ニ行カナケレバナラスト云フコトニナツテ迷ツテ居ル、全ク經驗ノ無イ者ガ道ヲ辿リツ、山ヲ登ツテ居ルヤウナ關係デ、非常ニ困ツテ居リマス、現在ニ於テハソレガ爲ニ時日ヲ遷延シ、經費ヲ増大シマシテ特ニ困難シテ居ルト云フ狀態ハ、内務大臣ガ能ク認識ヲシテ戴キタイノデアリマス、此事ガ能ク御研究ガ出来ナケレバ、土地區劃整理法ト云フモノモ制定スルコトハ出来ナイノデアリマス、ソレハ其管デアル、内務省ニハ都市計畫課ト云フ小サイモノヲ置イテアツテ、課長ハ丁度知事ニナル前ノ者ガ何時モ來ルカラ、一年カ二年程經ツト直グニ何處カヘ飛ンデ行ツテシマフ、始終頭ガ變ルヤウナコトデ、尻ノ据ル筈ガナイデヤナイカ、セメテ之ヲ局長ニデモシテ、此土地區劃整理、都市計

畫ヲ徹底的ニ早クヤツテ貰ヒタイ、此點ヲヤル意思ガアリマスカドウカ御伺シタイノデアリマス
其次ニハ本法律案ハ特ニ關西地方ノ風水害ノ爲ニ御設ケニナツタト云フコトヲ今大臣モ仰セラレタ、洵ニ私ハ有難ク思フノデアリマスガ、併ナガラ今回ノ豫算ノ跡ヲ見ルト云フト、大臣ノ言葉ハ如何ニモ大キイヤウデアルケレドモ、果シテ其都市計畫事業ノ實施ニ對シテ内務省ノ認識ガ十分デアツタカ、殊ニ大藏省ノ認識ナドハ非常ニ不十分デアツタト云フコトヲ私ハ茲ニ申上ゲル、例ヘバ此豫算ニ就テ見マスルト云フト、大阪方面ノ災害ハ非常ニヒドカッタ、堺ノ三寶ト云フ所デハ何百名ノ人ガ殺サレタ、併ナガラ其防潮堤ノ施設ニ對シテドレダケノ補助ヲ與ヘラレタカト云フト、國庫補助十二萬圓、何百人ト死ンデ、大臣モ視察ニ行カレテ、天下ノ輿論ヲ喚起シタ、然ルニ僅カニ十二萬圓、尼ヶ崎市、大庄村トノ災害ハ非常ニ甚ダシク天下ノ聲トナツテ、畏クモ侍從マデ御差遣ニナツタ、或ハ秩父宮殿下、高松宮殿下、東久邇宮殿下ニハ御見舞ヲ下サツタ、又第四師團長デアラセラレル東久邇宮殿下ハ軍隊ヲ派遣シテ之ヲ救助セラレタ、然ルニ尼ヶ崎市ト大庄村ニ都市計畫事業費トシテ與ヘラレタ政府ノ補助ハ十七萬三千圓、西宮市ノ附近神港戸ニ至ル所ノ長イ間、アノ一万「メーター」カラアル間ニ、幾ラノ金ヲ與ヘタカト云フト九萬八千圓、豫算ノ膨脹ヲ防グ爲ト言フガ政府ノス

ル施設ハ全ク泰山鳴動シテ鼠一匹ノ感ガアル、サウ云フヤウナコトヲシテ置イテ、只今ハ都市計畫法ノ改正ト言ハレテ居ルガ、殊ニ大臣ハ親シクアノ地方ヲ御覽ニナツテ居ル筈デアル、又大臣ガ御出デニナツタト云フノデ地方民ガ非常ニ喜ンデ居ツタ、地方民モ考ヘテ見ルト馬鹿ナ話デアル、大臣ニ從ツテ行ツタカラ今度ハ災害費ヲ貰ヘルト思ツテ居ツタラ軍事費ニ取ラレタ、内務省モ一生懸命ヤルケレドモ議會開ケテ見ルト何シニモナイ、ソレデアナタハ顔ガアリマスカ、ドウモ大臣ノヤラレルコトハ私ハ實ニ遺憾ニ思フノデアリマス、斯様ナコトデ大臣ハ施設ヲシタト思ハレルカドウカ
又モウ一ツ御伺シタイノハ、阪神間ニ築港計畫ガアル、此築港計畫ハ大臣ガ御出デニナツタ時ニ私モ參リマシタガ、大臣ハ御承知ガナカッタ、是ハ餘リ突込ンデ申上ゲルトモ失禮ニ存ジマスルガ、事實ヲ申上ゲルト云フト、アノ沿岸ニハ築港計畫ガシデア、内務省ハ之ニ各私設會社ナリ、或ハ自治團體ニ對シマシテ築港ノ權利ヲ與ヘテ居ラレル、然ルニ權利ハ與ヘテアルケレドモ、最早今日ニ於テハ既ニ七年ノ歲月ヲ要シテ居ル、然ルニ唯一部分ノモノノミ實施ヲサレテ、アトハ空ッポデアル、サウ云フトラシテ居ルカラ、其間ニ大海嘯ガ襲ウテ來テ、アノ沿岸一帶ニ對シテ非常ナ慘害ヲ與ヘタ、斯ウ云フモノニ對シテハ内務省ハ許可權バカリ與ヘルダケデ、實施モ何モシナイデ果シテ是ガ宜イカ、大臣ハヤルベキ

モノハヤリ、權利ヲ取消スベキモノハ取消スト、ハツキリサレタラ宜イト思フノデアリマス、此點ニ付テ大臣ハ如何ニ御考ヘ下サイマスカ

次ニ大藏省ノ政府委員——大藏大臣ノアノ頑固ナ人ニ能ク言ウテ聽カス必要ガアルノデアリマスカラ、次官ハ能ク御聽取下スツテ、アノ頑固ナ古イ事バカリ言ハレル大藏大臣ハ非常ニ古イ人デスカラ、此點ニ付テアナタハ能ク言ウテ聽カシテ貰ヒタイ、都市計畫事業ト言ウタナラバ、全ク地主ノ寄合デ大キナ金持デ、大藏大臣ガ銀行ニ居ラレタ時ノヤウニ、或ハ銀行ヲ扱ウテ居ルヤウナ積リデ居ラレル、ソレデ大藏省ノ認識ハ實ニ不十分ダ、是ハ徹底的ニ不十分ダ、ソレガ爲ニ此都市計畫事業ニ對シテ補助ト云フモノハ非常ニ少イ、私ハ内務省ガ都市計畫事業ニ對シマシテ、大分努力ハシテ居ラレルコトヲ見ルケレドモ、課長デヤ悲シイ哉——局長位ナラマダ宜イガ、課長デヤ大藏省ニ行ッテ一遍ニ廻ネ付ケラレル、其大藏省ハ地主ノ寄合デ、ソレハ住宅ヲ造ル、ソナナ地主ノ援助ハ出來ナイ、ソレダカラスパット切ッテシマフ、ソレデ斯ウシテ内務大臣マデ觀察サレタケレドモ、阪神地方ニ僅ニ二十萬圓カ二十五、六萬圓ノ金ヲ持ッテ來テ置イテ、サウシテ大改正ヲ行フンダ、斯ウ云フヤウナコトヲスルノハ、一部ハ大藏省ノ罪デアリマスゾ、地方民ハ大藏省ノ役人ヲ非常ニ怨ンデ居ル、ソレデ實際ニ於テ、都市計畫事業、土地區劃整理ト云フモ

ノハ中小地主ノ寄合デ非常ニ貧弱デアルト云フコトヲ御考ヲ願ヒタイ、又大藏省ノ認識不足デアルト云フ一例ハ、大藏省ノ預金部、地方資金融通規則、之ニハ此土地區劃整理組合ニ對シテハ少シモ融通ノコトハ書イテナイ、是ハ何年間ニ互ツテ居ル、最早十年位前カラ歎願ヲナシテ居ル、是ハ前ノ内務大臣ナシカハ、テンデ斯ウ云フ土地區劃整理組合ノ如キハ知ラレナカッタノデアリマスカ、今ノ内務大臣ハ一ツ之ヲヤカマシク言ウテ入レサシテ貰ヒタイ、内務省ハ是ハ本當ノ主管ダ、又大藏省ハ其融通規則ヲ作ル人間ハ誰カ、之ヲ運用スル者ハ誰カト云フト、元大臣ヲヤツテ居タ者トカ、銀行ノ總裁トカ、ソナナ小サナ地主ノ細カイコトガ分リモシナイ者バカリヲ集メテ居ル、サウ云フヤウナコトデアリマスカラ、此土地區劃整理組合ニ對シマシテハ非常ニ同情ガナイ、融通資金ヲヤラナイ、今同ニ於キマシテモ此關西地方ノ尼ヶ崎、大庄地方ニ對スル此土地區劃整理事業ニ對シマシテ、其利子ノ補給デモ非常ニ削ルト云フ話デアリマスガ、果シテ削ルノカ、此方ノ申出デ通リニ吳レナイノカ、是ハ大藏次官ガ分ラナケレバ、政府委員カラデモ十分ニ御答辯ヲ願ヒタイ、是ハ今審査申デアルト云フコトヲ聞イテ居リマスル、斯ウ云フ風ニ同情ガナイノデアリマス、普通低利資金ノ融通ト云フコトニ付テハ、歎願ニ歎願ヲ重ネテ、サウシテ大藏省ニ平身低頭シテ行ッテモヤラナイト云フノガ前例デアリマス、併シ昭

和三年以來幾分其途ヲ開カレマシタガ、此點ニ付テ大藏省ハ十分ニ御留意ヲ願ッテ、大臣ニモモウ少シ認識ヲサセテ、サウシテ現在ニ於テ中農ガ困ッテ居ルンダ、土地區劃整理ト云フモノハ大都會ノ周圍ノ者ガ多イノデアアル、此周圍ノ者ガドツチカト云フト犧牲ニナツテ居ル、内務省ハ規則ダケ作ッテ、サウシテヤラウト云フ金ハ拵ヘテ吳レナイ、然ルニ關係者ハ中小地主ガ多イノデアリマス、サウ云フコトガ分ラナケレバ大藏大臣ハ大藏省ノ役人ヲサウ云フ方面ニ派遣シテ、モツト徹底的ニ調査シテ貰ヒタイ、次ニ農林大臣ニ御伺ヒ致シマスルガ、此都市計畫事業ト又純農村ノ所謂耕地整理ト、丁度其區域ノ限界ガ非常ニムヅカシイノデアリマス、今回ノ如キ都市計畫事業ニ依ッテ内務省ガ主管シタ所ハ、是ハ住宅地ニ關スルモノデアルカラト云フノデ、農林省ノ方ハ之ニ向ッテ補助ヲ與ヘナイ、所ガ事實ニ於テソナナ都會ノ周圍ノ人間ガ、全部商工業ヲ營ンデ居ル、或ハ之ヲ工場地帯ニ變化スルカト申シマス、是ハ出來ナイ、實際ニ於テ此神戸市ノ附近、或ハ大阪市ノ周圍部、名古屋市ノ周圍部、其周圍部ノ農村ト都會トノ中間地帯ガ一番困ッテ居ル、大阪附近ニ於テハ今回ノ大庄村、或ハ鳴尾村、或ハ本庄村、斯ウ云フ農村モアリマス、大阪市周圍部ノ中ニモ農村ガアル、然ルニサウ云フモノニ對シテ都市計畫事業トシテ、内務省ノ主管ト致シマシテ、一部ヲ實施シタ場所ニ農林省ハ手ヲ出スト恐ロシイ、會計検査院ニ叱ラレル、大藏省

ニ行ッテ削ラレル、ダカラ手ヲ引イテ居ヨウト云フノデアリマス、今度困ッタ事ニハ此風水害デハ此事ガ徹底シナイノデアアル、即チ是ハ内務省ト農林省ト能ク御協議下サツテ、大藏省モ内務省モ補助ヲヤツタカラ、モウ農林省ノ方カラ言ッテ來テモ一文モヤラナイ、實ヲ申ストソナナ早ク先ヅ五年ヤ十年デハ住宅地ニナツタリ工場地帯ニハナリマセヌ、今大阪市ノ周圍部ト、兵庫縣ノ周圍部トヲ寄セマスト三萬坪モアリマス、ソナナ處ニ道ヲ付ケテモ一年ヤ二年デ家ガ建チマセヌ、サウ云フコトガ大藏省ノ人ナリ、農林省ノ人ニハ分ラヌノデス、又内務省ノ方ガ幾分ノ補助ヲ出スト云フト、モウ農林省ハ出サナイ、ソレデ一番困ッテ居ルノハ其農村ノ住民デアツテ、耕地ノ回復ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス、此點ニ付テ農林大臣ノ御考ハ如何デアリマスルカ、此點ヲ能ク御伺シタイノデアリマス、尙ホ細カイコトヲ申シタイ點モアリマスカレドモ、諸君ノ御迷惑ニナリマスノデ、委員會ニ讓ルコトニ致シマス(拍手)

〔國務大臣後藤文夫君登壇〕

○國務大臣(後藤文夫君) 只今蔭山君カラ都市計畫事業ニ關シテ、非常ニ御理解ノ深イ御話ヲ伺ヒマシテ、洵ニ吾々モソレニ關係シテ居ル者トシテ意ヲ強ウ致スノデアリマス、都市計畫法ノ根本改正ノコトハ、從來トモ色々計畫ヲ致シテ居リマシテ、之ヲ實現ヲシタイ希望ヲ以テ調査中デアリマス、又都市計畫中央委員會、是モ十分ニ活

用ヲ致シタイト云フ考デ居リマス、都市計畫ニ依ル區劃整理、耕地整理法ヲ準用シテ居ルノデハ、モウイケンナイノデヤナイカ、土地區劃整理ニ關スル特別ナ規程ヲ設ケネバナラスノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、是モ都市計畫ノ初ニ於キマシテハ、丁度耕地整理ニ致シマス同ジ方法ヲ用ヒテ參ッノデアリマシテ、趣旨ヲ同ジウ致シテ居リマスガ、段々都市計畫ガ進歩致シマシテ、大都市カラ中小都市ニモ及ビ、都市ノ郊外地方ニモ及ブト云フヤウナコトニナッテ參リマスノデ、色々ト是ハ攻究ヲ致サナケレバナラスト思ッテ居リマス、此點モ折角考

究中デゴザイマス、ソレカラ阪神間ノ沿線ノ海岸ノ埋立ヲ許可シテ、事業ヲ實施シテ居ルモノガ僅カデ、許可ヲ受ケテモ一向實施シナイモノガアル、是等ニ付テハドウスルカト云フコトデアリマスガ、是等ノ點ニ付テモ只今折角色々調査ヲ致シテ居リマス、以上ヲ以テ御答ト致シマス

〔國務大臣山崎達之輔君登壇〕

○國務大臣(山崎達之輔君) 蔭山君ノ御心配ノ點ハ洵ニ御尤デアリマシテ、市ノ區域内等ニ於テ内務省ノ關係ト農林省關係トガ、ドツチニ付カ分ラヌヤウナ御困リノ場所ガアルコトハ能ク承知シテ居リマス、殊ニ今回御話ノ兵庫縣ノ大庄村等ハ、色々農林省トシテモ考ヘテ居リマス、出來得ルダケノコトハ致ス考デアリマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

〔政府委員男爵矢吹省三君登壇〕

○政府委員(男爵矢吹省三君) 只今蔭山君ヨリ大藏省ハ從來區劃整理ノコトニ付テ、甚ダ理解ガ足りナイト云フ御尋ガゴザイマシタ、蔭山君ノ御意見ハ大臣ニ親シク傳ヘル積リデ居リマスガ、私ヨリ取敢ヘズ御答辯ヲ申上ゲタイト思ヒマス、大藏省トシテ決シテ區劃整理ノコトニ付テ、認識不足ト云フ次第デハナイノデアリマスルガ、唯見方ニ依ッテ其金額ガ少イト云フ點カラ、左様ナ御言葉ガ出タノデアラウト考ヘマス、是洵ニ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、財政上各般ノ事情カラ左様ニナルノデアリマシテ、ドウカ然ルベク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、又預金部ノ規則ノ中ニ、區劃整理ニ對スル融通ガ出來ナイコトニナッテ居ルト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ左様デハナイサウデアリマシテ、預金部ノ規則ノ中ニ於キマシテ、區劃整理ニ對シテモ融通ガ爲シ得ルコトニ現在ナッテ居ルノデアリマス、其事ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙又利子ノ補給ノコトニ付テハ目下考慮中デゴザイマシテ、何レ近イ中ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ付テ、御承認ヲ願ヒマス時機ガアラウカト思ヒマス、ドウカ左様御諒承ヲ願ヒマス

○蔭山貞吉君 極ク簡單デアリマスカラ此席デ——内務大臣ノ御答辯ハ兎ニ角能ク研究モシテ實施スルト云フヤウニ拜聽致シマシタ、ドウカソレヲ成ベク速ニヤッテ戴キタイノデアリマス、通常議會ニモ私ハ能ク

ソレニ氣ヲ付ケテ居ラウト思ヒマス、農林大臣ノ御答辯ハ、大庄村初メサウ云フ都會ノ周圍部ノ所ニハ成ベク特別ノ注意ヲ拂ッテヤル、斯様ニ私ハ伺ッテ居リマス、大藏省ノ方面ハ何ト云ハレテモ認識不足デアル、又預金部ノ運用規則ニソレガ入ッテ居ルト思ハレタノハ、アナタガ間違ッテ居ラレル、之ハ規則ニ書イテナイ、アナタハサウ云フコトヲ言ッテ居ラレルガ、事實ニ於テハソレハナイノデアラ、ソレハ今ナイケレドモ流用シテ居ル、ソレヲ教ヘテ置キマス、又農村ノ問題デアリマスルガ、農村ノ問題ニ對シテハ、丁度今農林大臣ニ申上ゲタヤウニ、此點ヲ能ク御考慮下サイマシテ、其土地區劃整理ハ本當ノ住宅地區ノミデハナイノデアリマス、

當ノ住宅地區ノミデハナイノデアリマス、半分農村、半分ハ住宅區ノ所ガ多イノデアラ五年、十年、二十年ニシテ住宅化スルト云フヤウナ所ノ土地區劃整理ニ對シテ、モウ少シ補助ヲ與ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ能ク申上ゲテ置キマス、アナタノ間違ッテ居ラレルト云フコトハ、私ハ逆襲シテ置キマシタガ、其通デアリマスルカラ、ドウゾ左様ニ御考ヲ願ヒタイ

〔政府委員男爵矢吹省三君登壇〕

○政府委員(男爵矢吹省三君) 只今私ガ御答辯致シマシタ言葉ノ中ニ、預金部ノ規則ノ中デ區劃整理ニ對シテモ融通ガ出來ルト云フコトヲ申上ゲタニ付キマシテ、蔭山君カラ左様ナコトハ出來ナイ筈デアルト云フコトヲ仰セガゴザイマシタ、是ハ預金部ノ

普通資金ノ融通ノ中ニハ書イテゴザイマセヌガ、特別資金トシテ融通ガ爲シ得ルコトニナッテ居ルノデアリマス、其特別融通ノ範圍ニ於キマシテ、區劃整理ニ對シテノ融通モ出來ルコトニナッテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○蔭山貞吉君 細カイコトハ議論スル餘地ガアリマセヌガ、此普通資金ノ中ニ入レテ吳レト云フコトヲ從來カラ言ッテ居ルノデアリマス、政務次官ハ求メテ他ヲ申シテ居ラレルノデアリマシテ、毎年々々色々頼ンデ其特別資金ノ融通ヲ受ケタリスルト困リマス、ドウカ成文トシテ斯ウ云フコトヲ明瞭ニ記入シテ貰ヒタイ、斯様ニ申シテ置キマス

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ——本案ノ審査ヲ付託スベキ委員會ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三、凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス——農林大臣山崎達之輔君

第三 凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案

第一條 政府ハ市町村ニシテ其ノ區域内ニ於テ昭和九年產米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ且冬季ニ於ケル應急土木事業ノ施行困難ナルモノニ對シ交付セシムル爲關係道府縣ニ對シ昭和十年三月三十一日迄總額五十万石ヲ限リ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ米穀ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ前項ノ市町村ニ其ノ米穀ヲ交付シ當該市町村ハ其ノ住民ニ其ノ米穀ヲ貸付又ハ交付スルコトヲ要ス
前項ノ交付及貸付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 市町村ハ交付ヲ受ケタル米穀ト同數量ノ米穀ヲ所有シ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ之ヲ貯藏スルコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依リ貯藏スルコトヲ要スル米穀ノ數量ハ政府ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外交付ヲ受ケタル日ヨリ五年以内ニ其ノ全額ニ達セシムルコトヲ要ス

第三條 市町村ハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ前條第一項ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ
市町村ハ前項ノ規定ニ依ル處分其ノ他ノ事由ニ因リ貯藏スルコトヲ要スル米穀ノ數量ニ不足ヲ生ジタルトキハ政府

ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外次ノ收穫季節ニ於テ其ノ不足數量ヲ補充スルコトヲ要ス

第四條 市町村特別ノ事由アル場合ニ於テ政府ノ許可ヲ受ケタルトキハ米穀ノ貯藏ニ代ヘ米穀以外ノ穀物ヲ貯藏スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二條第二項及前條ノ規定ヲ準用ス

第五條 政府ハ第一條ノ規定ニ違反シタル道府縣ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米穀ノ價額ニ相當スル金額ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

政府ハ第一條乃至第三條ノ規定（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタル市町村ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米穀ノ價額ニ相當スル金額ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第六條 本法ニ依ル米穀ノ交付ニ關スル政府ノ一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 本年ノ凶作ノ實情ニ鑑ミマシテ、東北六縣其他特殊ノ地方ニ對シマシテハ、豫算上ノ一般應急土木事業ノ外、特ニ米ノ供給ニ付キマシテ、適切ナル方策ヲ講ズルコトガ必要ト認メラレマスノデ、是等ノ地方ニ於ケル米作ヲ爲ス市町村ニシテ、其區域内ノ本年產米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ、且ツ冬季ニ於ケル應

急土木事業ノ施行困難ナルモノニ對シマシテ、臨時ノ施設ト致シテ關係縣等ヲ通ジマシテ、五十万石ノ範圍内ニ於テ政府所有米穀ヲ交付スルコト、致シマシタ、之ニ依ッテ現下ノ窮狀緩和ニ資シマスト共ニ、將來是等ノ市町村ノ備荒貯蓄ノ施設ヲ整備セシメマシテ、以テ應急、恆久兩面ノ效果ヲ收メタイト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、御審議ノ上何卒速ニ御協賛アラント希望致シマス（拍手）

○議長（秋田清君） 本案ニ對シ通告順ニ依ッテ質疑ヲ許シマス——松岡俊三君
○松岡俊三君 總理大臣ノ出席ヲ要求致シマス
○議長（秋田清君） 總理大臣ハ今豫算委員會ニ出席中デアリマス、成ベク本議場ニ出ルヤウニト云フコトヲ交渉シタノデアリマスルケレドモ、左様ニ運ビ兼ネルヤウデアリマス、大體サウ云フ次第デアリマスカラ、議長ト致シマシテハ此儘總理大臣ノ出席ナクトモ議事ヲ進メタイト考ヘテ居リマス
（松岡俊三君登壇）
○松岡俊三君 東北六縣民ガ今餓死線上ニアルノデアリマス、本案ハ東北民ノ死活ニ關スル重大ナ案件デアリマス、凡ソ政治ハ人心ノ安定ヲ基調トセバナラスト思ヒマス、斯ル餓死線上ニアル際ニ於テハ、努メテ神經ノ過敏ヲ鎮メルヤウニ爲政者ハ心掛ケナケレバナラスト、思フノデアアル、極メテ慎重ニ、極メテ親切ニ、些細ナルコト、雖モ忽ニスベカラザルモノト思フノデアリ

マス、私ハ此意味ニ於テ總理大臣ノ御出席ヲ特ニ要望シタ次第デアリマス、又本件ニ關シテハ總理大臣ガ御出デニナリマセヌケレバ、私ノ質問ノ重點ニ對シテハ洵ニ遺憾ナコトニナルノデアリマスケレドモ、豫算總會ガアリマス關係上、御出席ムヅカシイト云フコトデアリマスレバ、幸ニ國務大臣トシテ内田、山崎ノ兩大臣ガ居ラレマスルカラシテ、私ノ質問ヲ進メテ參リマス
此度ノ東北六縣ノ被害ノ狀況ハ、過去五箇年平均米作ガ、千二百七十八百七十二石ヲ得テ居ルノデアリマス、之ニ對シテ本年度ハ六百二十一萬九千九百六十石ニ實收高ヲ豫想サレテ居ルノデアリマス、平年作ニ比較シマスルト云フト、三百九十万七千九百十二石減セラレルノデアリマス、之ヲ昨年ニ比較シマスルト、五百五十萬八千三百石減ズルコトニナルノデアリマス、若シ之ヲ石當リ二十五圓トシマスルト云フト、昨年ニ比較シテ一億三千七百七十萬七千五百圓ノ米作ノ損害トナルノデアリマス、此外ニ畑ノ被害ハ青森縣ガ四百十三萬九千圓、岩手縣ガ六百四十八萬二千圓、宮城縣三百十三萬七千圓、秋田縣八十三萬三千圓、山形縣二百四十二萬四千圓、福島縣百三十四萬八千圓、合計シテ千八百三十六萬三千圓ト云フ畑ノ損害トナッテ居リマス、斯様ナエ合ニシテ、昨年ニ比較シマスルト云フト、一億三千七百七十萬七千五百圓ノ損害トナルノデアリマス、之ニ肥料ガ全部、即チ東北縣民ハ全精神、全努力、全資本ヲ總テ傾注

シタモノデアリマス、ソレガ即チ今ノヤウナ
工合ニ收穫ガ慘メナル状態ニ陥ツタノデア
リマス、之ニ對シテ肥料ハ田ガ五十五万五
百三十五町歩、段當リ三圓トシマシテモ千六
百五十一万六千餘圓ノ肥料ノ損害トナルノ
デアリマス、畑ノ方ガ三十三万九千四百町
三段アリマスルカラ、是ガ千十八萬圓バカ
リノ損害トナルノデアリマス、斯様ナ工合
ニ水田、畑ノ產物並ニ肥料、舉ゲテ非常ナ
損害ニナツテ居ルノデアリマス、今ヤ餓死線
上ニアリ、而シテ雪ハ本日マデ三日間吹雪
ガ吹キ通シデアリマス、一尺五寸乃至二尺
モ降ツテ居ル所ガアリマス、一昨日羽越線、
山形縣ノ鶴岡方面ニ於テハ、不幸ニシテ列
車ガ吹雪ノ爲ニ見透スコト能ハズシテ、鐵
道従業員ガ二人此爲ニ死シテ居リマス、一
人ハ重傷ヲ負ウテ居リマス、斯様ナ工合ニ、
帝都ハ和カニ陽氣デアリマスルニ反シ、東
北ハ斯ノ如キ損害ヲ受ケテ居ル上ニ、今ヤ
一尺五寸乃至二尺ノ雪ヲ負ウテ、爲スコト
能ハザル状態ニアルノデアリマス

〔議長退席、副議長著席〕

之ニ對シ只今ノ法案ガ現レタコト云フコトニ
付テ、私ハ總理大臣並ニ農林大臣ニ特ニ之
ヲ御尋センケレバナラスノデアリマス「昭
和九年產米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ
且冬季ニ於ケル應急土木事業ノ施行困難ナ
ルモノニ對シ交付セシムル爲關係道府縣ニ
對シ昭和十年三月三十一日迄總額五十万石
ヲ限リ」云々ト云フコトニナツテ居ルノデア
リマス、世ノ中デハ、新聞紙上ニ施米トサ

ヘモ言ハレテ居リマス、施ス米ト言ハレテ
居リマス、帝都ノ街頭到處ニ子供婦人、
有ユル人々ハ東北ノ爲ニ義捐金ヲ募集セラ
レテ居ル、此義氣ニ對シテ吾々衷心カラ感
激スル者デアリマス、併ナガラ東北ノ者如
何ニ貧スルトモ、亦東北人如何ニ鈍重ナリ
ト雖モ、僅ニ唯一回ノ凶作ニ依ツテ、決シテ
施米ヲ受ケントスル者デハアリマセヌ、斯
ウ云フヤウナ工合ニナラシメタル原因ヲ
遡ツテ考ヘテ、何故ニ東北六縣民ガ斯ノ如ク
ナラザルヲ得ナイヤウニナツタカ、而シテ政
府ガ五十万石ヲ昭和十年三月三十一日限ヲ
以テ之ヲ與ヘンケレバナラスヤウナ工合ニ
ナツタカト云フ原因ニ遡テ、私ハ所見ヲ述
ベテ總理大臣及農林大臣ノ所見ヲ伺ハンケ
レバナラスノデアリマス

此度ノ五十万石ハ「收穫高ガ平年作ノ半
ニ達セズ」云々トアリマス、サウシマスル
ト云フト凶作ノ爲ニ出スモノデアルト云
フ、即チ表題ニモ「凶作地ニ對スル政府所
有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案」トアリ
マス、凶作地デハアリマスルケレドモ、凶
作ナルガ故ニ五十万石ヲ出スノデアルカ、
凶作ノ爲ニ出ストシタナラバ、何ヲ以テ基
準トシテ五十万石ガ出タカ、私ハ之ニ付テ
私ノ見ル所ヲ申上ゲマス

昭和六年度大蔵省ノ調査ニ依リマス云
フト、一人當リノ生産額ガ東京府ガ百六十
九圓、税金ガ一人當リ三十四圓三十三錢、
二割三厘ノ税金トナツテ居リマス、第二番目
ハ山形縣デ、生産額ハ僅ニ七十九圓、税金

ガ十四圓七十九錢デ、一割八分七厘デアリ
マス、青森縣ガ三番目ニ高クシテ、生産額
ガ六十五圓、税金ガ十二圓五厘、一割八
分五厘ノ税金デアリマス、秋田縣ガ四番目
ニ日本デ高クテ、生産額ハ八十八圓、税金
ガ十五圓七錢デアリマス、割合ガ一割七分
一厘、第五番目ガ初メテ新潟縣ガ出テ來テ、
生産額ガ九十五圓、税金ガ十五圓三十錢、
一割六分一厘デアリマス、第六番目ガ宮城
縣デ、七十七圓ノ生産額デ、十二圓二十二
錢ノ税金デ、一割五分八厘トナツテ居リマ
ス、七番目ガ鳥取、島根、奈良デ、此三縣
ハ同ジ一割五分五厘ニナツテ居ル、八番目ガ
沖繩、九番目ガ鹿児島ト云フ順序ニナツテ、
十二番目ガ東北ノ福島縣デ、生産額ガ八十
三圓、税金ガ十一圓八十三錢、一割四分二
厘ノ税金デアリマス、而シテ十八番目ニ岩
手縣デ、生産額ガ八十一圓、税金ガ十圓三
十七錢、一割二分八厘ノ税金デアリマス、
三府四十三縣ノ中ニ於テ一番目東京ヲ除ケ
バ、二番目山形、三番目青森、秋田、新潟、宮城縣
ト、初メカラ高イ所ヲ軒並ニ占領シテ、十二
番目ニ福島縣、十八番目ニ岩手縣トナツテ居
リマス、一番目安イ方ヲ申シマスルト云フト、
岐阜縣ガ生産額三百五十一圓——生産額ガ
山形縣ノ七十九圓、青森縣ノ六十五圓ナド
ニ比較シマスルト云フト三百五十一圓、税
金ガ十三圓五十八錢、割合ハ僅ニ三分六厘
デアリマス、和歌山縣ハ其上ニ安クシテ生
産額百七十七圓、税金ガ十三圓五十四錢、
割合ハ七分六厘デアリマス、斯ウ云フ工合

ニ安イ所ト高イ所ガ甚シク違ツテ居リマ
ス、斯ウ云フノハ何ノ爲デアツタデアラ
ウカ、ソコデ全國ノ二毛作ヲ調べテ見マ
スルト云フト、東北區ハ——即チ東北
六縣、北海道ハ除ケテ居リマス、東北
區ハ田ハ二毛作出來ルカ出來ヌカト云フ
問題ニナルト云フト、四分一厘二毛シカ出
來テ居リマセヌ、關東區ハ二割四分九厘九
毛、北陸ガ二割三分八厘四毛、東山道ガ四
割七分三厘六毛、東海ガ四割九分一厘八
毛、近畿ガ五割九分七厘九毛、中國ガ五割
五分六厘三毛、四國ガ七割五分一厘六毛、
九州ガ七割六分六厘五毛トナツテ居リマス、
斯ウ云フ工合ニ稻ヲ作ル水田ガ一毛ノ所ト
二毛ノ所ガハッキリト分ル、此數字ハ本年發
表サレタ昭和七年度ノ調ノ農林省ノ統計デ
アリマス、斯ウ云フ工合デアアルニモ拘ラ
ズ、從來農林省デハ如何様ニ此水田ニ對シ
テ農事行政ヲヤツテ居ツタカト云フコトヲ見
マスルト云フト、裏作ノ獎勵ヲシテ居リマ
ス、獎勵金ヲ出シテ、東北ト雖モ決シテ裏
作、麥作ガ出來ナイモノデハナイ、或ハ綠
肥ガ出來ナイモノデハナイ、東北人ハ情ケ
者ダト言ハンバカリノヤウナ工合ニ、從來
ノ農林行政ガ力ヲ補助金ニ入レテ、東北方
面ノ裏作ヲ獎勵セラレテ居ツタノデアリマ
スルガ、中々ハ發達致シマセヌ、富山縣
デハ、本年ノ雪害ノ爲ニ富山縣一縣ダケデ
雪腐レトナツテ、田ニ植エテ居ツタ綠肥、紫
雲英ガ三百万圓ノ損害デアルト云フ雪害ノ
報告ヲ致シテ居リマス、斯ノ如ク富山縣ニ

於テサヘモガ縁肥ノ損害ヲ本年ノ雪ニ因ッテ被ッテ居ルノデアリマス、然ルニ之ニ反シ東北ニハ、從來農林省ガ水田ノ裏作ヲ獎勵セラレテ居ッタデアリマス、ソコデ先般内務省ニ開カレテ居ル雪害對策調査會デ、私ガ農林省當局ト問答致シタデアリマスガ、本當ニ是ハサウカ、確カニ出來ルカ出來ナイカ、從來ノ補助方針ハ誤ッテ居ルト云フコトヲ自覺セラル、カドウカ、此度ノ東北ノ冷害ヲ見マスルト云フト、先ヅ福島縣ノ南會津郡ニ參リマス、有名ナル南會津郡ハ三千五百六十尺ノ駒止峠、中山峠ヲ越エナケレバ其郡ニハ參ルコトノ出來ナイ所デアリマス、鐵道一ツモ無い、雪ガ他所ニ

ス、山形縣新庄町ニ農林省カラ新ニ出來マシタ積雪地方農村經濟調査所ノ所員ガ、熊鷹福島縣ノ南會津郡ニ參リマシタ五月十日頃ニ、尙ホ雪ガ苗代ノ上ニ滿面ニアッタコトハ農林省デ能ク御承知デアリマセウ、斯ウ云フ雪ヲ割ッテ、七万人ノ延人員ヲ使ッテ、始メテ苗代ヲ造ッタ所デアリマス、凶作ニナルノハ當然中ノ當然デアラネバナリマセウ、本年ノ凶作ハ東北六縣ノ山間部ハ十日間乃至二十日間、遅レテ居ル所ハ一箇月間苗代ヲ本田ニ植付ケル所ノ田植ガ遅レテ居ル、斯ウ云フ結果カラシテ、遂ニ本年ノヤウナコトニナッタデアリマス

アリマス、外氣ガ寒イト云フコトモ困リマスケレドモガ、外氣ノ方ヨリモ、地水ガ溫カカッタナラバ、マダ淺ギ易イデアリマース、然ルニ今申上ゲタヤウナ工合ニ、二十度一分アツクノガ十七度八分ニナリ、八月ノ暑イ眞最中ノ二十三度四分ノ昨年ノ水ガ、本年ハ僅ニ十六度五デアリマス、ドウシテ是デ稻ガ育チ得ルデアリマセウカ、是ハ何デアルカト申シマスルト云フト、皆雪デアリマス、山ニ降ッタル雪ガ、絶間ナシニ雪水トナッテ注ガレテ來ルデアリマス、何時デモ最上川ノ如キハ中ガ涸レテ河原ガ生ジテ徒涉ガ出來ルノガ、本年ハ徒涉ガチットモ出來ナカッタ、斯ウ云フ結果トシテ、即チ斯ノ如ク雪水ガ融ケテバカリ居ルカラシテ、此雪水ノ掛ッタル所ノ水田ガ悉ク滅亡ニ等シイヤウナ境遇ニナルノハ當然デアリマス、然ルニモ拘ラズ、此雪害ト云フ問題ハ昭和四年マデハ我が日本帝國ニハ會テ一回タリトモ問題ニナッタコトハナイ、雪害ナル字句

ナ界線ニナッテ居リマス、私ハ洵ニ是ハ當ラナイデ呉レ、便宜シイト思ッテ居リマス、此様ナ工合ニナッテ居リマス、又昨年ヨリ遼ッテ十七年間ノ日本ノ颱風及ビ颱風ヲ調査シテ見マスルト云フト——颱風トハ申上ゲルマデモナク、アノヤウニ近畿方面ヲ風害ニ陷レタ所ノモノデアリマス、颱風トハ西伯利、楊子江、黄河方面ヨリ襲ッテ來ル所ノ吹雪ヲ猛烈ニ含ンデ居ルモノデアリマス、此颱風及ビ颱風ガ十七年間歩イテ居ル所ノ道ヲ調査シテ見マスルト云フト、毎年々々少シモ是ガ間違ナク襲ッテ來ルデアリマス、サウシテ其襲ヒ方ハ東經百三十八度カラ百四十六度乃至百四十八度、北緯ガ三十八度乃至四十二度——南洋カラ來タ所ノ颱風デモ、比律賓方面カラ來ル所ノモノデモ、西伯利、黄河、楊子江流域カラ來ル所ノ颱風デモ、東經百三十八度カラ百四十六度乃至百四十八度、北緯三十八度乃至四十二度ノ所ニ悉ク集中スルデアリマス、而シテ、此北緯及ビ東經ノ經緯度内ニアル所ノモノハ何處デアリマセウ、悉ク新潟方面ヨリ月山、鳥海山及ビアレヲ横斷シテ岩木山ニ出テ青森縣ノ東ノ方面、或ハ岩手縣ノ宮古方面ノ海岸、總テ東北ニ集中シテ居ルデアリマス、颱風ハ決シテ我が日本ノ南ノ方ハ襲ッテ

僅ニ最近田島町マデ通ズルヤウニナリマシタガ、直グ裏山ガ山形縣最上郡ト同様ナ工合ニ悉ク國有林デアリマス、此南會津郡ニ於テハ本年ハ五尺乃至七尺ノ雪ヲ除イテ苗代ヲ造ル爲ニ、延人員七万人ヲ使ッタト云フコトハ、決シテ嘘デハナイデアリマ

之ヲ氣象方面カラ一ツ眺メテ見マスルト云フト、山形縣ノ最上川ノ中流ノ水温ガドシナ風ニナッテ居ッタカト云フト、昭和六年ノ七月ハ十九度三分アル、八月ハ二十四度九分アル、九月ハ十九度四分アル、七年ニハ同ジ七月ハ二十一度九分、八月ハ二十四度一分、九月ハ十九度七分、是ガドシナ風ニナッテ居リマス、八月ハ二十三度四分、九月ハ十九度九分、斯ウ云フ工合ニナッテ居リマサルガ、稻ガ育ツ上ニ一番大切ナ七月八月ニハ、八年ハ二十三度一分アツク最上川中流ノ水ガ、僅ニ本年ハ十七度八分シカナカッタ、八月ノ一番照盛リノ最モ「カロリ」ヲ稻ニ送ラナケレバナラス其水ガ十六度五分、前年ハ二十三度四分アル、本年ハ十六度五分アル、正ニ七度モ低イノデアリマス、全體稻ニハ何ガ一番大切カ、水デ

アリマス、外氣ガ寒イト云フコトモ困リマスケレドモガ、外氣ノ方ヨリモ、地水ガ溫カカッタナラバ、マダ淺ギ易イデアリマース、然ルニ今申上ゲタヤウナ工合ニ、二十度一分アツクノガ十七度八分ニナリ、八月ノ暑イ眞最中ノ二十三度四分ノ昨年ノ水ガ、本年ハ僅ニ十六度五デアリマス、ドウシテ是デ稻ガ育チ得ルデアリマセウカ、是ハ何デアルカト申シマスルト云フト、皆雪デアリマス、山ニ降ッタル雪ガ、絶間ナシニ雪水トナッテ注ガレテ來ルデアリマス、何時デモ最上川ノ如キハ中ガ涸レテ河原ガ生ジテ徒涉ガ出來ルノガ、本年ハ徒涉ガチットモ出來ナカッタ、斯ウ云フ結果トシテ、即チ斯ノ如ク雪水ガ融ケテバカリ居ルカラシテ、此雪水ノ掛ッタル所ノ水田ガ悉ク滅亡ニ等シイヤウナ境遇ニナルノハ當然デアリマス、然ルニモ拘ラズ、此雪害ト云フ問題ハ昭和四年マデハ我が日本帝國ニハ會テ一回タリトモ問題ニナッタコトハナイ、雪害ナル字句

ナ界線ニナッテ居リマス、私ハ洵ニ是ハ當ラナイデ呉レ、便宜シイト思ッテ居リマス、此様ナ工合ニナッテ居リマス、又昨年ヨリ遼ッテ十七年間ノ日本ノ颱風及ビ颱風ヲ調査シテ見マスルト云フト——颱風トハ申上ゲルマデモナク、アノヤウニ近畿方面ヲ風害ニ陷レタ所ノモノデアリマス、颱風トハ西伯利、楊子江、黄河方面ヨリ襲ッテ來ル所ノ吹雪ヲ猛烈ニ含ンデ居ルモノデアリマス、此颱風及ビ颱風ガ十七年間歩イテ居ル所ノ道ヲ調査シテ見マスルト云フト、毎年々々少シモ是ガ間違ナク襲ッテ來ルデアリマス、サウシテ其襲ヒ方ハ東經百三十八度カラ百四十六度乃至百四十八度、北緯ガ三十八度乃至四十二度——南洋カラ來タ所ノ颱風デモ、比律賓方面カラ來ル所ノモノデモ、西伯利、黄河、楊子江流域カラ來ル所ノ颱風デモ、東經百三十八度カラ百四十六度乃至百四十八度、北緯三十八度乃至四十二度ノ所ニ悉ク集中スルデアリマス、而シテ、此北緯及ビ東經ノ經緯度内ニアル所ノモノハ何處デアリマセウ、悉ク新潟方面ヨリ月山、鳥海山及ビアレヲ横斷シテ岩木山ニ出テ青森縣ノ東ノ方面、或ハ岩手縣ノ宮古方面ノ海岸、總テ東北ニ集中シテ居ルデアリマス、颱風ハ決シテ我が日本ノ南ノ方ハ襲ッテ

此旋風及颶風ノ襲テ來タ所ノ十七年間ノ統計ヲ申上ゲマス、旋風ハ一月ニハ三十回、二月ニ三十二回、三月ニ四十回、四月ニ四十回、五月ニ三十九回、六月ニ三十七回、夏ニナッテ少シ雪ガ降りマセヌカラシテ、七月ニハ二十回、八月ニハ六回、九月ニハ十五回、十月ニハ十九回、十一月ニナッテ又多クナッテ、二十九回、十二月ニハ三十五回、颶風ガ來マス、又南洋方面カラ來テ我が日本ノ南ノ方カラ襲フ所ノ颶風ハ、一月ニハ五回、二月ニハ三回、三月ニハ三回、四月ニハ三回、五月ニハ十回、六月ニハ七回、七月ニハ二十三回、八月ニハ三十四回、九月ニハ三十回、十月ニハ二十五回、十一月ニハ十回、十二月ニハ七回、斯様ナ工合ニハ颶風及颶風ノ著シイモノガ過去、昨年カラ十七年間ヲ統計シマスルト此様ニナル、此様ニナッテ、而シテ皆悉ク東經百三十八度カラ百四十六度乃至百四十八度、北緯三十八度乃至四十二度ノ所ニ集中スルモノデアルト云フコトヲ全體我が日本ノ文部行政官或ハ農事行政官、兎ニ角日本ノ政府デハ此様ナ工合ニ少シモ間違ナク來ル所ノモノニ向ッテ如何ナル注意ヲ拂ッテ居ッタカト云フコトガ、此五十万石ノ問題ト最モ關聯スル問題デアリマス

諸君、東北ノ農民ガ、ヤレ今年ハ好カッタト言ウテ、豐作デ喜ブ時ニ於テハ、米ガ安クナッテ何處ガ喜ビマセウカ、大阪或ハ東京ナドノ市街地ノ消費者ニ取ッテハ、東北農民ガ豐年滿作ダト言ウテ喜シデ居ッテ、米ヲ

持テ餘シテ安クテ困ッテ居ル時ニ喜ブノハソレ等ノ都會ノ消費者デアリマス、東北ノ農民ガ、凶作ノ爲ニ米ガ穫レナイ、食フ物モ食フコトガ出來ナイ餓死線上ニ彷徨センケレバナラスト云フ時ニ於テ、然ラバ何人ガ、喜ブノデアアルカト申シマスル云フト、凶作ニ罹ラナイ方面ノ農民ガ、收穫ガ相當ニ多クナッテ喜ブノデアリマス、東北ノ農民コソガ、日本ノ米ヲ左右スル所ノ「パロメーター」タル農民デアリマス、農作ニ於テハ米ヲ有ッテ安クナッテ困リ、凶作ニ依ッテハ外ノ人ガ喜ブノハ結構デアリマスケレドモガ、自分ノ方ハ食フニ食ハレナイト云フヤウナ状態ニ置カレテ居リマス、斯ノ如クニナッテ居ル、然ルニ我が日本ノ稅制方面ニ於テハドウデアッタカ、今日マデ日本ノ稅ハドウナッテ居ルカ、先程申上ゲマシマスヤウナ工合ニ、生産額ト稅トノ比較ヲ申シマスルト云フト、悉ク高イ所カラ軒並ニ之ヲ東北人ガ占メテ居ルト云フ半面ニハ、收入ノ少クシテ支出ノ多イコトガ分ッテ居ルノデアリマス、一毛作ト二毛作ガハッキリ分ッテ居ルニモ拘ラス今日マデノ稅ハ劃一デアリマス、全ク稅ニ付テ甲乙差等ヲ付ケナカッタノデアリマス、斯様ナ工合ニナッテ居リマスルガ故ニ、地租ニ對スル制限外課稅ヲ調ベテ見タナラバ、福島縣ヲ第一等トシ、秋田、山形、青森、岩手、宮城ト云フヤウナ順序ニ、東北六縣ノミガ地租ニ對スル制限外課稅ガ夥シクアルト云フコトハ、數字ガ之ヲ明ニシテ居ルノデアリマス、然ル

ニ半面ニ於テハドウヤウナ工合ニナッテ居ルカト申シマス、私ノ調べタル所ニ依レバ、諸君ノ御手許ニハ差上ゲルコトハ甚ダ申シ難マスガ、之ヲ全國ノ人ニモ聽イテ戴キタイ爲ニ東北人トシテ之ヲ慫ヘルノデアリマスカラ、重複ノヤウデアリマシタルドモ御許シテ願ヒマス、私が調べマシタル所ニ依リマスルト、山形縣下ニ於ケル凶作飢饉ハ元明天皇ノ和銅五年紀元千三百七十二年カラ始ッテ、日本ノ凶作史ヲ調べタナラバ皆悉ク東北ノ凶作ガ述べテアルノデアリマス、殊ニ天明ノ如キハ天明三年、四年、六年、七年ト續イテ居リマスガ、是ハ顯著ナルモノ、ミガ覺ッテ居ルノデアリマス、殊ニ天保ニ參リマシテハ、天保元年、三年、四年、五、六年、七年、八年、九年、元年カラ九年マデ續イテ居ルノデアリマス、青森縣、岩手縣ハ更ニ是ヨリモ甚シイノデアリマス、更ニ明治ニナッテカラ凶作不作ヲ調べマスルト云フト、明治元年、二年、六年、七年、十年、十一年、十二年、十三年、十五年、十六年、十七年、十八年、十九年、二十年、二十二年、二十五年、二十七年、二十九年、三十年、三十一年、三十五年、三十八年ニハ實ニ東北ハ大ナル飢饉デアリマス、四十二年、四十四年、大正ニナッテカラハ甚ダ少クナッテ喜バシイコト、ナッタノデアリマスガ、大正元年、二年、七年、十五年トナッテ居リマス、昭和ニナッテ六年、九年ガアルノデアリマス

斯様ナ工合ニ、明治ニナッテカラ三十一回ノ不作凶作ニ對シテ、明治以來ノ政府ハ如何様ニ取扱ッタカト云フ問題デアリマス、斯クノ如ク氣流、氣象、或ハ颶風、颶風或ハ稅方面、斯ノ如ク凶作ノ年表ヲ調べテ見マシタナラバ、之ニ對シテ農林當局或ハ政府當局ガ、東北ニ對スル所ノ適當ナル調査、適當ナル施設ガ爲サレネバナラナカッタト信ズルノデアリマス、然ラバ何ヲシタカ、先般農林大臣ガ此壇上デ御説明ニナラレマシタガ、東北方面ハ科學的ニ相當ニ改善スベキ、或ハ防止スベキ所ノ手段ガ出來ルデアラウト云フ事ヲ申サレタノデアリマス、私モ左様ニ存ズルノデアリマス、雪害問題ハ昭和四年ノ春、本議場ニ於テ問題ニナッテカラ、屢々本問題ニ付テハ諸君ノ御同情モ得テ、問題化シテ來タノデアリマスルケレドモガ、斯ノ如キ事實上ノ凶作ニ付テ、相當ナル今日迄施設ヲ爲シテ居ッタナラバ、決シテ今日ノ東北ニ凶作ナドハ出來ルモノデハナイ、假令起ッテモ、或ル程度迄ハ之ヲ防止シ得ベキ事ガ斷然トシテ出來ルト云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ今日迄之ヲ爲サズシテ、而シテ今日ノヤウナ境遇ニ陥レタト云フコトニ對シテハ、其責任何レニ在リヤ私ハ同ハネバナラスノデアリマス、是ガ總理大臣ニ御尋シタイ點デアリマス

全體今日迄、政府ハ東北ニ關スル根本認識ハアツカドウカ、此認識ト云フモノニ基イテ、施設ヲ怠ラナカッタカドウカ、怠慢ニ依ッテ得タ所ノ損害、故意ニ爲スベキモノヲ

爲サズシテ、損害ヲ與ヘルト云フ事ニ付テハ、當然ナル賠償ハ當リ前デアルト私ハ思フノデアル、私ノ淺薄ナル法律知識ニ依リマスと云フト、刑事補償法ニハ無罪ニナツタ時ニハ一日三圓ノ割合ニ依ツテ之ヲ賠償スルト云フコトニナツテ居リマス、一日三圓宛ノ割合デ以テ賠償スルト云フヤウナ工合ニ、刑事補償法ガ時代ノ進歩ト共ニ是ガ出來タノデアリマス、時代ノ進歩ニ伴ウテ、一日三圓ノ割合デ以テヤルト云フヤウナ——東北民ハ此様ナ工合ニ、明治ニナツテカラモ三十一回ノ凶作不作ガアリ、或ハ過去十七年間ノ颱風、旋風ノ赴ク所、或ハ集團スル所ガ分ツテ居ルニモ拘ラズ、各種方面ノ學術ヲ應用シ、國家ノ各機關ガ働イタナラバ、適當ニ防止シ得ベキ所ノ其東北ノ凶作ニ對シ、其凶作ノ損害ニ對シテハ何等是ガ賠償ヲ爲サナイト云フヤウナコトハ、此刑事補償法ガ一人當リ一日三圓宛サヘモ補償スルト云フコトデアルナラバ、其凶作ノ損害ニ付テ賠償スベキハ當然ノコトデアルト私ハ思フノデアル(拍手)東北人ハ之ヲ言フダケノ權利ガアルト思フノデアル(拍手)次ニ五十万石ノ此量デアリマスルガ、何ヲ基礎トシテ算定セラレタノデアルカラ私ハ伺ヒタイノデアリマス、全體此五十万石ハ畏多クモ 陛下ノ御下賜金五十万圓ヲ基準トシテ、政府ノ百數十万圓ノ支出ニ依ツテ初メテ出來マスル所ノ郷倉ト、密接不可分ノ關係ガアルノデアリマス、然ラバ此郷倉ノ問題ハ週ニ歴史ヲ考ヘンケレバナラスノデアリマス、郷倉ハ明治五年十月、十三

年一月内務省達、十三年六月十五日布告デ實施セラレテ居リマス、十三年一月ノ内務省達ヲ讀ミマスルト、從來官民歩合ヲ以テ創設シタル郷倉ハ、自今其町村ノ共有トシ、凶荒豫備米等蓄積ノ用ニ供セシメ、徒ニ廢棄スベカラズトアリマス、又十三年六月十五日布告ヲ以テ備荒儲蓄法左ノ如ク定メタリ、十四年一月一日ヨリ施行ス云々ト書イデアリマス、是ガ明治三十二年ニナリマスルト、ドンナ工合ニナツタカト申シマスルト、明治三十二年備荒儲蓄法ガ廢止サレ、府縣制ノ施行ニ伴フ部落有財產ノ統一ガヤカマシクナツタ結果、遂ニ郷倉ノ姿ガ消エタ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアル、此度ノ凶作ニ對シ 陛下ノ御下賜金ニ依ツテ郷倉ヲ創設スルト云フ此郷倉ガ、斯ノ如キ歴史ニ依ツテ明カナルガ如ク、明治以來幕府時代、遡ツテ千數百年前ヨリ郷倉ノ制度ガアル、此郷倉ガ今日ノヤウニ金納ニアラズシテ、米デ納メタル所ノ親倉デアッタ、種々變遷シテ郷倉ガ或ハ義倉トナリ、種々變ツタノデアリマスケレドモガ、明治ニ迄殘ツテ、此様ナ工合ニナツテ十三年六月十五日ノ布告ヲ以テ、今ノヤウナ工合ニマデモ達シタル所ノ其モノヲ、明治三十二年廢廢ノ如ク之ヲ棄テ、シマッタノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウナ工合ニ、我ガ日本ノ税金ガマルデ劃一デアル、一毛作デアルニモ拘ラズ、二毛作三毛作地ト全ク同一ナル課稅ヲセラレテ居ツタ、此事サヘモガ即チ劃一ノ惡政治ノ標本デアリマス、況ヤ只今申上ゲマシタ

郷倉ノ制度ノ變遷ヲ追ツテ見マスルト、東北ト云フモノニ對スル政府ノ認識ガ全ク缺如シタル結果トシテ、遂ニ郷倉ガ廢止トナツテ、此度ノヤウナ凶作ニ於テ周章狼狽スルト云フヤウナ工合ニナリ、東北八百万人ノ民ヲ餓死線上ニ彷徨セシムルヤウナ工合ニモ致サシメタル所ノ、其原因ヲ遡ツテ考ヘルト云フト、我ガ日本ノ行政ガ東北ノ認識ガ全ク根本的ニ誤ツタ結果カラ出タト云フコトハ、此郷倉ノ制度ヲ廢メテ、而シテ此度郷倉ノ制度ヲ作ラナケレバナラスト云フコトニ依ツテモ明カナルモノデアリマス 斯ウ云フ工合ニナツタナラバ、即チ東北人ヲシテ無理ニ困ラセルヤウナ工合ニ、マルデ追込シテ置イテ、難カシイ所ニ苦シマセルヤウナ工具ニ、行政機構各般ガ東北ヲシテマルデ押リニ掛ケテ行クヤウナ工合ニ、油ヲ搾ルヤウナ工合ニシタモノデアルト云フヤウニ若シ言フ者ガアルナラバ、甚ダ殘念デアルケレドモ仕方ガナイ、昨日中野君ガ此壇上ニ於テ申サレタノデアリマスガ、東北民ハ今日迄實ニ御人好シデ何モ言ハナイカラダト申サレテ居リマシタガ、私ハ左様カモ知レヌト思フノデアリマス、併ナガラ私ハ、東北民ハ始メテ今回ハ權利ヲ主張スルノデアリマス、施米ヲ貰ハウトハシナイノデアル、政府ノ怠慢ニ依ツテ、政府ノ爲スベキ當然ノ事ヲ爲サズシテ、東北人ヲシテ強テ此様ナ窮境ニ陷レル所ノ其モノニ對シテ、吾々東北民ハ全權利ヲ主張シテ、損害賠償ヲ要求スルノハ當然デアルト

私ハ思フノデアル(拍手) 我ハ昭和七年一月一日ニ第二ノ雪害建白書ヲ出シテ居リマスルガ、其中ニハ「東北ノ雪國民、稚心ニシテ愛スベク、鈍重ニシテ拙スベク、無知ニシテ憐ムベク、未ダ憲政本義ノ權利ヲ善解セズ、進シテ暢達ノ途ヲモ求メズ、又連年雪害ニヨル經濟彈力ノ微弱ハ、一度凶作ニ逢フヤ遂ニ草根木皮ヲ食スルニ至リ、雪害亦恢復ヲ阻ミテ容易ニ立直ルヲ得ザルニ、再ビ三度、凶作ハ周期的定石法ノ如ク猛襲ス、然ルニ政府ハ降雪積雪ヲ災害ト認メズ、凶作ノ遠因障力ハ雪害ニアルベキヲ努メテ知ラザラントスルニ近シ、而シテ一時的表现ノ凶作ヲ捉ヘテ、義捐、救濟ヲ叫ブトハ何ゾヤ、夫レ政府ハ爲スベキ責務ヲ怠リ、其ノ此處ニ到ラザルヲ得セシメテ、却テ天爲ニ轉嫁シ、恩ヲ雪國民ニ賣リ、彼等ヲ驅ツテ叩頭哀願ノ卑屈心ヲ培養セントスルモノ、如シ、誤レルノ甚シキ天下未ダ斯ノ如キモノアルヲ見ズ、政府ハ唯速カニ正常ノ事ヲ正シク爲セバ可也」私ハ斯様ニ斷ジテ居リマス、吾々雪國民ハ——吾々東北民ハ今日迄實際ニ、未ダ曾テ權利ヲソレ程ニ主張シテ居ラナイノデアル、此度ハ權利ヲ主張スルノデアリマス、昨日中野正剛君カラ、東北人ヲシテ乞食同様ニスルト云フコトハ何事ダト云フヤウナ御説ガアリマシタガ、私ハ實際中野君ニ謹ンデ敬意ヲ表シタノデアリマス、其通りデアル、斷ジテ吾々東北民ハ乞食デハナイ、吾々ハ多クヲ望マウトスルモノデハナイ、今

日迄爲スベキコトヲ政府ガ爲シタカト云フ
コトノ問題デアル、弱クシテ、溫和シクシ
テ、オ腹ガ空イテモ黙ッテジツシテ、物ニ
向ッテモ從順ニ之ヲ聽キ、兵隊ニ出テハ飽迄
最後ノ任務ヲ果スベク、斷ジテ其處ヲ退カ
ナイト云フヤウナ工合ニ、實際ニ東北民
ハ、此様ナ工合ニ從順デアリマス、今回ノ
凶作ニ遭ッテ、アノ薄ノヤウニ立ッテ居ル所
ノ稻、全ク秋風ニ吹カレテ、薄ノヤウニ
ナッテ居ル、アノ稔ラナイ稻、アレヲ眺メテ
モ東北人ハ之ヲ政府ニ依ッテ助ケテ貰ヘル
モノダナド、云フ考ハ持ッテ居ラナイノデ
アリマス、政府ニ頼ラウトモシナイ、政府
ガドウカシテ呉レルモノダトモ思ッテ居リ
マセヌ、ソレ程マデニ實ニ純情ナモノデア
リマス、幼稚ナモノデアリマス、此幼稚ナ
モノ、此純情ナモノヲ何ガ故ニ今日マデ
默ッテ居タカ、何故ニ政府ガ爲スベキコトヲ
爲サズシテ、今日マデ來タノデアルカ、私
ハ斯様ニ思フノデアリマス、當然ノコトモ
要求シナカッタカラ、何事モシナイト云フヤ
ウナコトデアッタナラバ、是レ即チ政府自ラ、
東北人ニ向ッテ要求ヲシロ、若シ合法的ノ手
段デハイケナイナラバ、非合法ノ手段デモ來
イト言ハスバカリデアルト私ハ思フノデア
ル、東北人ニ向ッテ非合法ノ手段ヲ政府自ラ之
ヲ強ヒルモノデアル、教ヘルモノデアルト云
フヤウナ工合ニ思ハシメタナラバ、實ニ容易
ナラヌコトデアラウト思フノデアアル

葉ガアリマシタガ、私ハ之ニ付テハ若干ノ
實情ヲ申上ゲマス、最下級ノ東北人ハ、今
日ハ稍、其所ヲ得テ居ルヤウデアリマス、
併ナガラ此下層民デナイ所ノ者、先ヅ其一
ツノ例ヲ申上ゲマスト一万二千俵ノ小作米
ガ入ッテ居ル所ノ地主ハ、本年ハ約三千俵
乃至四千俵ノ收穫シカアリマセヌ、此一萬
二千俵ノ收入ガアルベキ小作米ガ、三千乃
至四千俵シカ入ラナイト云フ此地主ハ、ド
ンナ工合ニナッテ居ルカト云フト、決シテ借
金ヲ持ッテ居ラナイ者デアリマセヌ、況ヤ
自作農及ビ中流ノ地主ノ如キハ、悉ク擔保
ニシテ金ヲ借りテ居ルノデアリマス、然ル
ニ拘ラズ政府ノ土木事業、救農事業等ガ各
町村ニ行ハル、際ニ當ッテ、優先的ニ之ニ
從事シテ工賃、働キ賃ヲ取ル所ノ者ハ誰デ
アルカト云フト、最下層ノ者ニ優先的ニ行
クノデアリマシテ、此自作農及ビ中流ノ地
主ハ、從來ノ慣例カラ言フテモ、之ニ參加
スルコトハ全ク實情ガ之ヲ許サナイノデア
リマス、此様ナ工合ニ半面ニハ實ニ東北ノ
中流地主及ビ自作、小作、殊ニ自作農ノ如
キハ殆ド全滅ノモノデアリマシテ、毎日毎
日何ヲ賣ッテ宜イカト云フヤウナ工合ニ、
賣ルコトニノミ依ッテ之ヲ凌ガウト云フ狀
態ニアル實情デアリマス、又中小商工業者、
殊ニ小商工業者ニ至ッテハ、農民トノ依存關
係ニ依ッテ、生活シテ居ルノデアリマスル
ケレドモガ、農民ガ先程申上ゲタヤウナ工
合ニ悉ク收入ガナクナッタノデアリマスルカ
ラシテ、購買力ハナイノデアアル、購買力ガ

ナイカラシテ、洵ニ困ッテ居ルニモ拘ラズ、
世ノ中ハ中々薄情デアリマシテ、東北ハ凶
作ダ凶作ダト云フ此聲ニ依ッテ、中央或ハ大
阪方面ノ商業關係者ハ、現金取引デナケレ
バ少シモ寄越サナイト云フコトニナルノデ
アリマス、從來ノ掛賣ハ出來ルダケ回收ニ
力ヲ用ヒラレ、而シテ新ニ仕入レル所ノモ
ノハ、悉ク現金買入ニアラザレバ出來ナイ
ト云フコトニナルノデアリマス、而シテ半
面ニ於テハ、少シモ購買出來ナイヤウナ農
民ノ疲弊狀態デアリマスカラ、玆ニ出テ居
リマス昭和九年度產米ノ收穫高ガ、平年作
ノ半ニ達セズト云フコトニナルト、單ニ米
ノ問題ダケニ止マラズ、今申上ゲタヤウナ
問題ニナッテ、依存關係上殆ド不可分のニ、
東北ニ於テ困ッテ居リマスルモノハ、何等救
ヒノ途ガナイト云フ結論ニ達スルコトヲ、
農林當局或ハ總理大臣ハ之ヲ確リト御認メ
ニナルカドウカ、農林大臣ハ單ニ米ノ問題
ノミニ依ッテ東北ガ活キ得ルモノデアルカ
ドウカト云フコトヲ、親シク御考ニナラナ
ケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマ
ス、又同時ニ滿堂ノ各位ニ於カレマシテモ、
東北ノ此度ノ凶作ハ、斯ノ如ク約二億圓ニ
近い所ノ損害ヲ受ケテ置イテ、而モ是ガ回
復力ノアル所ノモノナラバ宜シイノデアリ
マスケレドモ、明治ニナッテカラダケデモ、
三十一回ノ凶作ニ遭ッテ、押セ／＼ニナッテ
來テ、回復力全クナクナッテ居ル所ノモノニ
向ッテ、此ヤウナ平年作ノ半ニ達シナイモノ
ノミガ救ハレルヤウナ工合ニナッテ、其以外

ノモノハ閑却サレルト云フヤウナコトハ、
果シテ政治ノ公平ヲ得タルモノデアルト云
フコトハ出來ナカラウト信ズルモノデアリ
マス
更ニ私ハ是カラ飯米ノコトヲ申上ゲネバ
ナラヌノデアリマス、福島縣ノ南會津郡デ
アリマスルガ、先程申上ゲマシタヤウナ工
合デ、此全部ノ飯米ノ不足ガ三萬四千三百
八十一石トナッテ居リマス、一郡デ三萬四千
三百八十一石デアリマス、福島縣南會津郡
一郡ダケデ、三萬四千三百八十一石ガ、即
チ明年十月マデノ飯米ガ不足トナル數デア
リマス、更ニ山形縣ノ最上郡東小國村ト云
フノハ、諸君モ新聞紙上ニ於テ御承知下サ
ルヤウナ工合ニ、私トシバハ實ニ心苦シイ
話デアリマスケレドモ、今日此村ニ於テハ、
作付段別ガ田ガ七百二十七町歩デアリマス、
平年作ナラバ一萬二千七百七十九石收穫スル
ノデアリマスルガ、本年ハ僅ニ千九百十六石
シカ穫レヌノデアリマス、七百二十七町歩ノ
田ヲ以テ千九百十六石シカ穫レナイノデア
リマス、差引一萬八百六十三石ダケ少イノ
デアリマス、此東小國村ハ直グ裏山ガ國有
林デアリマス、明治ノ初メニ於テ國有林ト
ナッタノデアリマス、今日東北ノ國有林ガ、
即チ秋田、青森營林局管內ニ於テ、全國ノ
國有林ノ純益約九百萬圓ノ中六百二十萬
圓ヲ上ゲテ居ル、是ガ東北六縣ノ國有林ノ
收益デアリマス、其國有林ヲ裏山カラ直グ
持ッテ居リマスルノガ此村デアリマス、先程
申上ゲマシタ福島縣ノ南會津郡モ同様デア

リマス、此國有林ヲ直グ裏山ニアツテ、僅ニ田ニ依ツテ生キテ居ルノデアリマスルガ、今凶ノ凶作ニ依ツテ、一日大人モ子供モ平均シテ三合宛ト見テ居リマス、皆枴ノ實、枴ノ實、或ハ牛蒡ノ葉、山百合ナド勿論デスケレドモガ、山ト云フ山ノ產物ヲ悉ク取集メテ、大概今日東小國村デハ、枴ノ實ヲ一軒ノ家デ二三合、即チ四十石位ハ有ツテ居リマス、此ヤウナ工合ニ枴ノ實ヲ有ツテ居リマスル所ノ其東小國村デハ、人口ガ八九百人アリマス、一日一人ニ付キ三合ノ飯米トシテ、外ノ物ヲ混食スルノデアリマスルカラシテ、一日三合宛シカ米ヲ食ハナイトシマシテ、一箇月八百一石要リマス、一年ニハ九千六百十二石要リマス、然ルニ本年ノ米ハ千九百十六石シカ獲レヌノデアリマスルカラシテ、結局不足米ガ七千六百九十六石ト云フコトニナルノデアリマス、僅ニ一村ニシテ八千石ニ及ブ所ノ飯米ガ無いノデアリマス、此東小國村ハ此外ニ五萬二千八百圓ダケノ借金ヲ——村債ヲ有ツテ居リマス、又村稅ノ滯納ハ一萬五千五百二十五圓デアリマス、斯ノ如クニアルニモ拘ラズ、教育費ガ二萬八千四百四十四圓掛ルノデアリマス、教育費ノ國庫下渡金ガ之ニ對シテ、一萬七千四百四十圓アルノデアリマシテ、結局村ノ負擔トシテ、教育費ノ爲ニハ一萬一千餘圓ヲ支出セナケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如ク一萬五千五百圓ト云フヤウナ村稅ノ滯納アリ、村債アリ、而シテ收入ガナイ、教育ガ此通りデアアル、今日大概東

小國村邊リニ於テハ、尋常小學校ノ女子供ハ五十圓乃至七十圓位デ、年期奉公ニ全部出タト云フヤウナ工合ニナツテ居リマス、先程此壇上デ文部大臣カラシテ、高等小學校ナド廢止シテ居リマセヌト申サレテ居リマスルガ、殆ド事實上ニ於テ高等小學校ガ閉止ノ狀態ニナツテ居ルノハ、マダ御承知アラセラレナイヤウデアリマス、更ニ岩手縣ノ和賀郡ノ岩崎村、作付段別ガ四百七十七町歩ノ田ガアリマス、畑ガ四百八十七町歩、平年作ナラバ八千五百八十六石獲レルノデアリマスガ、本年ハ僅ニ千四百三十一石シカ獲レマセヌ、差引七千五百五十五石不足スルノデアリマス、人口ガ五千六百八十八人、一人一日當リ三合宛トシマスルト、一箇月六百二十石、一年ニ七千二百二十四石ダケ不足スルノデアリマス、此村ハ實ニ御氣ノ毒デアリマシテ、村カラシテ外ニ出稼シテ居ル者ガ男ガ千人、女ガ三百人アリマス、其女三百人ノ中、二十人ハ娼妓トナツテ働イテ居ルノデアリマス、實ニ村民全部ノ借金ガ、岩崎村ニ於テハ四十萬五千圓アル、一戸當リ六百圓デアアル、本年十月一日ニ飯米ガ全部無い所ノ家ハ、全戸數八百三十四戸ノ中、六百四十戸マデガ十月一日ニハモウ飯米ガ無クナツテシマッタ、又滯納ノ方ヲ調べテ見ルト、國稅ガ千圓、縣稅ガ五千圓、村稅ガ七千圓、農會ヤ水利組合、其他ノモノガ千圓ト云フ工合ニナツテ居リマス、諸君、此ヤウナ工合ニツツノ村ヲ拾ツテ見タナラバ、到ル處ニ於テ其慘狀ヲ見ルコトガ

出來ル、察スルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ拘ラズ僅ニ五十萬石ダケヲ東北民ニ施シ米ノ糶米トシテ、之ヲ分配シヨウト云フヤウナコトハ、如何ナル點カラ割リ出サレタノデアリマセウカ

諸君、私ハ此様ナ工合ニナツテ居ルト同時ニ、又内務省ニ於テハ——本年東北六縣ガドノヤウナ工合ニ收入ノ缺陷ガ出ルカト云フコトヲ申上ゲンケレバナラヌノデアリマス、青森縣デハ本年即チ昭和十年度ニ於テ取ルコトノ出來ナイ縣稅ガ二十七萬四千四百九十一圓、町村稅ガ五十八萬三千七百四十圓、岩手縣デハ、四十八萬千八百八十四圓ノ縣稅……〔簡單々々〕ト呼フ者アリ〕諸君、モウ少し聽イテ戴キマス、岩手縣ノ町村稅ノ滯納ハ三十六萬三千七百十三圓、宮城縣ガ三十五萬八千七百九十一圓ノ縣稅、五十萬九千七百五十一圓ノ町村稅、秋田縣ガ十八萬七千七百八十八圓ノ縣稅、町村稅ガ三十八萬三千八百四十九圓、山形縣ガ縣稅ガ三十三萬二千九百六圓、町村稅ガ四十四萬七千四百七十六圓、福島縣ノ縣稅ガ二十九萬八千五百八十二圓、町村稅ガ三十九萬八千四百十七圓、之ヲ合計シマスルト、東北六縣ニ於テ四百六十一萬七千五百八十八圓ダケハ縣稅、町村稅ニ於テ取ルコトガ出來ナイノデアリマス、一方ニ於テハ各町村ノ教育費ガ、其半額乃至六割ヲ占メルノデアリマス、而シテ此通りニ町村稅、縣稅ハ到底取ルコトノ出來ナイモノデアリマス、而シテ損害額ハ前申上ゲタヤウナ工

合ニナルノデアリマス、斯ノ如クニシテ五十萬石ヲ石二十五圓當リニシマスルト、千二百五十萬圓ニナルノデアリマス、二億圓ニ近イ所ノ損害ヲ、政府ガ爲スベキ當然ノ事ヲ爲サズシテ、故意ニ怠慢シタト云フ所ノ結果ニナツテ、何等ノ施設ヲ爲サズシテ、而モ維新當時ヨリ明治三十年マデ存在シテ居ッタ郷倉ノ制度ヲ、認識不足ヨリシテ之ヲ全廢セシメテ置イテ、サウシテ今日ノヤウナ工合ニ餓死線上ニ置イテ、ドウシテ是ガ僅ニ五十萬石ノ千二百五十萬圓ヲ以テ、損害ノ僅ニ五分ニ匹敵スルヤウナモノヲ預ケテ置イテ、是デ以テ東北民ニ我慢セヨト云フニ至ツテハ、本當ニ血ノ無い所ノ政治デアルト私ハ申上ゲテ宜シイト思フ、吾々ハ決シテ此施米ヲ要求スルノデハナイ、本年五百五十八萬八千三百石ガ減收ニナツテ居ルノデアアル、昨年ハ救農土木事業ガ三年計畫トシテ相當ニアツタノデアリマス、相當ニアツテサヘモガ、尙且ツ東北ガ借金ヲ拂フコトモ出來ナイト云フヤウナ狀況ニアル、其東北ガ本年ハ五百五十八萬八千三百石、之ヲ假ニ石二十五圓當リニ換算スルト云フト、一億三千七百七十七萬七千五百圓デアリマス、之ニ二千萬圓ノ畑、二千萬圓ノ肥料、税金、各方面ノコトヲ考ヘテ見タナラバ、ドウシテモ吾々ハ東北人トシテ當然ノ權利ヲ主張シテ、此際五十萬石位デハ勘辨スルコトノ出來ナイモノデアルト云フコトハ、決シテ東北人ノ我慾カラ出タモノニアラズシテ、當然中ノ當然ナル結論ト言ハザルヲ得

ナイト思フノデアリマス、何程一年間ニ移出シテ居タカト申シマス云フト、年々移出シテ居リマシタ米ガ三百八十五万石位、是ガ東北六縣デ移出シテ居ル過去五箇年ノ平均デアリマス、東北六縣ノ移出ノ總量ガ平均シテ三百八十五万石デアリマス、此三百八十五万石ヲ毎年々々移出シテ、即チ澤山穫レタ時ニハ東京、大阪方面ノ市街地ノ消費ニ安イ米ヲ供給スルヤウニシテ喜バシメ、不作ニナツタ時ニハ自分ガ苦シデ、自分ガ高イ米ヲ買ツテ食ハナケレバナラヌヤウナ工合ニナツテ、他ノ日本ノ農民ノ方々ニハ收入ヲ多カラシムルヤウニシテ喜バシメテ居リマス所ノ、此日本ノ米ノ「バロメーター」トナル所ノ東北農民ガ、一年ニ三百八十五万石ヲ移出シテ、辛ウジテドウヤラ斯ウヤラ、救農事業ナドモアツタガ爲ニ息ツイテ來タノデアリマス、ソレガ今回ハ全ク三百八十五万石ノ移出ガ出來ナイバカリデヤナク、飯米サヘモガ前申上ゲタヤウナ工合ニ、十月一日ニ既ニ八百何戸ノ中六百十何戸ダケガ飯米ガ無クナツタト云フヤウナ工合ニナツテ居ル狀況デアリマス、此年々移出シテ居ル所ノ三百八十五万石ノ移出ガ全ク出來ナイダケ、ソレダケ是ガ借金トナルノデアリマス、此借金ガ即チ過去明治ニナツテカラバカリデモ、三十一回ノ凶作不作ニ對シテ何等ノ政府當局ノ施設ガナカッタ爲ニ、或ハ颱風、颶風ノ十七年間ノ統計ヲ取ツテ見ルト、其集中スル所ガ東北ノ津輕沿岸デアルト云フコトニナツテ居ルニモ拘ラズ、又一

毛作ト三毛作ノ違ヒノアルコトガハッキリシテ居ルニモ拘ラズ、税金ヲ平等ニ取ツテ居ルバカリデナイ、一毛作デアアルカシテ倍ノ耕地ヲ持タナケレバナラヌ所ノモノヲ、又米ノミヲ主産ト致シテ居リマスカラ、自ラ一毛作ノ田ニ愛著心ヲ起シ、之ヲ生活資源トシテ意外ナ高イ小作料ニ競リ上ゲテ行クト云フヤウナ工合ニナツテ居ル所ノ其東北ノ賃貸價格、更ニ地主ハ小作料ヲ高ク取ツテ居ルケレドモガ、地租制限外課税ハ全國デ比類ノナイ所ノ高イヤウナ工合ニナル程ニ、東北六縣ガ他ノ課税物件ガ工業ニ、産業ニ、何モナイカラシテ、遂ニ土地ニノミ課税サレルヤウナ結果ニナルト云フコトガ分ツテ居ルニモ拘ラズ、税金ガ日本中畫一同一デアアル、斯ノ如ク税ノ方面カラ、施設ノ方面カラ、學問的ノ研究ノ上カラ、總テ之ヲ等閑ニ付シテ、而シテ以テ天明以來ノ今日ノ大ナル凶作ニ遭ハシメテ、殊ニ郷倉ノ制度ヲ廢止シテ、東北ヲ認識シナイ結果トシテ郷倉ヲ廢止セシメテ、餓死線上ニ彷徨セシムルヤウナ工合ニナシタノハ、總テ累代ノ政府ノ一大怠慢デアアル、其結果カラ三百八十五万石ノ移出ガ杜絶シテ借金トナルノデアアル、此借金ダケニ向ツテハ當然是ガ損害賠償トシテ、所謂法律デサヘモ刑事事補償法ニ據テ、一日三圓宛、無罪ニナツタ場合ニハ金ヲ與ヘルト云フヤウナ工合ニナツテ居ル以上、當然東北ノ者ニ向ツテモ損害ヲ賠償スルノハ當然ノコトデアルト思フノデアアル、損害賠償ヲスベキ當然ノ義務アリ

トシタナラバ、僅ニ五十万石位デ以テ我慢ガ出來ルカ出來ナイカ位ノコトハ、如何ニ妥協シタ所デ、是ハ妥協ノ相談ノ出來ルモノデハナイ、吾々ハ斷ジテ三百万石ヲ要求スルノハ當然デアルト思フノデアリマス、今日東北ノ各町村カラ三百万石ヲ長期貸下ヲ願ヒタイト云フ請願ガ、各町村長、各町會議員ガ皆連名ニ依ツテ請願シテ居ルモノガ既ニ七百五十通ニ達シテ居リマス、諸君、此請願ハ長期貸下ト云フヤサシイ要求デアリマス、決シテ吾々ハ貫フンデヤナイ、長イ間ニハ御返シスル、其代リ米ガ拜借シタイノダト云フノデアアル、金デ借りルノデハナイ、米デ借りルノデアアル、米デ借りテ米デ返サウト云フノデアリマス、今日農林省ノ貯藏サレテ居ル米ノ額ガ、約千四百万石アルヤニ聞イテ居リマス、千三百万石カ千四百万石カ、私ハ數字ガハッキリ致シテ居リマセヌガ、千四百万石アルヤニ聞イテ居リマスガ、大藏省方面ハ豫算編成ニハ相當ニ難儀シテ居リマスケレドモガ、我ガ東北民ハ金デ以テ損害賠償ヲ、刑事補償法ノヤウナ工合ニ、一日三圓宛ノ割合デ寄越セト云フノデハナイ、政府ガ有ツテ居ル所ノ持米ヲドウカ千四百万石ノ中三百万石ダケ、即チ三百八十五万石、是ハ今迄移出シテ居ツタ平均デアリマス、昨年ニ較ベタナラバ大變デス、平均シテ三百八十五万石移出シテ居ツタモノガ、政府ノ怠慢ノ結果ニ依ツテ、悉ク借金トシテ取レナイヤウニナツテ、而モ木ノ實ノ皮ヲ剥イデ食ヒ、或ハ草根木皮ヲ

食ハナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ、今ヤ二尺ノ雪ガ三日間モ降り續イテ居ルト云フヤウナ寒サニ怯ヘテ居ル、此狀況ニ向ハシテ居ル政府ノ怠慢ニ向ツテ、吾々ハ要求スルノハ當然デアルト思フノデアアル(拍手)政府ノ方デモ千四百万石ヲ持ツテ、ソレ程迄ニ御困リニナツテ居ルヤウデアリマス、來年ノ爲ニ備ヘルコトモ宜シイノデアリマス、私ハ農林當局ハ本問題ニ付テ如何ニ御考ニナルカ、農林大臣ノ明確ナ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、更ニ終リニ申上ゲマスルコトハ、全體今ノヤウナ工合ニ東北ヲナラシメタ所ノモノハ、貴族院ニ居リマス所ノ勅選議員、即チ本案ガ間モナク貴族院ニ送ラレタ際ニ、貴族院ノ諸公ハ深く考ヘンケレバナラヌコトダラウト思ヒマスルガ故ニ、私ハ茲ニ一言スルノデアリマス、本院ヲ通ジ東北民ノ聲トシテ、貴族院ニ之ヲ通ズルノデアリマスガ、今日貴族院ニ居リマス所ノ勅選議員ノ多數ハ、多年老巧練達ノ有能ナル官吏トシテ其局ニアリ、遂ニ選マレテ勅選議員トナツテ、今日ノヤウナ工合ニナツテ居ルノデアリマス、多年長イ間練達ノ士トシテ、官吏トシテ行政官ノ爲スベキ當然ノコトヲ爲シタル結果トシテ、遂ニ今日ノヤウナ榮譽ニナツテ居ル、此勅選ノ貴族院議員諸公ハ今日ノヤウナ狀況ニ照シ、只今迄申上ゲタヤウナコトヲ精讀セラ、ナラバ、自分ノ過去ニ於テノ怠慢、無責任ト云フモノニ付テハ、深ク良心ガ發動

セラレンケレバナラヌ點デアラウト私ハ思フノデアリマス(拍手)又半面ニ於テハ嘗テハ貴族院ノ議長ニナツテ居ラレタ徳川公及徳川公ノ一門、徳川義親侯、或ハ松平副議長等、即チ徳川御一門ノ人々ト云フモノハ、明治維新當時ノ東北ノ人々ガ如何ナルコトヲシタカト云フコトニ思フ及ボサシケレバナラヌ所デアル、今日ノ如キ凶作ニ直面シ、饑死線上ニ東北民ガ來テ居ル際ニ於テハ、須ラク當時ノ徳川將軍タル所ノ、今日ノ徳川公一門ト云フモノハ素裸カニナツテ、東北六縣ノ人々ヲシテ本當ニ助ケルベク立タンケレバナラヌ所ノ義務ガアルト私ハ思フノデアル、徳川公ハ貴族院ニ參リマシタ時ニ、其一門ヲ提テ、果シテ本案ニ付テ如何様ナルコトヲ爲サレテ、東北六縣民ヲシテ危急存亡ノ今日ノヤウナ場合カラ救ヒ出スカト云フコトニ付テ、私ハ本院ヲ通ジテ十二分ノ良心ノ發動ヲ御願スルノデアリマス

諸君郷倉ノ制度ハ多年吾々同僚ノ政友會ノ人々ガ之ヲ主張シ、政友會ノ黨議トシテ此設置ヲ要望シ、遂ニ此内閣ニ依ツテ郷倉制度ガ見出サル、ヤウニナツタノデアリマス、洵ニ畏多イ話デアリマス、有難イコトデアリマス、陛下ノ御下賜金アラレタ爲ニ、遂ニ此郷倉制度ガ出來ルヤウニナツタ、吾々政友會ノ同僚諸君ガ、東武君ノ如キ其他ノ人々ガ熱心ニ東北ノ事情ヲ詳カニシ、一刻モ早ク郷倉ノ制度ヲ設ケ、古キヲ迪ッテ行カンケレバナラヌト云フヤウナコトヲ主張シテ居タノデアル、當時會ノ政務調査會

長ヲシテ居ラレタ現農林大臣山崎君、即チ此點ニ力ヲ用ヒラレタデアラウト思フノデアリマス、吾々同僚相共ニ今日郷倉制度ノ古キヲ新シキニ求メラル、ヤウニ見出シタト云フコトハ、實ニ喜ビニ堪ヘナイ次第デアリマス、同時ニ東北六縣民ガ此郷倉ニ依ツテ將來益、機能ヲ發揮シテ、備荒貯蓄トナシ、或ハ金融ノ途トナシ、以テ災害ニ對スルノ途ヲ十二分ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、併ナガラ併ナガラ若シ昨日中野君ノ言ハレタヤウナ工合ニ、徒ニ官憲ノ仕事トシテ、自治町村ヲシテ親シク之ニ與カラシムルヤウナ工合ニ爲サズシテ、官憲ノ力、萬能主義ニ依ツテ、若シ其運用宜シキヲ得ナカッタラバ、中野君ノ杞憂ト私ハ全ク同感ナノデアリマス、畏イ話ニナリマスルガ、此郷倉ノ制度ノ運用ニ付テハ、政府當局ハ十二分ノ注意ヲ拂ツテ萬全ニ陛下ノ御心ガ可憐ナル東北民ノ上ニ永久ニ參リマスルヤウニ、東北民ガ感泣シテ此高恩ニ酬インコトヲ期スルヤウニ爲サシムル、其運用ノ宜シキヲ得ルト否トガ即チ茲ニ至ラシムルノデアリマス、政府當局ハ、假令今日ノ内閣ガ更リマシテモ、此問題ニ付テハ十二分ニ、又吾々モ共ニ之ニ力ヲ致サンケレバナラヌト云フコトヲ吾々ハ覺悟シテ居リマスレドモ、希クハ郷倉ノ制度ト此法律ハ不可分ノモノデアリマス、私ハ此點ヲ政府ニ特ニ戒告シ、前申上ゲタヤウニ、總理大臣、農林大臣、又郷倉ノ制度ヲ三十二年ニ廢止シテ、全國劃一ノ行政ノ弊

ニ墮シタ所ノ其責任ト云フ點ニ付テ、内務大臣ハ如何様ナル御答辯ヲセラレルカ、明白ナル御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、之ヲ以テ長時間ノ私ノ演說ヲ終リマス(拍手)議長ニ私ノ此參考書類、山形縣下ニ於ケル凶作ノ飢饉年表、明治時代以來ノ凶作年表、之ヲ此際速記ニ掲載セラレンコトヲ御願スル次第デアリマス

〔國務大臣山崎達之輔君登壇〕
○國務大臣(山崎達之輔君) 松岡君ノ非常ナ御熱心ナル御演說ニ對シマシテハ、衷心カラ敬意ヲ表シマシテ拜聴致シタ譯デアリマス、御意見ニ對シマシテハ別ニ此處デ御答ヲ申スコトモナイト思ヒマスガ、御演說ノ中デ此法律案ニ規定ヲ致シテ居ル五十万石ト云フノハドウ云フ計算ノ基礎ガアルノデアルカ、ソレデハ到底不足デハナイカト云フ御意味ノ御意見デアルヤウデアリマシテ、其一點ダケ簡單ニ申上ゲマシテ、尙又其事ノ細カイ數字ニ互ルコトハ、委員會ニ於テ御説明ヲ申上ゲル方ガ却テ御便宜カト思ヒマス、大體今回ノ特別立法ノ建前ハ、凶作ニ因ル困難ヲ此立法ニ依ツテ總テ救済シヨウト云フ意味デナイコトハ、松岡君能ク御諒解ノ通りデアリマス、飽迄原則ノ建前ト致シマシテハ、匡救事業ニ依ツテ相當ノ勞銀收得ノ機會ヲ各凶作地方ニ與ヘルコトニ致シマシテ、ソレニ依ツテ困窮ヲ切抜ケルト云フコトガ本體ノ建前デアリマス、唯其ハ、松岡君御承知ノ通りデアリマス、唯其建前ダケヲ取ツテ參リマスレバ、或ル特殊ノ

地方ニ付テ餘程效能ガ廻リ兼ネル所ガ出來ル譯デアリマス、ソレハ何デアルカト申シマスルト、東北六縣ノヤウナ、冬ノ間降雪ノ爲ニ匡救事業等ノ施行ガ十分行ハレ難イ所ガアル譯デアリマス、是ハ東北ダケニ限ッタル譯デアリマセヌ、他ノ地方ニ於テモ、山間地方等ニ於テハ左様ナ所ガ少クナイノデアリマス、即チ一方ニハ非常ナ凶作ニ見舞ハレテ居ルニモ拘ラズ、一面ニハ地勢其他ノ關係カラ匡救事業ヲ行ハント欲スルモ行ヒ能ハザル場所ガアル、左様ナ所ダケハ別個ノ方策ヲ考ヘルコトガ必要デアラウ、是ガ今回此特別立法ヲ立案スルニ至ッタ主ナル動機デアリマス、サウシテ同時ニ松岡君モ仰セニナリマシタヤウニ、今ノ米ノ特別會計ニハ相當量ノ米ノ貯藏ハアリマス、併ナガラ是ハ松岡君能ク御承知ノ通り、現在ノ統制法ニ於キマシテハ、米價ガ最高價格ヲ突破致シマスル場合ニ、苟モ要求アレバ、是ハ殆ド無限ニ政府ハ之ニ賣リ應ジテ行クダケノ義務ヲ有ツテ居ル譯デアリマス、只今政府ガ貯藏致シテ居リマスル米ガ、幸ニ相當量アリマスルカラ、稍、安心ハ出來マスルモノ、決シテ之ヲ輕々シク取扱フコトノ出來ナイ事情ハ、松岡君能ク御諒解ノ事ト思ヒマス、斯様ナ各種ノ事ヲ併セ考ヘマシテ、今回法律ヲ起案スルニ付テモ、最高限度ヲドノ程度ニ致スカト云フコトハ、相當慎重ニ考慮ヲ致シマシタ結果、提案ノ如ク五十万石ヲ限度ト云フコトニ致シタ譯デアリマス、是ダケデアリマスナラ

地方ニ付テ餘程效能ガ廻リ兼ネル所ガ出來ル譯デアリマス、ソレハ何デアルカト申シマスルト、東北六縣ノヤウナ、冬ノ間降雪ノ爲ニ匡救事業等ノ施行ガ十分行ハレ難イ所ガアル譯デアリマス、是ハ東北ダケニ限ッタル譯デアリマセヌ、他ノ地方ニ於テモ、山間地方等ニ於テハ左様ナ所ガ少クナイノデアリマス、即チ一方ニハ非常ナ凶作ニ見舞ハレテ居ルニモ拘ラズ、一面ニハ地勢其他ノ關係カラ匡救事業ヲ行ハント欲スルモ行ヒ能ハザル場所ガアル、左様ナ所ダケハ別個ノ方策ヲ考ヘルコトガ必要デアラウ、是ガ今回此特別立法ヲ立案スルニ至ッタ主ナル動機デアリマス、サウシテ同時ニ松岡君モ仰セニナリマシタヤウニ、今ノ米ノ特別會計ニハ相當量ノ米ノ貯藏ハアリマス、併ナガラ是ハ松岡君能ク御承知ノ通り、現在ノ統制法ニ於キマシテハ、米價ガ最高價格ヲ突破致シマスル場合ニ、苟モ要求アレバ、是ハ殆ド無限ニ政府ハ之ニ賣リ應ジテ行クダケノ義務ヲ有ツテ居ル譯デアリマス、只今政府ガ貯藏致シテ居リマスル米ガ、幸ニ相當量アリマスルカラ、稍、安心ハ出來マスルモノ、決シテ之ヲ輕々シク取扱フコトノ出來ナイ事情ハ、松岡君能ク御諒解ノ事ト思ヒマス、斯様ナ各種ノ事ヲ併セ考ヘマシテ、今回法律ヲ起案スルニ付テモ、最高限度ヲドノ程度ニ致スカト云フコトハ、相當慎重ニ考慮ヲ致シマシタ結果、提案ノ如ク五十万石ヲ限度ト云フコトニ致シタ譯デアリマス、是ダケデアリマスナラ

バ、大體私共ノ計算致シテ居リマスル計數ニ依レバ、先程申上ゲマシヤウニ半作以下ノヤウナ、非常ナ災害地デアリ、而モ冬ノ間匡救事業ヲ行ハント欲スルモ、天候ノ關係上行ヒ得ナイト云フヤウナ各地方ニハ、此程度ヲ以テ相當私ハ行渡リ得ルモノト考ヘテ居ル譯デアリマス、併ナガラ尙ホ附加ヘテ申上ゲナケレバナラヌコトハ、先程杉山君ノ御問ノ場合ニモ申上ゲマシヤウニ、唯是ダケデ以テ各地方ノ、假ニ米ノ不足ガアリマスル場合ニ、米ノ不足ノ全部ヲ是デ供給シテ行クト云フ意味合デハナイノデアリマス、是以外ニ必要ナモノハ、或ハ縣ナドヲ通ジマシテ御申込ガアリマスレバ、是迄ノ慣例ニ依リマシテ、現在ノ法規ノ許ス範圍ニ於テ出來ルダケノ御便宜ハ、農林省トシテハ取計ッテ行ク譯デアリマスカラ、此一ツノ法律、即チ町村ニ對シテ無償交付ヲスルト云フ、非常ナ例外的ノ此一ツノ手段ニ依ッテ、總テノ事ヲ解決シテ行カウト云フ御考ヲ御有チ下サルコトハ、是ハドウカ一ツ御控ヘテ願ヒタイト思ヒマス、ト云フノハ政府ノ有ッテ居リマス米ハ、先程申上マスヤウニ、本年ノ如キ事情ニ於テハ、決シテ之ヲ輕々シク取扱フ譯ニハ參ラヌノデアリマスカラ、其邊ハドウカ御諒解ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

シテ、以上ノコトダケヲ申上ゲテ置キマス(拍手)

(國務大臣後藤文夫君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 松岡君ノ御質疑ノ際ニ居リマセヌノデ、只今政府委員カラ御話ノコトヲ伺ヒマシタノデスガ、實ハ能ク御質問ノ趣旨ガ分リ兼ネテ居リマス、郷倉ノ制度ヲ明治三十二年頃ニ廢シタノガイケナカタノデハナイカ、斯ウ云フコトニ付テノ御尋デアッタカノヤウデアリマス、東北ノ事情ヲ考ヘマスルト、私ハ郷倉ノ制度ガ昔アッタノヲ廢シタノハ、非常ニ適當デナカッタカト思ヒマス、今日再ビ之ヲヤラナケレバナラス、而モ昔アッタコトヲ今思出シテ、如何ニモ適切ナ制度デアルト云フ感じヲ有ッテ致ス譯デアリマス、洵ニ御同感ノ至リニ存ジマス

(松岡俊三君登壇)

○松岡俊三君 私人一番要求ノ重點デアル、即チ東北ラシテ今日ノヤウナ窮狀ニ陥ラシメ、サウシテ本年斯様ナ工合ニ損害ヲ與ヘシメタ其責任、即チ政府ニ在ル、果代ノ政府ガ今日ノヤウナ工合ニシタノデアル、之ニ對シテノ損害賠償ヲスベキモノデアルト私ハ思ッテ居ル、之ニ對スル總理大臣ノ答辯ハ、總理大臣ガ居リマセヌカラシテ、已ムラ得マセヌケレドモ、今内務大臣ガ明ニ、古キヲ思出シテ今日正ニ其通りダト言ウタコトハ、洵ニ私正直ナル告白トシテ、即チ今日迄東北ニ對スル認識ヲ有ッテ居ラナカッタ所ノ果代ノ政府ガ、初メテ此内閣ニ依ッ

テ正シク認識ヲ得タト云フコトニ付テ、私喜ンデ只今ノ答辯ヲ頂戴致シタ次第デアリマス、又農林大臣ニ於テハ、私ガ若シ此五十万石ダケデヤルノデハナイ、外ノコトデヤルノダ、唯積雪期間中工事ガ出來ナイ方面ダケハ、之デヤルノダト云フヤウナ工合ニ申サレタノデアリマスルガ、半作ニ及バナイ所ノモノデ、即チ四分五厘減或ハ六分減ト云フヤウナ事ニナルト、依存關係ニ在ル商工方面ガ特ニ困窮甚ダシクナルト云フコトニ對シテハ、今ノ御答辯ガ當ラナイヤウデアリマス、斯ウ云フ窮乏ノ狀況ニ陥ラシメタト云フコトハ、今迄ノ農林行政、技術方面、各方面カラノ非常ナル怠慢デアリマス、此怠慢カラシテ、東北人ヲ追込シテ窮況ニ陥ラシメタモノデアリマス、之ニ對スル所ノ只今ノ御答辯ハ、私東北民トシテ甚ダ遺憾デアリマスルガ、只今ノ御答辯ニ依ルト、更ニ何事カラ爲サルヤウデアリマスカラ、私ハ他日ノ機會ニ之ヲ質スコトニシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス(拍手)

○副議長(植原悦二郎君) 林平馬君

(林平馬君登壇)

○林平馬君 諸君、漏レ承リマスル所ニ依リマスレバ、東北地方ノ凶作ニ對シマシテ、莫大ナル恩賜金ヲ下賜サレマシテ、ソレヲ基トシテ郷倉ノ建設ヲ見ルニ至ッタト云フコトハ、東北七百万民ノ感激措ク能ハザル所デアリマス、吾々東北選出議員ト致シマシテ、殊ニ此場合深厚ナル感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス、内務省ノ豫算ヲ見マス

テ、大體私共ノ計算致シテ居リマスル計數ニ依レバ、先程申上ゲマシヤウニ半作以下ノヤウナ、非常ナ災害地デアリ、而モ冬ノ間匡救事業ヲ行ハント欲スルモ、天候ノ關係上行ヒ得ナイト云フヤウナ各地方ニハ、此程度ヲ以テ相當私ハ行渡リ得ルモノト考ヘテ居ル譯デアリマス、併ナガラ尙ホ附加ヘテ申上ゲナケレバナラヌコトハ、先程杉山君ノ御問ノ場合ニモ申上ゲマシヤウニ、唯是ダケデ以テ各地方ノ、假ニ米ノ不足ガアリマスル場合ニ、米ノ不足ノ全部ヲ是デ供給シテ行クト云フ意味合デハナイノデアリマス、是以外ニ必要ナモノハ、或ハ縣ナドヲ通ジマシテ御申込ガアリマスレバ、是迄ノ慣例ニ依リマシテ、現在ノ法規ノ許ス範圍ニ於テ出來ルダケノ御便宜ハ、農林省トシテハ取計ッテ行ク譯デアリマスカラ、此一ツノ法律、即チ町村ニ對シテ無償交付ヲスルト云フ、非常ナ例外的ノ此一ツノ手段ニ依ッテ、總テノ事ヲ解決シテ行カウト云フ御考ヲ御有チ下サルコトハ、是ハドウカ一ツ御控ヘテ願ヒタイト思ヒマス、ト云フノハ政府ノ有ッテ居リマス米ハ、先程申上マスヤウニ、本年ノ如キ事情ニ於テハ、決シテ之ヲ輕々シク取扱フ譯ニハ參ラヌノデアリマスカラ、其邊ハドウカ御諒解ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

尙ホ細カイ事ハ寧ロ委員會等ニ於キマシテ申上ゲマスル方ガ、却テ御諒解ヲ願フノニ好都合デハナイカト思ヒマスカラ、松岡君ノ御演說ニ對シテハ謹ンデ敬意ヲ表シマ

ルト、是ガ經費トシテ八十六万五千四百圓ヲ計上サレテ居ルヤウデアリマスルガ、洵ニ機宜ニ適シタモノデアルト信ジマス、他ノ各議員ノ方カラモ申サレマシタヤウニ、郷倉ノ制度ハ實ニ其目的ヲ十二分ニ發揮シタヤウデアリマス、即チ年貢米ノ收納ノ目的ヲ達スルコトガ一ツ、更ニ饑饉ノ際ノ救濟準備米ノ貯藏ノ目的ヲ達スルコトガ一ツ、此二ツノ目的ヲ洵ニ能ク達シテ居ッタノデアリマシタガ、先程松岡君カラモ申サレタヤウニ、今日其跡形モ無クナッテ居ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居ッタ次第デアリマス、只今上程サレテ居リマスル此案モ、即チ此郷倉ト關聯ヲ致シマシテ立案サレタモノト思ヒマシテ、極メテ有效適切ナル法案デアルト信ズルモノデアリマス、而シテ此法案ノ效果ノ舉ルト舉ラナイトハ、懸ッテ東北七百万民ノ休戚ニ關係ヲ有ツ重要ナル法案デアルトデアリマス、故ニ私ハ數項ニ分チ極メテ要點ニ付テ、重要ナル質問ヲ試ミタイト思フモノデアリマス、諸君此理由書ニモ明示シテアリマス、又農林大臣ノ御演說ニモ明ニ申サレマシタヤウニ、此法案ノ狙ヒ所、目的ハ、即チ應急ノ目的ヲ達スルコト、備荒貯蓄ノ效用ヲ發揮スルト云フ全ク以テ郷倉ト同ジヤウナ目的ニ依ッテ生レ出タ法案デアリマスルガ、併ナガラ段段ト法案ヲ讀ンデ見マスルト、果シテ法案ニ示サレタ二大目的ガ十分ニ達シ得ラレルヤ否ヤハ、甚ダ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス

先づ第一ニ御尋ヲ申上ゲルコトハ、第一條ニアリマスル收穫高ガ平年作半ニ達セズ云々ト云フ限定ノ點デアリマス、斯様ニ限定サレテアリマスルケレドモ、東北ノ實狀ヲ見マスルト、例ヘバ四分作位ナ所ナラバ小作料ヲ免ゼラレテ大イニ助カルノデアリマスルガ、五分作以上、即チ六分作位ノ所デアルナラバ、左様ナ恩典ヲ受クルコトガ出來マセヌカラ、困ルト云フ點カラ言フナラバ、寧ロ五分作以上ノ方ガ困難ヲ感ズルコトガ厚イト云フコトヲ見落シテハナラナイト思フノデアリマス、又山間地帶デナイ平地ノ農耕地ヲ見マスルト、六分、七分ノ良好ナル作柄ノ所モナリ澤山ニアリマシガ、併ナガラ其地方ハ全ク以テ米ヲ主トシテ居ルノデアリマシテ、山間ノ方面デアアルナラバ、假令米ガ穫レナクトモ、別ニ山林ニ依ル所ノ收入ガアリマスルカラ、此窮狀ヲ何トカ突破スル方法モ自ラアルノデアリマスルガ、平地方面ハソレガ全クナインデアリマス、而モ種々ナル救済ノ手ガ伸ビテ行カナイト云フコトニナルノデアリマス、平年作ヲ穫テスラモ、常ニ東北ノ農村ハ窮狀見ル影モナイ困憊ヲ重ネテ居ルノニ、例ヘバ二分減、三分減デモ、平年作ヨリ減ズルト云フモノハ非常ナ痛手ヲ感ズルノデアリマスガ、サウ云フ所ハ悉ク之ヲ見落シテ行カナケレバナラヌノガ此法案デアリマス、デアリマスカラ吾々ヲシテ言ハシムルナラバ、東北ノ實狀ニ此法律ヲ合セテ行キタイト云フ御熱誠ガアリマスルナラバ、是

ハ宜シク「凶作ノ爲メ生活困難ナル部落」云フヤウナ風ニ御改メニナツタ方ガ頗ル適切ナル法案ニ變ルダラウト思フ、平年作云々ト云フヤウナ風ニ限定サレルコトハ、折角立派ナ此目的ヲ自ラ減殺スル所以デアラウト考ヘルノデアリマス（拍手）此點農林大臣ノ御所見ヲ伺フ次第デアリマス

第二ニ、矢張第一條ノ應急土木事業ノ施行困難ナル地方ニ對シ云々ト云フ又制限ノ條件ガアルノデアリマス、此解釋ガ洵ニ吾々ニハ分ラナイノデアリマスルカラ、此點モ實シテ置キタイノデアリマス、例ヘバ若シ此通りデアルナラバ、施行困難デナイ地方ハ、片端カラ見落シテ行カナケレバナラナイノデアリマス、一例ヲ言フナラバ、福島縣ノ相馬郡トカ石城郡、宮城縣ノ本吉郡、或ハ岩手縣ノ下閉伊郡、上閉伊郡ト云フヤウナ、詰リ海岸ニ接シテ方面ハ、雪ガ多ク降ラナイ爲ニ、冬ト雖モ十分ニ匡救事業ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマス、併ナガラ此方面ニモ亦非常ニ困リ果テ、皆無ノ所モ多數アリマシテ、目下飯米ニ困ッテ居ル所ガアルノデアリマスルガ、斯様ナ條件ガアレバ、ソレヲモ亦見落シテ行カナケレバナラスト云フ不自由ヲ、此處ニ存シテ居ルノデアリマシテ、益、此法案ノ目的ヲ自ラ達シナイヤウニ、達シナイヤウニト云フヤウナ感ジヲ持タスノデアリマスガ、是モ大ニ何トカ御考慮シラセラレナカッタナラバ、此法律ヲ運用スル者ハ結局大臣御自身デハナイ、地方ノ役人、地方廳方面ノ人々ガ此法律ノ

運用ヲスルノデアリマスルカラシテ、之ヲソックリ此儘適用シテ行クナラバ、折角有難イ東北ノ爲ニ出來タ法律ハ、何等恩惠ヲ感ズルコトガ出來ナイト云フコトニナルコトヲ、吾々ハ憾ミトスル者デアリマス（拍手）

次ニ第三ニ御尋ヲシテ見タイノハ、松岡君カラモ此點ハ御尋ガアツタノデアリマスルガ、五十万石ト限定サレタ點デアリマス、是モ第一條ニアルノデアリマスルガ、此數字の根據ヲ質問シ合ウト云フコトニナレバ實際限モノナイノデアリマスガ、私共ノ考ヲ以テスルナラバ、數字ノ根據ヲ彼此議論シ合ウト云フコトハ、五十万石ト云フ此文字ガアルカラデアリマス、五十万石アルト云フヤウナ數字ヲ頭カラ省イテ法律案ガ出來タナラバ、左様ナ心配モ議論モナイデアラウト思フ（拍手）即チ數量ヲ明示スルコトナク「必要ナル數量」ト言フタ方ガ洵ニ此法律ノ目的ヲ達スルニ御都合ガ好イデアラウト思フガ、農林大臣ノ御所見ハ如何（拍手）吾々ハ先程來申シマス通りニ、郷倉ノ必要ヲ東北ニ特ニ痛切ニ感ズル者デアリマス、又米穀對策ト致シマシテハ、我ガ民政黨ノ態度トシテハ、自治的統制ヲ以テ當ルベキモノデアルト吾々ハ考ヘテ居ル、其見地ヨリ致シマシテモ、郷倉ノ普及ヲ熱望スル見地カラ致シマシテモ、亦殊ニ此法律案ノ實質ハ何カト言ウタナラバ、政府ガ有ツテ管理シテ居ル所ノ米ヲ移シテ、地方ノ町村ニ有タセテ管理サセルト云フノニ止マラナイノデアリマス

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

ルガ、政府ニ於カレマシテハ五十万石ト云フヤウナ數字ヲ除カレル御意思ガアリヤ否ヤヲ承リタイノデアリマス

第四ニ承リタイコトハ、第一條ニ依リマス「當該市町村ハ其ノ住民ニ其ノ米穀ヲ貸付又ハ交付スルコトヲ要ス」トアリマスルガ、貸付交付ト云フコトニ付テ非常ニ私ハ疑念ヲ有ツ者デアリマス、ドウ云フ疑念ヲ有ツカト云フノニ、御承知ノヤウニ負債整理ノ低利資金ニ致シマシテモ、其他兎角政府ノ種々ナル低利資金ノ貸付手續ト云フモノハ、悉ク舉ゲテ煩瑣苛酷デアリ、ソレバカリデナク、市町村ニ重キ責任ヲ負ハセテ居ルト云フ所カラシテ、折角出來タ所ノ負債整理法案ニシテモ、其他ノモノガ悉ク此法ノ恩惠ヲ受クルコトガ出來ナイデ居ルノデアリマス（拍手）法ノ精神ハ宜イガ、法ノ恩惠ヲ受クルコトガ出來ナイト云フコトハ、一ニ國民ノ個々ノ手ニ渡ス所ノ作用ガ簡便デナイカラデアルト謂ハナケレバナラヌ（拍手）デアリマスルカラ、交付々々ト簡單ニ書イテアツタ所ガ、百姓ノ手ニ交付ガ簡單ニ行カナイト云フコトヲ御考慮キ願ハナケレバナラヌ、之ニ付テハ從來ノ種々ナル煩瑣苛酷ナル方法ヲ拔キニシテ、簡明直截、極メテ駿

理サセルト云フノニ止マラナイノデアリマス

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

ルガ、政府ニ於カレマシテハ五十万石ト云フヤウナ數字ヲ除カレル御意思ガアリヤ否ヤヲ承リタイノデアリマス

第四ニ承リタイコトハ、第一條ニ依リマス「當該市町村ハ其ノ住民ニ其ノ米穀ヲ貸付又ハ交付スルコトヲ要ス」トアリマスルガ、貸付交付ト云フコトニ付テ非常ニ私ハ疑念ヲ有ツ者デアリマス、ドウ云フ疑念ヲ有ツカト云フノニ、御承知ノヤウニ負債整理ノ低利資金ニ致シマシテモ、其他兎角政府ノ種々ナル低利資金ノ貸付手續ト云フモノハ、悉ク舉ゲテ煩瑣苛酷デアリ、ソレバカリデナク、市町村ニ重キ責任ヲ負ハセテ居ルト云フ所カラシテ、折角出來タ所ノ負債整理法案ニシテモ、其他ノモノガ悉ク此法ノ恩惠ヲ受クルコトガ出來ナイデ居ルノデアリマス（拍手）法ノ精神ハ宜イガ、法ノ恩惠ヲ受クルコトガ出來ナイト云フコトハ、一ニ國民ノ個々ノ手ニ渡ス所ノ作用ガ簡便デナイカラデアルト謂ハナケレバナラヌ（拍手）デアリマスルカラ、交付々々ト簡單ニ書イテアツタ所ガ、百姓ノ手ニ交付ガ簡單ニ行カナイト云フコトヲ御考慮キ願ハナケレバナラヌ、之ニ付テハ從來ノ種々ナル煩瑣苛酷ナル方法ヲ拔キニシテ、簡明直截、極メテ駿

理サセルト云フノニ止マラナイノデアリマス

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

ルガ、政府ニ於カレマシテハ五十万石ト云フヤウナ數字ヲ除カレル御意思ガアリヤ否ヤヲ承リタイノデアリマス

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

ルガ、政府ニ於カレマシテハ五十万石ト云フヤウナ數字ヲ除カレル御意思ガアリヤ否ヤヲ承リタイノデアリマス

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

ルガ、政府ニ於カレマシテハ五十万石ト云フヤウナ數字ヲ除カレル御意思ガアリヤ否ヤヲ承リタイノデアリマス

（拍手）然ラバ即チ數量ヲ限定スルト云フノハ何等意義ヲ爲サナイコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テモ寧ロ成ベク多クノ數量ヲ持出シテ、サウシテ彼等ヲ救ヒ、又國ノ保存ニ依ッテ失フ所ノ損失ヲ免レ、一石二鳥ノ名案トナルコトデアラウト思ハレ

速ニ窮民ノ手ニ渡ルト云フ所ノ方法アリヤ
ヲ御聽シタイノデアリマス(大事ナコトダ)
ト呼フ者アリ、拍手)

次ニ承リタイコトハ第二條ノ終リニ「交
付ヲ受ケタル日ヨリ五年以内ニ其ノ全額ニ
達セシムルコトヲ要ス」トアリマス、即チ
五年以内ニ返納貯藏ノ義務ヲ市町村ニ負ハ
セテ居ルト云フ點ニ非常ナル疑念ヲ有ツ者
デアリマス、是ハ松岡君カラモ縷々申サレ
タ中ニモアリマシタヤウニ、東北地方ノ各
種ノ滞納稅額、アノ數字ヲ見マシテモ、實
ニ驚クベキ疲弊ノ狀態ガ歴然トシテ現ハレ
テ居ルノデアリマス、而モ東北ハ御承知ノ
ヤウニ、實際ニ凶作、不作或ハ風水害其他
ノ天災地變ト云フモノガ、實ニ二年、三年
毎ニ襲來シテ云ルト云フヤウナ實情ニ徴シ
テ、其度毎ニ國家ノ特別ノ厄介、累ヲ受ケ
テ居ルト云フヤウナ點カラ考ヘテ、サウデ
ナクトモ疲弊困憊、民力ノ彈力性ヲ失ッテ居
ル東北民ニ對シテ、五年間ヲ以テ還付サセ
ルト云フ御見込ガ十分ニ付イテ居ルヤ否ヤ、
實ニ疑ハシイ點デアリマス(拍手)現ニ宮城
縣ノ町村長會議ニ於ケル決議ノ一節ニモ、
國稅、縣稅、市町村稅ノ全額ニ等シイ金額
ヲ政府ヨリ交付シテ貰ヒタイト云フ決議サ
ヘモ出來テ居ルノデアリマス、以テ如何ニ
彼等ガ納稅ノ力ヲ失ッテ居ルカ、明瞭デア
リマス、而モ借リタ米ヲ以テ何カ商ヒヲシ
テ利得ガ舉ツテ來ル、儲カッテ來ルト云フモ
ノデアリナラバ、辨濟スルコトガ出來マセ
ウカ、借リタモノハ今限ノ前ニ食ッテ、飲ン

デシマハナケレバナラナイト云フモノデア
ルカラシテ、而モ將來豐年ガ續イテ米ガ高
イト云フコトノ保障ガアル譯デモナイ、遠
キ昔ノコトハ言ハナイ、最モ近イ過去五年
間ノ實情カラ徴シテモ、五年ノ内ニ辨濟ヲ
要求スルト云フコトハ、以テノ外ノ御所見
違デアラウト思フ(拍手)是ハ獨リ農林大臣
カラ御伺スルバカリデハアリマセヌ、民力
ノ全ク困憊シテ、彈力性ノ消滅シテ居ル所
ノ東北民ノ實情ハ、內務大臣ガ能ク御承知
デナケレバナラヌ、又御承知デアラウト思
ヒマス、五年間ト決メタコトニ付テハ、定
メシ內務大臣ニ於カレマシテモ十分ナル
關心ヲ有タレテ御研究ガアラレタコト、
信ジマスルガ故ニ、此點ハ內務大臣ノ御所
見ヲモ併セテ伺ッテ置ク次第デアリマス

次ニ御尋申上ゲタイコトハ、本法律案ハ
臨時法デアルト云フ點ニ大ナル疑ヲ有ツモ
ノデアリマス、是ハ明ニ第一條ニモアルシ、
又表題ニモアル通り、昭和十年三月三十一
日限りノ法律案デアリマス、吾々ノ希望ヲ
以テスルナラバ、郷倉ノ普及徹底ヲスルト
云フコトガ東北農村ヲ救済スル唯一デナク
トモ、少クトモ重要ナル一ツノ方法デアラウ
ト信ジマス、故ニ郷倉ノ普及徹底ヲ期スル上
カラ見テモ、三月ノ三十一日迄ニ郷倉ノ基
礎ガ確立スルナント云フコトハ思モ寄ラナ
イコトデアリマス、而モ將來此目的ヲ達
スル上カラ考ヘテ見マシテモ、米穀對策ニ
反セザル限りニ於テ、又政府所有米ノアル
限りニ於テ、少クトモ數年間斯様ナ立派ナ

法律ト云フモノハ持續セシメテコソ、初メ
テ法律ノ目的ガ達セラレルト思フノデアリ
マス、三月三十一日限りデアラナラバ、次
ノ臨時議會ヲ要求スルカ、或ハ次ノ通常議
會ニ於テ此法律案ノ延長ガ又上程サレルデ
アラウト私ハ考ヘル、左様ナ目先ノハッキリ
分ッテ居ルコトヲ、今直チニマダ成案トナラ
ナイ内ニ、之ヲ數年間、或ハ當分ト云フヤ
ウナコトニスル必要ガ十分ニアルト思ヒマ
スルガ、農林大臣ノ御所見如何

最後ニ一點重要ナル點ガ落チテ居ルト思
フカラ伺ッテ置クノデアリマスガ、是ハ農林
大臣並鐵道大臣ニ承リタイコトデアリマ
ス、此法案ヲ見マスルニ、交付米ノ鐵道運
賃ニ關シテ何等想像シテナイヤウデアリマ
ス、即チ一口ニ言フナラバ、五十万石ノ米
ノ運賃ハ誰ガ負擔スルヤ御尋スルノデ
アリマス、恐ラウク斯様ナ多量ノ米ヲ運搬ス
ルノデアリマスカラシテ、定メシ鐵道省ト
モ御交渉ガアッタコト、思ヒマス、又此負擔
ハ誰デアアルカモ十分ニ御研究ガアッタト思
ヒマス、世間傳ヘテ人情大臣ト言ハレル内
田鐵道大臣ノコトデアリマスカラ、必ズヤ
東北ノ實情ヲ御覽ニナッテ——人情厚キ、涙
多キ鐵道大臣ト言ハレテ居ルノデアリマス
カラ、此位ノ運賃ハ喜ンデ東北ノ爲ニ鐵道
省ガ負擔サレルコト、ハ信ジマス、深ク信
ジマスルケレドモ、此場合此壇上ヨリ鐵道
大臣ノ堅キ、厚キ御決心ヲ披瀝セラレンコ
トヲ望ンデ私ノ質問ヲ終ル次第デアリマス
(拍手)

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 林君ノ御問ニ
對シマシテ簡單ニ御答致シマス、先ツ林君
ニ篤ト御願ヲ致シタイコトハ、此施設ハ米
穀特別會計ニ於テ行フト云フコトヲ能ク御
理解願ヒタイ、一般ノ救濟施設デナイ、米
穀特別會計所屬ノ米ノ處置デアルト云フコ
トヲ根本ニ置イテ御考願ヒマセヌト、色々
ノ御疑念ノ起ルノモ無理ハアリマセヌ、若
シ是ガ內務省ノ社會局アタリデ行フ一般救
濟施設デアレバ、ヤレ條件ガドウトカ、斯ウ
トカト云フヤウナコトニ付テノ疑ガ起ルノ
ハ御尤デアリマス、是ハ先刻私ガ繰返シ申
上ゲマシタヤウニ、米穀統制法ノ建前カラ
言ヘバ、今日政府ノ手持ニ致シテ居リマス
ル米ノ取扱方ハ、サウ樂ニ簡單ニ考ヘラレ
ルモノデハナイ、併ナガラ今日ノ東北、其
他ノ窮狀ニ對シテモ相當ノコトハ考ヘナケ
レバナラヌカラ、米穀特別會計ノ建前ニ反
セザル範圍ニ於テ、而シテ地方ノ或ル意味
ニ於ケル當面ノ救濟トモナリ、又恆久ノ利
益トモナルヤウナ、兩方ノ趣意ニ適フヤウ
ナ方面カラ、色々實ハ研究致シマシタ結果
此案ガ出テ居ル譯デアリマス、其根本ヲ能
ク御理解願ヒマセヌト云フト、ヤレ條件ガ
ムヅカシイカラ之ヲ取ツタラドウカトカ、或
ハ積立ハ困難ダカラ廢メタラドウカト云フ
ヤウナ御疑念ガ起ル、是ハ詰リ只今申上ゲ
タヤウナ關係ガアリマスカラ、相當ノ條件
ガナケレバ米穀特別會計トシテハ中々計ラ
ヘルモノデハナイノデアリマス、其處ヲ先

ツ頭ニ置イテ戴キタイノデアリマス、ソレヲ御考ヘ下サレバ、第一條ノ條件ニシマシテモ、五十万石ト云フ限定ニシマシテモ、能ク趣意ハ御分リ下サルコトガ出來ヤウト思ヒマス、尙ホ細カイ數字上ノコトハ委員會デ申上ゲマス、隨テ先程御話ガアリマシタ五年以内ニ町村ニ於テ積立ガ出來ルカドウカト云フヤウナコトハ、是モ今申上ゲルヤウナ米穀特別會計ノ範圍ニ於テ行フコトデアリマスカラ、之ヲ唯施米ト云フ風ニ扱フコトデアレバ、是ハ米穀特別會計トシテハ出來マセス、矢張此處ニ備荒貯蓄ト云フ作用ガ結ビ付イテ、初メテ米穀特別會計トシテ計ラヒ得ル譯デアリマス、備荒貯蓄デアリ以上、積立ト云フコトガ伴フノハ當然デアリマス、此點ハ内務當局トモ十分ニ協議ヲ疑ラシマシテ、實ハ三年位ニ致シタカッタノデアリマスガ、ソレデハ東北、其他ノ實情カラ言ウテ困ルデアラウト云フヤウナコトデ、大體五箇年ト云フコトヲ標準トシ、若シ萬一已ムヲ得ザル場合ニハ、農林大臣其他ノ許可ヲ受ケレバ、延期モ出來ルト云フ便法ヲ執ツタ譯デアリマス、尙ホ又此法律ヲ恒久化スル考ガアルカ、斯フ云フ御問デアリマスガ、是モ先刻申上ゲマシタ根本ノ趣旨ヲ能ク御理解下サレバ左様ナ御疑ハ私ハ出マイト思フ、ソレカラ運賃ノ關係ハ、是ハ鐵道大臣カラ御答ヲ願フコトニ致シマス、細カイ事ハドウカ一ツ委員會ノ方ニ御譲リヲ願ヒタイト思ヒマス(拍手)

(國務大臣内田信也君登壇)

○國務大臣(内田信也君) 御承知ノ通り、凶作地ニ輸送スル米ノ運賃ハ、救恤品ニ對シテハ無賃デゴザイマシテ、購買品ニ對シテハ五割引デゴザイマス、仍テ本法律案ノ米ハ一口ニ言ヘバ救恤品ト購買品ト中間ニアルヤウナモノデゴザイマスルカラシテ、林君ノ運賃ニ對スル御質問ハ御尤ナ次第デゴザイマス、併シ形式ニ於テハ中間デアリマスガ、法律案ノ精神ハ固ヨリ救済デゴザイマスルガ故ニ、形式論ヲ超越致シマシテ、私ハ救恤品ト看做シマシテ、本法律案ガ成立ノ上ハ、無賃ニテ取扱フ積リデゴザイマス(拍手)

(國務大臣後藤文夫君登壇)

○國務大臣(後藤文夫君) 交付米ノ町村ニ回收ヲ致スコトニ付テ期限ガ五年ニナッテ居リマス、其問題ハ只今農林大臣カラモ御話ガアリマシテ、私モウ別段申上ゲルコトハゴザイマセス、十分ニ考慮ヲ致シマシテ、困難ナ場合ニハ更ニ延バスコトノ出來ルヤウナ途モ開イテアリマス、一應相當ノ年限内ニハ返シテ之ヲ備荒ノ基米ニスル、斯ウ云フ建前ガ適切デアラウト考ヘタ次第デアリマス

○副議長(植原悦二郎君) 戸田山美君

(戸田山美君登壇)

○戸田由美君 私モ色々政府ニ質シタイト思ヒマシタガ

(副議長退席、議長著席)

既ニ兩君カラ縷々御質問ガアリマシタ、

時間ノ關係モ考ヘナケレバナリマセヌシ、又各大臣ガ重要ナル豫算總會ヲ控エテ、其方ノ御都合モ御察シ致シマスルガ故ニ、兩君ノ質問ニ漏レタ點ト、私ガ獨自ニ考ヘテ居リマスル點ニ付キマシテ、農林大臣、内務大臣ノ御答ヲ二三願ヒタイト思フノデアリマス、私ハ端的ニ只今申上ゲマスルヤウナ理由カラ、觀念論ハ致シマセズシテ、本問題ニ直接該當スル件ニ付テ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、第一條ヲ見マスレバ「昭和九年產米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ」云々トアリマシテ、米ヲ作ルガ、米ガ半減シタ場合ニ斯ウ云フヤウナ特別ノ恩典ヲ與ヘル、私ハ折角此制度ヲ今回農林大臣ガ御提出ニナルナラバ、モウ少シ根本的ニ考ヘテ戴キタカッタノデアリマス、米ヲ作ッテ極度ノ減產ノ爲ニ食ヘナイト云フ國民モ氣ノ毒デアリマスルガ、米ヲ作ラヌデ、他ハ産業ニ依ツテ生計ヲ營ム者ガ、其生計ノ根據タル産業ガ、人事以外ノ不可抗力ニ依ツテ極度ノ壓迫ヲ受ケマシテ、其生計ノ根據ヲ奪ハレタト云フ者モ、亦生活上ノ非常ナル氣ノ毒ナ立場ニアル者ト言ハナケレバナリマセス、即チ之ヲ譬ヘテ見マスレバ、長野縣其外ノ養蠶ヲ主要産業ト致シマスル縣民ノ昨今ノ狀態ハ、私ガ申上ゲル迄モナク、食フニ困ル問題ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、是ハ内務大臣ニモ御聽ヲ願ヒタイ、長野縣其外ノ養蠶ヲ主要府縣ノ縣民ノ生活狀態ハ、税金ヲ納メラレナイ、子弟ノ教育費ヲ負擔スルコトガ出來ナイト云フヤウナコト

ハ、マダノ問題デアリマス、本日ノ米ガナイ、能ク今日新聞紙上ニ東北ノ飢民ノ慘狀ヲ現ハシマシテ、各新聞ノ社會記事ヲ賑ハシテ居リマス、娘ノ身賣ト云フヤウナコトガ日々傳ヘラレテ居ル、如何ニ東北ノ縣民諸君ノ慘澹タル狀態アルカト云フコトニ付テハ、深く御同情シナケレバナラナイガ、此娘ノ身賣問題ハ、單ニ米作ノ減產ニ依ツテノ地方ノミニハ限ラレマセヌ、長野縣其外ノ養蠶主要府縣ニ於ケル子女ノ狀況ハ、全ク之ニ類スルモノガアリマス、抑、今日政治上ノ大問題、國民生活ノ問題ハ、租稅負擔ノ過重ト、借金ノ重壓、現金ノ飢饉ト、米ノ飢饉トノ四ツニ依ル問題デアリマス、此食フニ困ル、食ヘナイト云フ問題ヲ救フ爲ニ、態々此法案ノ提出ヲ爲サタ農林大臣ハ、宜シク米ハ作ラナイケレドモ、米ヲ作ル代リニ他ノ産業ニ主力ヲ注イデ居ル縣民ノ生活モ、亦考ヘテ戴カナケレバナラス、此爲ニ此法案ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、他ノ産業ニ依ツテ生活ヲ營ム國民ガ米ニ法ノ適用ヲシテ下サレタイ

更ニ内務大臣ハ斯様ナ養蠶府縣民ガ遂ニ租稅ノ負擔ニモ堪ヘ兼ねル、食フニ困ル、其爲ニ今日内務當局ノ耳ニ入ッテ居ル情報ハ何デアリマスカ、私ガ申スマデモアリマセヌ、各方面ニ起ッテ居ル國家ノ町村ニ對スル委任事務返還論デアリマス、是ガ滔々今日ノ風ヲ成シテ居リマス、併ナガラ國家ノ委任事務ヲ返還スルト

云フコトハ、或ハ法ニ觸レルト云フ心配ヲ
スルノ餘リ、遂ニ町村自治カラ身ヲ引クト
云フ、正ニ恐ルベキ國家根柢ノ破壊ノ問題
ガ養蠶府縣ニ現ハレツ、アルト云フコトヲ
十分ニ御考ヲ願ヒタイ(拍手)然ル場合ニ於
キマシテハ、斯様ナ良イ法律案ガ出マスル
場合ニハ、單ニ米ヲ作ッテ其收穫ガ半減シ
タカラト云フ地方ノミニ限ラズ、此法ノ適
用ヲナサルト云フコトニ付テ、内務大臣ノ
御盡力ヲ願ヒタイガ、此點ニ關シマシテ内
務大臣ハ如何ナル御考ヲ有ッテ居ルカ、更ニ
又本法案ハ米ト云フコトガ主デアリマスル
ガ、熊本縣や或ハ其外ノ山嶽地方ノ府縣ニ
於キマシテハ、米ヲ作ラズシテ雜穀ヲ作
リ、或ハ又諸ナドヲ作ッテ生活ノ根據ニ致
シテ居ル、米ハ作リマセヌ、此米ヲ作ラヌ
地方ガ本年ノ旱害、冷害、風害、水害等ニ
因リマシテ、其食糧ノ生産ガ出来ナイト云
フコトヲ考ヘテ見マシタ場合ニ、米ヲ作ラ
ヌカラ本法ハ適用ガ出来ナイト云フヤウナ
コトデアリマスナラバ、此方面ノ人達ノ生
活ヲドウ保障ナサルカ(拍手)此點ニ關シマ
シテモ本法ノ適用ヲシテ戴キタイガ、之ニ
對シテ農林大臣ハ如何ナル御考ヲ有ッテ居
ルカ、更ニ又本法案ニ「應急土木事業ノ施
行困難ナルモノニ對シ」云々トシテアル、
併ナガラ私ガ申スマデモナク、内務大臣ハ
能ク御存ジデアリマセウ、何トカ金ヲ貰ハ
ンケレバナラナイ、仕事ヲシナケレバナラ
ナイカラ、是ハ餘リヤリタクナイケレド
モ、ヤラスト云フコトニナリマスレバ、町

村當局者ノ怠慢ト云フコトデ、村民ニ責メ
ラレル、併ナガラ村民ニ金ヲ與ヘヨウトシ
テ事業ヲスレバ、補助ハ貰フガ、町村ノ負
擔ガ後ニ殘ル、成ベクナラバ事業ヲセズシ
テ、何トカ村民ノ收入ヲ圖ル途ハナイカト
云フコトニ付テ、町村自治ニ當ル者ハ苦心
慘澹致シテ居リマス、併ナガラ何カシナケ
レバ村民ノ糧ヲ與ヘルコトガ出来ナイト云
フ苦境ニ惱ンデ居ル、サウ云フモノニ對シ
テハ強テ土木事業ヲサセズニ、村民ノ必要
ナル米ヲ與ヘテ、時局ヲ救済スルト云フヤ
ウナ方法ヲ講ズルガ宜カラウト思フノデア
リマスルガ、サウ云フ場合ニモ此法案ヲ擴
大致シマシテ、何トカ米ヲ與ヘルト云フ方法
ヲ、農林當局モ、内務當局モ考ヘテ戴キタ
イ、之ニ對スル御所見如何(拍手)農林大臣
ハ先程本法ハ米穀特別會計法ニ準據シテ、
其範圍内ニ於テヤルト仰セラレタ、或ハサ
ウ云フ束縛制限ニ依ッテ、私ガ希望スルヤ
ウナコトハ出来得マイト思フノデアリマス
ルガ、併ナガラ私ハ農林大臣ニ非常ナ期待
ヲ有ッテ居ル、能ク最近ハ官僚政治ダ、或ハ
新官僚ノ徒ダ、或ハ蒙昧無智デアルト云フ
ヤウナ言葉ガ此壇上カラ公然行ハレルヤウ
ナ時代ニナッテ居リマス、洵ニ政府ヲ預ル人々
ノ事件ニ付テ國民ハ色々批判ヲ致シテ居
ル、其間ニ立ッテ、前ハ官僚ノ御出身カモ知
レマセヌガ、最近政黨ノ増埒ニ十分御修養
ナサツタ山崎農林大臣ハ酸イモ甘イモ能ク
御承知ノ筈ダ(拍手)其農林大臣ガ斯様ナ法
ヲ御提出ニナルナラバ、更ニ思切ッテモウ少

シ徹底シタ、國民生活ノ保障ニ重大ノ關係
ノアル米ノ問題ヲ御提出ニナラナクツカ、
即チ斯様ナ狭イ範圍ニ囚ハレズシテ、本當
ニ困ル國民ノ今日ノ生活ヲドウヤッテ救フ
カト云フ、根本的ノ立案ヲナサラナカツタ
カト云フコトニ付テ、非常ニ失望ヲ致シテ
居リマスガ、是ハ申シテモ已ムナキ事デア
リマス
モウ一ツ私ガ御伺シタイ事ハ、應急土木
事業ヲヤレナイ者ニ與ヘルト云フノデアリマ
スルガ、ヤレテモ私ハ米ノ必要ハアルト思フ
ノデアリマス、是ハ私ガ申スマデモナク、應
急土木事業ニ出テ勞銀ヲ贏チ得ル者ハ、僅
ニ一日五十錢若クハ九十錢ノ程度デアリマ
ス、一日五十錢、九十錢ヲ朝カラ晩マデ働
イテ得タ所デ、一家五人、六人ノ米代ヲ果シ
テ充シ得ルト御考ニナッテ居ルカ、斯ウ云フ
場合ヲ考ヘマスルト云フト、土木事業ヲ行
ヒ得ル所ノモノデモ、米ニ困ッテ居ルト云
フモノニ對シテハ、此法ノ適用ヲシテ戴キ
タイ、更ニ又私ガ疑惑ニ存ズルコトハ、成
程米穀特別會計法ノ爲ニ、三月三十一日限
リト云フコトニナッテ居ルノデアリマセウ
ガ、本當ニ米ノ飢饉ヲ感ジマシテ、米ガ欲
シイト云フノハ三月末日以後デアリマス、
サウシテ應急土木事業ナドモ四月五月ニ
ナリマスレバ、農繁期ニ入りマシテ、是
ガ出来マセヌ、一番米ノ欲シイ時ハ寧ロ四
月以降六月マデデアルト私ハ考ヘマス、
デアリマスカラシテ此米穀法ニ囚レタ本案
ニ依リマスレバ、救済ハ出来ナイ、此事情

ヲ能ク御諒解デアルトシマスレバ、更ニ來
ルベキ通常議會ニ於キマシテ何カノ御提案
ガナクテハナラヌト私ハ存ズルノデアリマ
ス、此點ニ付キマシテ農林大臣、内務大臣
ノ所見ヲ御伺致シタイノデアリマス、他ニ
色々御伺シタイコトガアリマスルガ、先程
申シタ通りニ色々迷惑ヲ考ヘマシテ、私
ハ委員會ノ席ニ於キマシテ更ニ十分同僚諸
君ト共ニ質シタイト思ヒマシテ、此程度ニ
止メタイノデアリマス(拍手)
(國務大臣山崎達之輔君登壇)
○國務大臣(山崎達之輔君) 只今戸田君ノ
數項ニ互ル御尋デゴザイマシタガ、詳シイ
コトハ矢張委員會申上ゲマス方宜カラ
ウト思ヒマスガ、唯々概括的ニ一言申上ゲテ
置キマスコトハ、先程林君ノ御問ニ對シテ
申上ゲマシタヤウニ之ヲ制限シテ、エライ
緩メマシテ行フト云フコトハ、ドウシテモ此
米穀結制法ナリ、或ハ米穀特別會計法ナリ
ノ建前カラ致シマシテ不可能ノコトデアリ
マス、矢張或ル程度ノ制限ハ置カナケレバ
ナラヌノデアリマス、ソコデ制限ヲ置クトシ
マスト云フト、其境目ガ洵ニ色々疑問ノ
起ルト云フコトハ是ハ免レナイ、所ガソレ
ヲ怖ガッテ居ッテハ、斯ウ云フ仕事ハ出来ヌ
コトニナル譯デアリマスカラ、ソコハ一ツ
ドウカ十分呑込シテ戴キタイ、之ヲ次々ト
認メテ行キマシタナラバ、其結果ハ此立法
ガ消滅スルヨリ仕方ガナイ虞ガアリマス、
デアリマスカラ境目ニ或ル程度ノ疑問ノ起
ルコトハ認メマスケレドモ、ソコハ一ツド

ウカ能ク吞込シテ載キマセスト、中々斯ウ云フコトハ直グ行フコトハ出来ヌイノデアリマスカラ、ドウカサウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒタイ、尤モ戸田君ノ御心配ハ主トシテ養蠶地方ニ付テノ御關係ノコトデアラウト思フノデアリマシテ、御尤デアリマスガ、之ニ付キマシテハ今年ノ如キモ相當多量ノ政府所有米ヲ、或ハ六年米デアルトカ、七年米デアルトカト云フヤウナ幾ラカ格安ナ古米ヲ、相當多量ニ供給致シテ居ルノデアリマスカラ、左様ナコトハ今後ニ於テ出来ル限りノ便宜ヲ圖リタイと思ヒマス、唯此立法ニ依テ解決シタイと思ヒマス急場ノ間ニ合セト同時ニ、備荒貯蓄ト云フコトヲ結付ケテ、ソレデ米穀特別會計ノ働ノ出来ルヤウナ仕組ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、其點ハドウカ一ツ能ク各種ノコトヲ御諒察願ヒタイ譯デアリマス、詳シイコトハ委員會デ申上ゲマス

〔國務大臣後藤文夫君登壇〕

○國務大臣(後藤文夫君) 戸田君ノ私ニ對スル御尋ニ付キマシテハ、只今農林大臣カラ殆ド、私ガ別ニ附加ヘル所ノナイ程ニ御話ガゴザイマシタ、養蠶地方ノ困窮シテ居ルコトハ、私共能ク承知致シテ居リマス、唯米穀特別會計法ノ持ツ米ヲ活用スル問題ニナリマスト云フト、色々ト今農林大臣ノ申サレタヤウニ考慮シナケレバナラヌ點ガゴザイマスノデ、矢張他ノ救済手段ガ行ハレ、又米ノ特別拂下ノ供給トカ、便宜ガ圖ラレテ、ソレデ調節ヲ取ルト云フコトニ致

ス外ハナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、東北地方ノ窮乏ヲ顧ミテ、先ヅ差當リ此冬季ノ積雪ノ、働ノ出来ナイ時期ニ此米ノ活用ヲ致シテ、ソレガ懸テ備荒貯蓄ヘ振替ハルト云フ風ニ大體考ヘマシテ、此制度ガ出来テ居ル譯デアリマス、一般ノ事柄ニ付キマシテ、米穀政策ト併セテ考ヘル問題ニ付キマシテハ、只今農林大臣ノ申サレタコトデ大體ハ盡シテ居ルモノト存ジマス

○戸田由美君 只今兩大臣ノ答辯ハ、胸ニ落チタ所モアリマスガ、落チナイ所モアルノデアリマス、又私ガ御伺シタ點ニ付テ御答ノナイ點モ多クアリマス、併シ此場合餘リ重ネテ質問應答ヲ致スト云フコトハ宜シクナイト考ヘマスカラ、私ノ質問ハ委員會ニ於テ致シタイと思ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ハ終リマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名二十七名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四、昭和九年度法律第五號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——大藏政務次官矢吹省三君

第四 昭和九年度法律第五號中改正法律案(昭和九年度一般會計歲出ノ財源

ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

昭和九年度法律第五號中改正法律案 昭和九年度法律第五號中左ノ通改正ス 第一條中「六億六百萬圓」ヲ「六億七千六百十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員男爵矢吹省三君登壇〕

○政府委員(男爵矢吹省三君) 只今議題トナリマシタ昭和九年度法律第五號中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、曩ニ第六十五回帝國議會ニ於テ、昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲メ、公債ヲ發行スルコトヲ得ル法律ヲ成立ヲ見タノデアリマスガ、別途提出致シマシタ昭和九年度歲入歳出總算追加第一號ニ計上セル經費ノ財源トシテ、普通歲入八百萬圓ノ外約六千九百九十九萬圓ハ、今日ノ場合之ヲ公債ニ依ルノ外アリマセヌ、而シテ此金額ノ内六十九萬五千圓ハ、既存ノ道路公債法ニ依リ、公債ヲ發行スルコト、ナリマシタノデ、差引約六千九百二十萬圓ノ新ニ起債權ヲ得ルノ必要ガアリマス、是ガ爲ニハ昭和九年度法律第五號中ノ公債發行限度ヲ擴張スルコトヲ要シマスノデ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラントヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ニ付テハ質疑ノ通告ガアリマセヌ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ日程ハ了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日は是ニテ散會

午後七時十九分散會

〔松岡俊三君演說參照〕

山形縣下ニ於ケル凶作飢饉

元明天皇ノ和銅五年(紀元一千三百七十二年)所謂凶作飢饉以來ニ於テ史實ニ明瞭ナ凶作飢饉ヲ編別年ニ摘記スレバ左ノ如クデアル。

元明天皇 和銅六年(紀元一三七三) 十一月、伊賀、伊勢、尾張、三河、出羽大風アリ。新稼傷ク、調ヲ免ゼラル。〔續日本紀〕

淳仁天皇 天平寶字七年(紀元一四二三) 二月出羽、信濃、豐岐、陸奥、伊賀、河内、尾張、越前、大和、美濃、山陽、南海飢エ賑給ス。〔續日本紀〕

光仁天皇 寶龜四年(紀元一四三三) 近江、飛彈、出羽ノ諸國大風アリ。百姓飢エ賑給ヲ賜フ。天下穀價騰貴、百姓飢急ス。〔續日本紀〕

桓武天皇 延暦四年(紀元一四四五) 六月乙丑出羽、丹羽飢饉賑給セララル。〔續日本紀〕

淳和天皇 天長七年(紀元一四九〇) 正月
出羽地震アリ死傷多シ。「日本後記」正月
陸奥出羽疫病流行死者多シ「日本後記」。
四月出羽ノ震害ニ賑給シ當年租ヲ免ズ。
「日本後記」

淳和天皇 天長九年(紀元一四九二) 出羽
國言ス、窮弊ノ百姓アリト。詔シテ賑給
セシム。「類聚國史」

仁明天皇 承和四年(紀元一四九七) 六月
出羽守小野朝臣完成出羽最上郡ニ濟苦院
ヲ建ツ。「續日本後記」

仁明天皇 承和八年(紀元一五〇一) 出羽
國百姓二万六百六十八人ニ復一年ヲ給フ。
飢饉ナルヲ以テナリ。

八月出羽國雷電十有餘日、田川海濱五十
里間多ク石鏃石劍等ヲ露出ス。「續日本後
記」

仁明天皇 承和十三年(紀元一五〇六) 五
月出羽國飢ユ使ヲ遣シ賑給セシム。「續日
本後記」

仁明天皇 嘉祥二年(紀元一五一〇) 十月
出羽國地震山谷處在壓死スル者多シ。「日
本文德天皇實錄」

文德天皇 齊衡元年(紀元一五一四) 十二
月出羽國穀登ラズ、百姓困窮所在強盜多
シ。國府奏シ援兵二千人ヲ請フ。勅シテ
一千人ヲ發セシム。五月穀一萬石ヲ賜ヒ
テ賑給セラシム。「日本文德天皇實錄」

文德天皇 齊衡二年(紀元一五一五) 九
月詔シテ出羽國困窮百姓一萬九千餘口ニ
賑給ス。「續日本後記」

清和天皇 貞觀元年(紀元一五一九) 十
月去秋陸奥國洪水、出羽國霜雹アリ。勅
シテ之ヲ賑給。「日本文德天皇實錄」

清和天皇 貞觀七年(紀元一五二六) 五
月出羽旱疫ス。正稅十萬束ヲ窮民ニ假貸
ス。「日本三代實錄」

清和天皇 貞觀十五年(紀元一五三三) 三
月陸奥、出羽頻年登ラズ賑給ス。「日本
三代實錄」

陽成天皇 元慶二年(紀元一五三八) 四
月半歲旱害諸國飢饉、特ニ出羽甚シク百
姓飢弊ス。「山形縣西村山郡史」

陽成天皇 元慶四年(紀元一五四〇) 二
月出羽國頻年ノ飢饉ニ百姓病弊ス因ツテ
三郡ニ賑給ス。「日本三代實錄」

陽成天皇 元慶五年(紀元一五四一) 二
月勅シテ出羽國四郡ノ調庸一年ヲ復シ又
不動穀六千二百九十石七斗ヲ狄俘八百三人
ニ給與セラシム。「日本三代實錄」

(註) 陽成天皇ノ朝ヨリ後深草天皇ノ
朝ニ至ルマデ「大日本史文書」「扶桑略
記」「日本紀略」等ニ數年月毎ニ全國的
ナル凶作飢饉ノ記錄存スルモ山形縣史ニ

何等之ニ關スル明記ナキヲ遺憾トス。
後深草天皇 正元元年(紀元一九一九)
二月鎌倉府陸奥ノ地頭ニ令シ、飢饉ノ際
遠近ノ飢民山野ニ募預等ヲ採リ江海魚鱗、
海藻ヲ取ルヲ禁遏スルコトヲ得ザラシム。
頻年飢饉アレバナリ。「山形縣西村山郡
史」

稱光天皇 應永三十一年(紀元二〇八四)
此年飢饉、人多ク死シ往々舉村無人ニ至
ル。「西村山郡史」

後花園天皇 正長元年(紀元二〇八八)
此年又々大飢饉。「西村山郡史」

後花園天皇 寬正二年(紀元二二二二)
疫饑、屍骸巷ニ充ツ。「西村山郡史」

(註) 此ノ邊、縣及郡史共殆下戰國亂
世ノ記錄ノミニテ埋メラレ農民ノ生活
狀態ヲ窺知セムトスルモ能ハズ。

明正天皇 寬永十八年(紀元二三〇二)
荊川火、出羽國凶作。「山形縣上、山
凶荒錄」

明正天皇 寬永十八、十九年(紀元二三〇
二、二三〇三) 春夏ノ間天下大イニ
飢ユ。六月七日上杉定勝、去歲凶作米價
騰貴、庶民困厄セルヲ以テ冬所ニ榜示シ
米價ヲ一定セシム。「寄合帳」

後光明天皇 慶安二年(紀元二三〇九) 東
國米勢不熟。「大日本貨幣史」

靈元天皇 寬文七年(紀元二三二七) 米穀
不熟、諸國飢民多シ與羽甚シ。「大日本貨
幣史」

靈元天皇 寬文八年(紀元二三二八) 六七
月寒冷冬ノ如シ、諸國飢饉ス與羽殊ニ甚
シ。「日本野史」

靈元天皇 寬文九年(紀元二三二九) 春諸
國大イニ飢ユ與羽殊ニ然リ。「日本野史」

靈元天皇 延寶八年(紀元二三四〇) 與羽
大風雨洪水ニテ米穀實ラズ。「米商舊記」

東山天皇 元祿七年(紀元二三四五) 與羽
關東米穀不熟米一石值銀六十五匁ヨリ六

十九匁三分ニ至ル。「大日本貨幣史」

東山天皇 元祿十三年(紀元二三六〇) 二
月米澤城主上杉綱憲、去歲風害作毛不
熟、世上飢饉ニ憂フト聞キ、令シテ穀物
ノ浪費ヲ戒令ス。「御式目」

東山天皇 元祿十四年(紀元二三六一) 八
月二十一日風雨洪水、米澤城主上杉綱憲
領内ノ被害ヲ募府ニ啓申ス。「編年文書」
一、八百五十町餘田畑川缺水損毛六分。

東山天皇 元祿十六年(紀元二三六三) 此
年關東與羽凶作、米一石值銀ニテ九
十二匁ナリ。「大日本貨幣史」

中御門天皇 享保二年(紀元二三七七) 八
月出羽大風雨アリテ稼ヲ傷ク。「弘賢筆
記」泰平年表

中御門天皇 享保五年(紀元二三八〇) 七
月鶴岡城主酒井忠貞勢騰リ民飢ユルヲ以
テ粥ヲ領内ニ施與スルコト凡ソ六十日其
數三万七千七百二十八人。「酒井世紀」

同月皆賜郡屋代郷各村飢ユ。高島代官所
令ヲ出シ米ヲ郷外ニ輸出スルコトヲ禁止
ス。「山形縣史」

十一月二十二日米澤城主上杉吉憲領内當
年ノ損耗高ヲ幕府ニ注進ス。「凶荒錄」
一、二万七千六百五十二石餘 所々水押
川缺蟲付不熟。

中御門天皇 享保十四年(紀元二三八九)
六月二十七日村山郡ノ名主等大旱魃ノ狀
況ヲ江戶ニ注進ス。「諸邑留書帳」

中御門天皇 享保十六年(紀元二三九一)
六月大イニ旱ス。村山郡ノ名主等其ノ狀

況ヲ江戸ニ注進ス。〔諸邑留書帳〕

櫻町天皇 元文二年(紀元二二九七) 六月

十二日高力攝津守所領ノ不作、狀況ヲ江戸ニ注進ス。

三月二十日頃ヨリ長雨續キ五月九日大嵐。〔諸邑留書帳〕

櫻町天皇 元文三年(紀元二二九八) 元祿

以降農村疲弊凶歲相次グヲ以テ令シテ貢賦滯納七ヶ年間御免ヲ定ム。〔大政秘鑑〕

櫻町天皇 元文五年(紀元二四〇〇) 米穀不熟途ニ餓孚ノ慘アリ。〔北羽發達史〕

櫻町天皇 延享二年(紀元二四〇四) 九月米穀不熟米價騰貴。五月ヨリ降雨土用中ヨリ降り續キ大凶作、夏米一俵六百六十文位ノモノ、九月ヨリ一貫三百文ト成ル。

〔東村山郡史〕

櫻町天皇 延享三年(紀元二四〇五) 七月降霜雪ノ如ク禾穀大害ヲ被ル。〔東村山郡史〕

桃園天皇 寶延元年(紀元二四〇八) 十月二十二日西村山郡白岩郷諸村百姓頻年凶作人民困乏ノ故ヲ以テ貢賦寛宥ヲ江戸奉行所ニ訴フ。〔西村山郡史〕

桃園天皇 寶延二年(紀元二四〇九) 十一月米澤城主上杉重定、領内ノ損耗高ヲ幕府ニ申達ス。〔凶荒錄〕一、損耗高四万七千二百七十石。

桃園天皇 寬延五年(紀元二四一二) 九月米澤城主上杉重定、去ル六月二十五日、二十八日、八月十一日ノ風雨洪水田畑損耗ヲ幕府ニ申達ス。〔凶荒錄〕二、損耗高二

萬八千九百四十九石餘 一、堰川押流五十三ヶ所 一、山崩道損共十八ヶ所。

桃園天皇 寶曆三年(紀元二四一三) 五月七日大電アリ禾穀ノ被害甚大。〔西村山郡史〕

桃園天皇 寶曆五年(紀元二四一五) 九月米澤城主上杉重定、六月ヨリ七月ニ至ル霖雨洪水、田畑損耗其他被害ヲ幕府ニ申達ス。〔凶荒錄〕一、損耗高 三万七千七百八十石餘 一、川缺水押田畑 二千七百四十九町九段餘 一、堰川押切 二百八十六ヶ所 一、道路破損 五百二十一ヶ所 一、潰家 十二軒

寶曆五年春十萬六千三百五十人ヲ算シタル人口ハ同六年ニハ十萬二千六百二十八人ニ減ジタリ。〔鷹山公ノ農政〕

桃園天皇 寶曆六年(紀元二四一六) 十一月二十七日上杉重定領内損耗高ヲ幕府ニ啓申ス。〔凶荒錄〕一、損耗高五萬三千五百石餘 一、田畑四千三百十町餘不熟 二十九日米澤城下大洪水。〔凶荒錄〕

最上川平水ヨリ高キコト三丈餘。數十町歩ノ土地流失。〔谷地町史〕

八月上杉重定被害ヲ幕府ニ啓申ス。〔凶荒錄〕一、損耗高 八萬二千二百七十一石餘 一、田畑 六千六百六十八町六畝餘

一、流家 三百九十七軒 一落橋 千二百二十九ヶ所 一、山崩 七千六百七十九ヶ所 一、道崩 五百三十ヶ所 一、川

除堰押切 七百五十六ヶ所 一、倒木二萬三千五百七十七本 一、流死人 二十七人 一、流死馬 九疋 一、流死牛 五疋

後櫻町天皇 明和七年(紀元二四三〇) 五月ヨリ降雨無ク大旱魃ニ付林泉寺ニテ雲祭、秋來旱損不熟、北條郷(留賜郡)皆式不登、酒豆腐御停止。〔大政秘鑑〕

後桃園天皇 明和八年(紀元二四三一) 六月五日天大イニ旱シ米澤城主上杉治憲其ノ祖謙信祠堂ニ祈リ、愛宕山ニ登リ雲祭ス。〔太政秘鑑〕

後桃園天皇 安永二年(紀元二四三三) 五月以降天大イニ旱シ米穀不熟、十月二十九日上杉治憲領内損毛高ヲ幕府ニ啓申ス。〔凶荒錄〕一、損耗高 八萬二千五百三十四石七斗五升餘 一、田畑 六千七百四十九町一段步餘

後桃園天皇 安永六年(紀元二四三七) 七月月出羽陸奥兩國大洪水。〔北羽發達史〕

光格天皇 天明元年(紀元二四四一) 九月去歲以來米穀不熟、穀價騰貴、細民頗ル難澁ス。〔山形縣史〕

光格天皇 天明三年(紀元二四四三) 諸國奥羽諸國殊ニ甚シク、牛馬雞犬ノ肉ハ固ヨリ雜草樹皮迄モ食ヒ盡シ道路ニ斃死スル者其ノ數ヲ知ラズ。〔天明年度凶歲日記〕十月二十九日上杉治憲領内損耗高ヲ幕府ニ啓申ス。〔凶荒錄〕一、損耗高 拾

一萬五千一百一十石餘 一、田畑 八千九百八町步餘

光格天皇 天明四年(紀元二四四四) 凶荒

ノ餘時疫流行シ死者多シ。百姓流亡日々ニ千人二人ト餓死セシ由ナリ。〔後見草〕

光格天皇 天明六年(紀元二四四六) 九月七日米穀登ラズ、米價騰貴、人民相集リ所在酒造家ニ迫リ釀酒ヲ飲ミ盡ス。〔西村山郡史〕

十二月二日村山郡ニ小作爭議頻發。〔西村山郡史〕

光格天皇 天明七年(紀元二四四七) 天下大飢饉、各地ニ米騒動勃發ス。米價奔騰シテ一兩ニ付一斗八九升ナリ。〔西村山郡史〕

光格天皇 享和元年(紀元二四六一) 去歲以來凶作ニテ米價騰貴、農民蜂起ス。〔西村山郡史〕十三朝紀聞

仁孝天皇 文政七年(紀元二四八四) 七月十五日大雨洪水、堤防破壞秋元久朝將士ニ令シテ防禦ニカム。〔東村山郡史〕

仁孝天皇 天保元年(紀元二四九〇) 十月六日上杉齊定洪水被害蟲害損耗高ヲ幕府ニ啓申ス。〔凶荒錄〕 水害ニ因ルモノ

一、損毛高 四萬八百九十八石八斗七合一、田畑 二千九百八十八町二段四畝十一歩 蟲害ニ因ルモノ 一、損毛高 二萬七千九百六十四石五斗八升三合一、田

方段別 千八百六十四町三段餘

仁孝天皇 天保三年(紀元二四九二) 九月米澤城主上杉齊定、凶荒ノタメ米價騰貴、庶民艱苦セルヲ以テ一戸三升限ノ施米ヲ施行セシメ、又藏倉ヲ開イテ糶賣セシム。

「御式目」

仁孝天皇 天保四年(紀元二四九三) 六月

寒冷冬ノ如ク紅葉ヲ摘ムニ焚火ヲ以テ暖ヲ探ル。秋ノ末マデ雨熄マズ雜草樹皮悉ク食ヒ盡ス。上杉齊定領内損毛高ヲ幕府ニ申啓ス。「御式目」一、損毛高十二万六千四百八十石 一、田畑 四万八千四百二十七町步

十月二十六日越國國及羽前ニ地震起リ家屋倒塌一千十三戸、死者四十二名。「徳川理財會要」

冬ニ至リテ飢民皆盜ト化ス。「十三朝紀聞」

仁孝天皇 天保五年(紀元二四九四) 二月

奥羽凶荒ニ付私ニ貯米スルヲ嚴禁ス。「大日本貨幣史」

六月米價騰貴ニ付米ノ賣買ニ關シ令達ス「大日本貨幣史」

仁孝天皇 天保六年(紀元二四九五) 十月

十三日上杉齊定領内損毛高ヲ幕府ニ啓申ス「御年譜」一、損耗高 十一万五千六百九十九石五斗三升六合

仁孝天皇 天保七年(紀元二四九六) 十二月

月十六日上杉齊定救荒ノ令ヲ布ク。又領内損毛高ヲ幕府ニ啓申ス。「御式目」一、損毛高十一万六千九百五十八石三斗四升七合

奥羽諸國ノ飢民爭ウテ江戸ニ赴ク者多ク、餓孚衢ニ盈ツ「四天詩史」「皇國史略」

仁孝天皇 天保八年(紀元二四九七) 二月

大風雨、三月白岩郷山間ノ村民數百人蜂

起シ廻米七分ヲ置米トシ、且一俵金一分二朱ニ定價セラレシコトヲ請願ス。「西村山郷史」

仁孝天皇 天保九年(紀元二四九八) 十月

二十八日上杉齊定領内損毛高ヲ幕府ニ啓申ス。「探史月表」 損耗高 九万五千石餘

孝明天皇 弘化四年(紀元二五〇七) 五月

出羽庄内大雨アリ。雪解川ニ洪水セリ。田畑損傷不尠。「續泰平年表」

孝明天皇 嘉永三年(紀元二五一一) 奥羽

諸國飢饉。人民困窮ス「日本農民騷動史」

孝明天皇 嘉永六年(紀元二五一一) 十月

村山地方旱損夥大。人民頗ル困厄ス。因ッテ三年間大儉施行。「西村山郷史」

十月二十五日上杉齊定領内旱損高ヲ幕府ニ啓申ス。一、損毛高 五万六千二百五十九石

孝明天皇 安政六年(紀元二五一一) 四月

村山地方ニ暴風降雹田畑損傷大ナリ。「西村山郷史」

孝明天皇 文久元年(紀元二五二二) 去歲

以來風水害頻繁ニシテ田畑不作ナレバ廻米高三分ノ一ヲ以テ御救願石代トシ、自餘ハ劣等米トシテ藏納ヲ許可サレシコトヲ請願ス。「西村山郷史」

孝明天皇 慶應二年(紀元二五二六) 七月

連年ノ凶作續キニテ米價騰貴甚シク米一俵(三斗五升入)金一兩二分二朱ニ値ス。「西村山郷史」

(註) 以上ハ出羽國建直以來、藩政ニ至

ルマデノ史實ニ記録サレタ凶作、飢饉ノ年表デアル。明治維新以後ノ資料ハ權藤成郷氏著「日本震災凶饉攷」及古老ノ談話ニ依ル。

明治時代以後

明治天皇 元年 洪水アリ田畑被害多シ。

明治天皇 二年 夏季寒冷霖雨多ク五穀登ラズ。

明治天皇 六年 旱害及蟲害ニテ凶作ナリ。

明治天皇 七年 夏奥羽北海道霖雨アリ、不作ナリ。

明治天皇 十年 風水害及蟲害アリ凶作。

明治天皇 十一年 水蟲害ニテ不作ナリ。

明治天皇 十二年 水蟲害ニテ不作ナリ。

明治天皇 十三年 風水害甚シク、凶作ナリ。

明治天皇 十五年 風水害ニテ凶作ナリ。

明治天皇 十六年 春夏旱害甚シク凶作ナリ。

明治天皇 十七年 風水害及蟲害ニテ凶作ナリ。

明治天皇 十八年 風水害ニテ不作ナリ。

明治天皇 十九年 風水害、旱害及蟲害ニテ飢饉ナリ。

明治天皇 二十年 風水害ニテ凶作ナリ。

明治天皇 二十二年 東北旱害秋收大イニ減ズ。

明治天皇 二十五年 風水害ニテ凶作ナリ。

明治天皇 二十七年 十月二十二日庄内地方激震アリ

倒壊家屋一万、死者七百二十六名、凶テ地租減免ノ詔アリ。

明治天皇 二十九年 東北秋收大イニ減ズ、飢饉ナリ。

明治天皇 三十年 東北旱害飢饉ナリ。人民困厄甚シ。

明治天皇 三十一年 又々飢饉ニシテ窮乏極ニ達ス。

明治天皇 三十五年 東北旱冷、秋收減耗飢饉ナリ。

明治天皇 三十八年 東北秋收大イニ減ズ。

明治天皇 四十三年 八月ヨリ九月ニカケテ大洪水凶作ナリ。

明治天皇 四十四年 大風雨ニテ凶作ナリ。

大正天皇 元年 東北旱害秋收大イニ減ズ。

大正天皇 二年 東北旱害飢饉甚クモ陛下ノ御手許金六千圓ヲ賜フ。

大正天皇 七年 水害甚シク凶作ナリ。

大正天皇 十五年 六月二十九日東北地方旱魃ニテ期米又百丁捧上ガ。日本社會經濟編年史」

昭和六年 東北又々凶作。

同 九年 東北大凶作、天明ノ凶作ニ劣ラズ。

雪害第二建白書

(昭和七年一月一日)

(公ニシタルモノナリ)

謹ンデ雪國日本人ノ心情ヲ再ビ録シテ聞

下ノ御清鑒ヲ仰ギ候。

夫レ天ノ作爲ハ人智ノ進歩ヲ以テ果シテ對抗シ得ザルモノナルカ。天、之ヲ降ラシ民ノ生活ヲ脅威ニ導ク積雪ハ、人力ノ以テ如何トモ爲シ能ハザルモノナルカ。吾人甚ダ之ニ惑フ。

天、豪雨ヲ降ラシテ橋梁堤防ヲ破壊スルヤ、國家ハ行政ノ偉力ヲ以テ直チニ之ヲ修補シ倍舊ノ觀ヲ呈サシム、爲メニ住民益々政治ヲ德トス。天、大風ヲ送リテ破壊橫行到ラザルナシト雖、熄ムニ從テ舊態ヲ更メ、眞ニ大風一過、蹟跡ヲ止ムルナシ。又天地鳴動、震撼災禍、數次之ヲ襲フモ住民他ニ轉ズルヲ欲セズ、政治ノ妙力茲ニ發揮スルガ故ニ然ル也。更ニ旱害ノ慘アラバ直チニ公租公課ノ減免ヲ以テ之ヲ償ヒ、降霜、耕地ヲ害スルヲ見レバ、巨額ノ補助ヲナスニ止マラズ、講學探究以テ未然防止ノ術ヲ作ルニ努ム。更ニ火ヲ弄ビ、火ヲ失シ、以テ擴大スルヲ報ズルヤ、之ヲ慰ムルニ其ノ足ラザルヲ恐ル、ニ似タリ。

夫レ斯ノ如ク震火災、風水害、旱害、霜害ハ所謂災害ト目シテ、政府ハ法律勅令ニ、補助、保護ノ名實ヲ規定シ、社會人ノ心理亦之ニ隨フヲ見ル。而シテ獨リ天ノ作爲スル降雪積雪ハ、政府ノ律令百般ニ災害ト見做サズ補助、保護ヲ與フル所絶無ナリ。

抑々滿天驟々、滿地ヲ淨化セズンバ止マザル降雪積雪ハ、美的ナルガ故ニ天災ニハ非ラザル哉。之ヲ震火災、風水害、旱害、霜害ノ災害トハ相區別シテ帝國法令ノ災害

規定外ニ置クベキ性質、果シテ如何ナル理由ニヨリテ然ルカ。

少シク雪害ノ一端ヲ舒スレバ、青森縣一人ノ生産額ハ百二十圓ニシテ日本最下位、山形縣民ハ百三十圓ニシテ帝國第二ノ低劣生産額ナリ。又青森縣一ケ年ノ降雪日數ハ、百六日ニシテ終年ヲ通ジ快晴ノ日僅カニ十日アルノミ、山形縣ハ同九十六日ノ降雪アリテ二十二日ノ快晴ヲ見ル。之ニ反シ和歌山縣ハ降雪五日、快晴七十六日ニシテ生産額二百七十七圓ナリ。

若シ夫レ國、縣、市町村稅ノ諸負擔一人當リヲ生産額ニ對シ比較檢討セバ、青森縣民ハ十六圓三十一錢ニシテ一割三分五厘(國內第三位ノ高率)、山形縣民ハ十九圓七十一錢トナリ一割五分(國內第二位ノ高率)、和歌山縣民ハ十七圓五十九錢ニシテ六分三厘(國中最低稅金)トナリ、概ネ積雪地帶ノ住民ハ生産甚ダ少ナキニ反シ稅負擔却ッテ高ク且生活ニ苦シミ、暖國同胞ノ稅負擔ハ大イニ低キニ反シ生産額特ニ高クシテ生活ニ餘裕アルハ、内閣統計ノ歷然タル數字ヲ語リテ明證ス。

負擔能力ノ所有者ニ之ヲ課スルハ固ヨリソノ所ナルモ、實力之ニ伴ハズシテ苛重負擔ノ責ニ任ゼンカ、結論的窮迫ハ名狀スベカラザルモノトナルノミ。

即チ雪國國民ノ教育費ハ漸減シ、衛生費ハ極度ニ節約サレ、爲メニ人材ハ虛器ヲ擁シテ空シク埋レ、反對ニ乳幼児成人共ニ死亡ノ高率ヲ示シ限病、盲人ハ驚クベキ多數ニ

達シ、其ノ生命ヲ繫グニノミ汲々乎トシ、人生ノ向上ニ奮闘スル能ハズシテ只死所ヲ急グニ似タリ。生ヲ同一國內ニ享ケ、雪國人タルガ故ニ斯ノ如クナラザルヲ得ザルベシトスレバ、一片烈々ノ涙ナクシテ正觀ヲ許スモノナランヤ。

明治三十五年東北六縣ニ凶作アリ、大正二年東北六縣ニ凶作再來シテ飢饉畜類ニ及ブ。而シテ本年三度、凶作東北ノ天地ヲ襲ヒ、餓孚將ニ途ニ横ハラントス。

聖上 畏クモ大御心ヲ國中ノ凶作ニ痛メサセ給フ事、維新後三度、皆悉ク東北六縣ニノミ存シ、他府縣ニ未ダ其ノ事絶無ナリ。我等、聖恩ニ感泣シ日夜之ヲ拜シテ、尊皇奉國ノ誠ヲ抽シデント相語リ、相傳フ。故ニ凶作一家ヲ破ルモ、國策國難ニ臨ンデハ酷寒滿蒙ノ最先出征ニ從ヒ、父兄ハ喜ンデ之ヲ送り、健兒ハ勇ンデ死地ニ就ク、焉クンゾ忠貞斯ノ如クナルモノアリヤ。

從順、純朴、嬉々トシテ完全ニ國家ノ義務ヲ果スハ吾等雪國日本人ナリト、敢テ閣下ニ告白スルヲ躊躇セザルノナリ。然ルニ顧ミテ、募郷ノ山河、劃期的ニ凶作相次イデ來ル。降雪、積雪連年夥シク百五十五日間ヲ雪中穴居ニ等シカラシムルノ結果ハ、生産ニ腐心シテ生産ヲ不可能ナラシメ、融雪類雪ハ災害ヲ屢々作り、道路橋梁ノ破壊腐朽亦頗ル甚シク、其ノ他ノ各般之ガ爲メニ阻碍セラレ、支出自ラ激増シ、負擔ノ苛重前述ノ如ク國內一、二ノ高位ヲ占ム。然

リ而シテ國家ハ低劣ナル生産ト高率ナル稅負擔ノ原因トヲ、監督、調査、育成ノ途ヲ講ズル事ヲ敢ヘテ爲サズシテ、各縣ソノ爲スガ儘ニ放置ス、恰カモ弱肉強食、群雄割據、封建ノ幕政ニモ似タルガ如ク、統一日本政治ノ實何レニアリヤ疑ハシメントシテ、爲政者平然タリ。吁、危イ哉。

東北ノ雪國民、稚心ニシテ愛スベク、鈍重ニシテ拘スベク、無知ニシテ憐ムベク、未ダ憲政本義ノ權利ヲ善解セズ、進ンデ暢達ノ途ヲモ求メズ。

又連年雪害ニヨル經濟彈力ノ微弱ハ、一度凶作ニ逢フヤ遂ニ草根木皮ヲ食スルニ至リ、雪害亦恢復ヲ阻ミテ容易ニ立直ルヲ得ザルニ、再ビ三度、凶作ハ周期的定石法ノ如ク猛襲ス。然ルニ政府ハ降雪積雪ヲ災害ト認メズ、凶作ノ遠因隋力ハ雪害ニアルベキヲ努メテ知ラザラントスルニ近シ。

而シテ一時的表現ノ凶作ヲ捉ヘテ、義捐、救濟ヲ叫ブトハ何ゾヤ、夫レ政府ハ爲スベキノ責務ヲ怠リ、其ノ此處ニ到ラザルヲ得セシメテ、却ッテ天爲ニ轉嫁シ、恩ヲ雪國民ニ賣リ、彼等ヲ驅ッテ叩頭哀願ノ卑屈心ヲ培養セントスルモノ、如シ、誤レルノ甚シキ天下未ダ斯ノ如キモノアルヲ見ズ。政府ハ只速力ニ正常ノ事ヲ正シク爲セバ可也。

嗚々、東北ノ雪國人之ヲ懇ヘザルノ罪カ懇ヘザルガ故ニ爲政者之ヲ放置シテ顧ミザルハ當然ナルカ、吾人甚ダ感ナキ能ハザル也、天爲ハ人力ノ以テ如何トモ爲シ能ハザル

モノナリトセバ、政府ハ震火災、風水害、旱害、霜害ヲ災害ト認メテ、法令ニ保護、補助ヲ規定シ、且ツ進ンデ防止ノ研究ニ學術ヲ應用スルハ自己矛盾ナリ。

天ノ同一作爲タル雪害ヲ災害規定ノ圈外ニ置キ、國家ノ法律命令ニ寸毫微塵モ保護、補助ヲ加味スルナク、且ツ帝國議會ハ三度決議シタルモ未ダ對應研究ノ手ヲ染メズ。

況ンヤ海中魚獲ノ水産モ、地中採鑛ノ鑛業モ、以テ國家ノ産業發展ニ資スルトコロ大ナリトシテ補助保護ニ努メテ周到ラザルナキニ拘ハラズ、國內人口ノ三分ノ一ヲ占ムル雪國千五百万民ガ、一年百五十日間ノ雪中穴居ノ浪費ヲ絶滅セシメテ生産ニ移ラシメ、陰慘ノ精神ヲ快潤ナラシメ、活潑剛健ノ體質ナラシムル等、一石三鳥ノ效果的雪害對策ノ工夫ヲナサルハ、果シテ國家ニ忠ナル爲政者ト謂フヲ得ベキカ。

顧ミテ、雪害問題ト雪國日本人ノ生活實情トハ、思想的觀察價值ナシト誰ガ斷ズルゾ。

陛下ノ同一赤子タル雪國日本人ハ、國家ノ義務ヲ完全ニ果シテ權利ヲ未ダ主張セザル者ナルヲ、爲政者ハ牢記セザルベカラザル也。思想的觀察價值ノ最モ必要ナルモノナリト判斷シタル吾人ハ、憂國ノ熱情、拱手默念ヲ許サズ、敢テ雪害第二建白書ヲ奉ル所以也。希クハ何卒御深憂ヲ賜ハリ國家百年ノ悔ヲ絶タレンコトヲ懇望仕候 謹白

昭和七年一月一日

衆議院議員 松岡 俊三

衆議院議事速記録第四號中正誤

頁段 行 誤 正

四二二	一五、財	財政
六六四	八「ペンフット」	「ペンフレット」
六七四	一 居ルノデ	居ルデハ
七〇四	三五 質弱ナ	貧弱ナ
七六四	三六 取ルトフ	取ルト云フ
七七二	一〇 粗雄ナ	粗雜ナ
七九四	一〇 得ガ	得デ
七九四	一九「ブラフ」	「ブラフ」
八一四	九 ノアリマス	ノデアリマス

